

潮来市  
障がい福祉に関するアンケート  
結果報告書

令和5年10月

潮来市

(表紙裏)

## 目次

第1章 調査の概要.....	1
第1節 調査の概要.....	1
1-1 調査の目的.....	1
1-2 調査対象者と回収結果.....	1
1-3 回答者の基本属性.....	3
第2節 調査結果の概要.....	4
第2章 アンケート結果.....	17
第1節 障がいの状況について.....	17
1-1 手帳等の種類.....	17
1-2 障害者手帳所持者の状況.....	19
1-3 医療機関の受診状況.....	21
1-4 高次脳機能障害の診断.....	22
1-5 強度行動障害の有無.....	23
第2節 障害福祉サービスについて.....	24
2-1 障害福祉サービスの利用状況.....	24
2-2 障害福祉サービスの満足度.....	28
第3節 教育や就労、日中の過ごし方について.....	29
3-1 平日の昼間の過ごし方.....	29
第4節 外出や社会参加について.....	34
4-1 ひとりでの外出.....	34
4-2 外出の頻度と今後の希望.....	35
4-3 楽しみや生きがい.....	37
4-4 文化芸術・スポーツ活動への参加.....	38
4-5 地域や社会に参加しやすい環境づくり.....	39
第5節 相談・情報提供について.....	41
5-1 悩みや困りごとの相談先.....	41
5-2 相談や情報収集するときに困ること.....	42
第6節 災害対策について.....	44
6-1 一人での避難.....	44
6-2 災害時の心配ごと.....	45
第7節 障がいのある方が安心して暮らせる地域づくりについて.....	46
7-1 障がいがあることでの差別.....	46
7-2 障害者差別解消法の認知度.....	48
7-3 障がいのある方への市民の理解.....	49
7-4 障がいのある方に対する地域づくり.....	50

7-5	現在の暮らしと将来の希望	51
7-6	将来の生活の不安	53
7-7	成年後見制度の理解と今後の利用意向	54
第8節	潮来市の障がい福祉の取り組みについて	57
8-1	障がい福祉の取り組みの満足度	57
8-2	障がい福祉の取り組みの重要度	59
資料編		61
1	アンケート集計表	61
2	自由記述	75

---

## 第1章 調査の概要

---



## 第1節 調査の概要

### 1-1 調査の目的

この調査は「第4次潮来市障害者計画」及び「潮来市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」の策定にあたり、障がいのある方の日常生活の状況及び障害福祉サービス等の利用状況・利用意向等を把握することにより、今後の施策展開を図るための基礎資料とすることを目的とする。

### 1-2 調査対象者と回収結果

以下の対象者に共通のアンケート調査を行い、郵送及びインターネットにより回収した。調査対象及び回収状況は、下表のとおりである。

#### ■調査の実施概要

区 分	内 容
調査対象者	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者、指定難病特定医療費受給者証等所持者、障害福祉サービス（児童）受給者証所持者 合計1,351人
調査方法	郵送又はインターネットの併用
有効回答数	有効回収数 737人（54.6%） ※WEB回答87人含む
実施時期	令和5年7月24日（月）から8月4日（金）まで （締切日にお礼状兼督促を発送） データの入力最終〆切は9月6日（水）

#### ◆結果報告書を見る際の注意

- ① 各設問の集計は、すべて単純集計、属性別（フェースシート）クロス集計を行った。
- ② 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって、合計が100%を上下する場合もある。
- ③ 回答者総数（n）は、100%が何人の回答に相当するかを示す。
- ④ 《複数回答》と記入してあるのは、1回答者が2つ以上の回答をすることができる質問である。このときの回答の計は回答者数（100%）を超える。
- ⑤ 図表および文章中で、選択肢を一部省略、並び替えをしている。

#### ※「障がい」と「障害」の表記について

このアンケートは、障がいの「害」という漢字の表記について、法律等で規定されている名称や引用、施設名等の固有名詞を除き、可能な限りひらがなで表記している。そのため、「がい」と「害」の字が混在する表現になっています。

## ⑥ 障がい種別の分析について

障がい種別の傾向を見る際は、以下「問6：障がいの種類（手帳等）」の回答をもとに、手帳等所持者ごとに100%として再集計した。うち重複者はそれぞれの障がい種別に反映させた。

## ■本調査における分析上の障がいの種類

区 分	回収数	総数に占める割合 (それぞれ重複者を含む)
全体（総数）	737人	100.0%
身体障害者手帳所持者	440人 (うち重複者53人)	59.7%
療育手帳所持者	85人 (うち重複者36人)	11.5%
精神障害者保健福祉 手帳所持者	70人 (うち重複者16人)	9.5%
指定難病特定医療費 受給者証等所持者	86人 (うち重複者28人)	11.7%
障害福祉サービス (児童)受給者証所持者	26人 (うち重複者24人)	3.5%

※障がいの種類（手帳等）不明の104名は、障がい種別の分析には反映していない。

注) 障がい種別の分析にあたっては、

- ・身体障害者手帳所持者は「身体障がい」
- ・療育手帳所持者は「知的障がい」
- ・精神障害者保健福祉手帳所持者は「精神障がい」
- ・指定難病特定医療費受給者証等所持者は「難病患者」
- ・障害福祉サービス（児童）受給者証所持者は「受給者証所持者」とした。

※指定難病特定医療費受給者証等所持者は、特定疾患医療受給者、小児慢性特性疾患受給者、難病患者見舞金受給者のほか、自立支援医療（精神通院）受給者が含まれている場合がある。



### 1-3 回答者の基本属性

(1) 調査票の記入者

○アンケートの回答者は「本人」が72.3%、「本人の家族」が18.0%である。

○調査票の記入者	人	%
回答者総数	737	(100.0)
本人または代筆者	533	(72.3)
本人の家族	133	(18.0)
家族以外の介助者	37	(5.0)
無回答	34	(4.6)

(2) 性別

○「男性」が50.7%、「女性」が47.9%である。

○性別	人	%
回答者総数	737	(100.0)
男性	374	(50.7)
女性	353	(47.9)
その他	0	(0.0)
無回答	10	(1.4)

(3) 年齢別

○「75歳以上」が35.7%、「65～74歳」が24.0%で、高齢者の割合が59.7%を占める。

○年齢別	人	%
回答者総数	737	(100.0)
0～6歳	11	(1.5)
7～18歳	20	(2.7)
19～29歳	39	(5.3)
30～39歳	45	(6.1)
40～49歳	54	(7.3)
50～64歳	117	(15.9)
65～74歳	177	(24.0)
75歳以上	263	(35.7)
無回答	11	(1.5)

(4) 障がいの種類

○「身体障害者手帳」所持者が59.7%で高い。

○障がいの種類 ※それぞれ重複者を含む	人	%
回答者総数	737	(100.0)
身体障害者手帳	440	(59.7)
療育手帳	85	(11.5)
精神障害者保健福祉手帳	70	(9.5)
指定難病特定医療費受給者証等	86	(11.7)
障害福祉サービス（児童）受給者	26	(3.5)
無回答	104	(14.1)

**第2節 調査結果の概要**

(1) 差別・偏見、障がいへの理解不足について

差別や偏見を感じている障がい者がまだ多い。障がいのある方の理解はまだ不十分。

(主な結果)

- ・ 障害者差別解消法の認知度や、障がいのある方への市民の理解は前回よりも評価が高くなったことから、ある程度の成果がうかがえる。しかし、障がい別でみると“知的障がい”や“精神障がい”は、障がいのある方に対する地域づくりが「あまり進んでいない」「進んでない」との回答も目立つ。
- ・ その理由として、障がいがあることで嫌な思いをした経験は減少したが、現実には「学校・仕事場」や「外出先」、特に“精神障がい”は「仕事を探すとき」に差別や嫌な思いをしている割合が高くあげられている。
- ・ “知的障がい”は、児童生徒も多く「先生や保護者の障がいに対する理解」を望む声が高い。また“精神障がい”は、平日の昼間、一般の企業等で働いている方も多いが、「障がいに対する上司や同僚の理解」や「企業の障がい者雇用に対する理解」を求める割合が高い。自由意見でも、障がい者用駐車場や車いすでも入れる多目的トイレなど充実した実感はあるが、利用ルール違反や、ちょっとした手助けがあることで安心して生活できるとの声もあり、引き続きの理解促進の取り組みが期待される。

図 障害者差別解消法の認知度 (問 26)

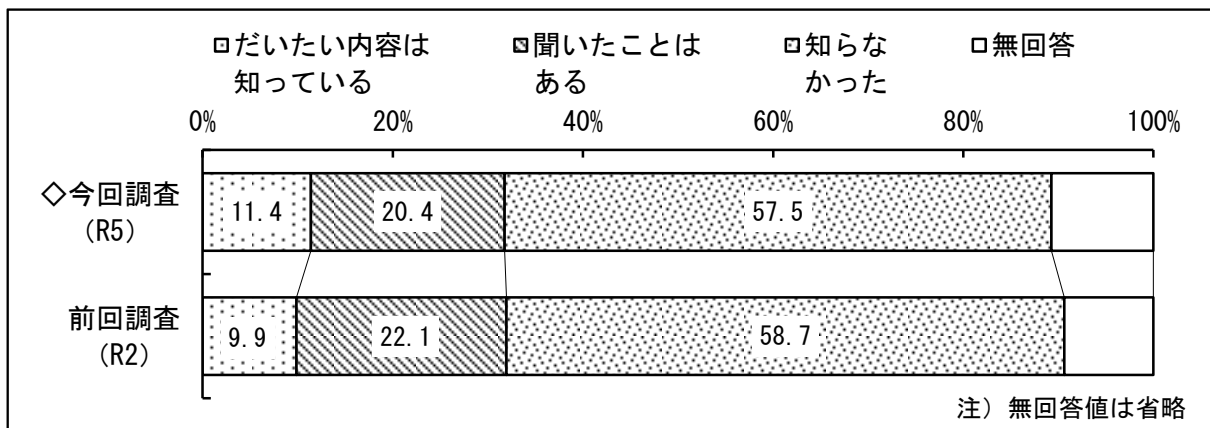


図 障がいのある方への市民の理解 (問 27)

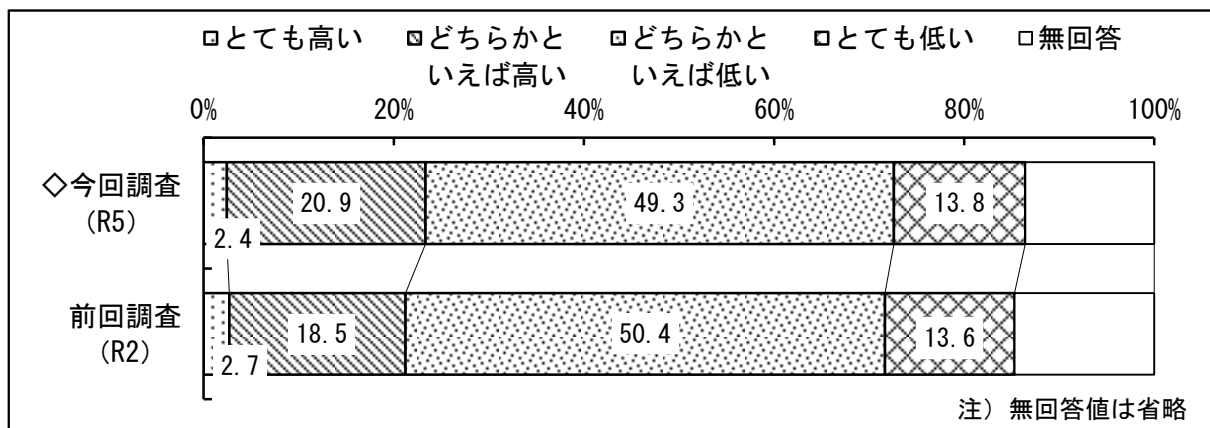


図 障がいのある方に対する地域づくり（問 28）

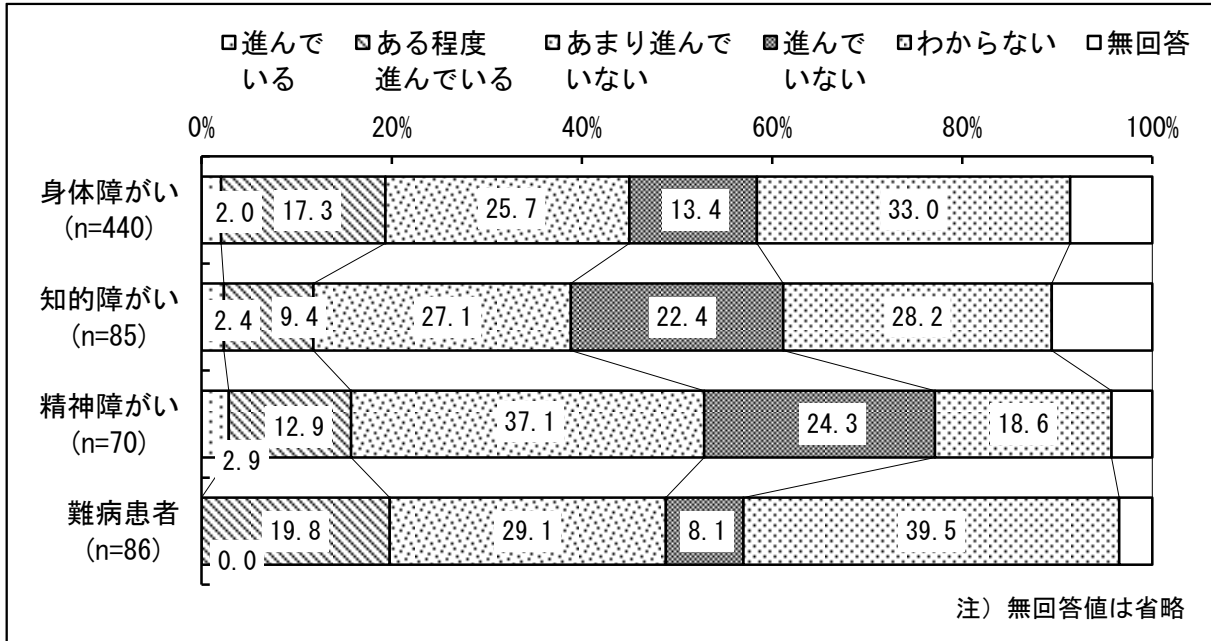
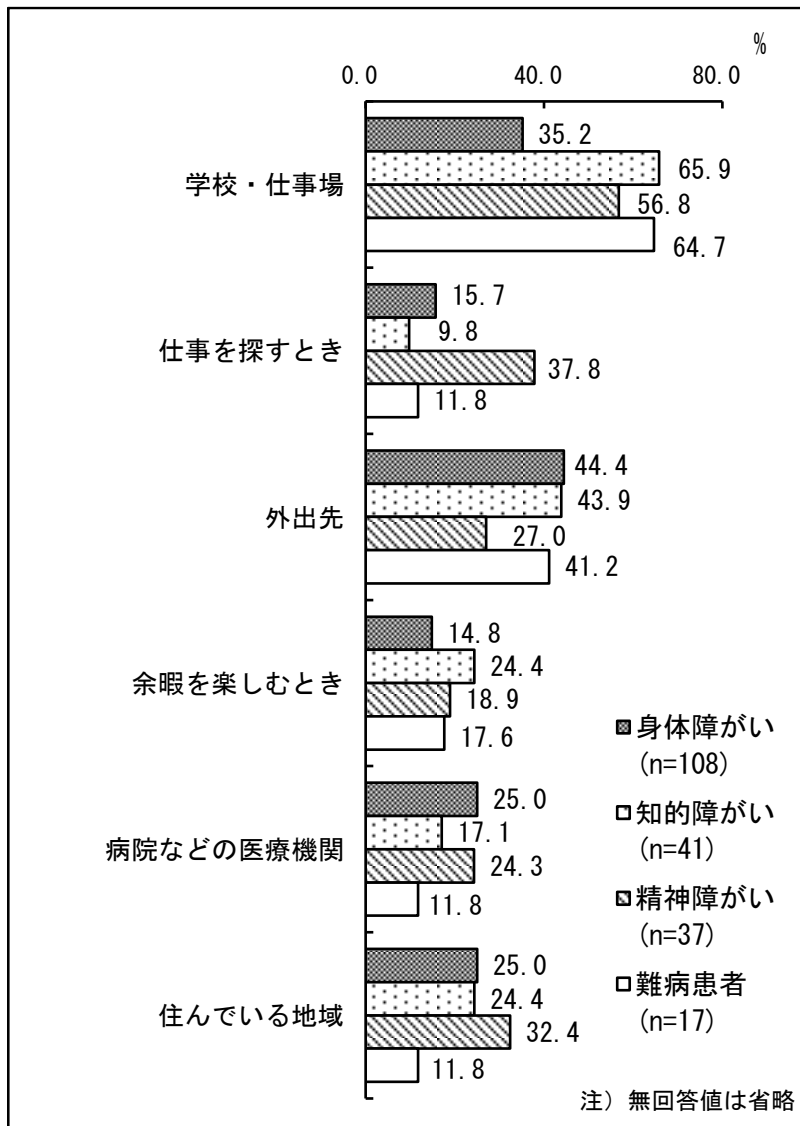


図 差別や嫌な思いをした場所（問 25-1）



重複の無い受給者証所持者  
「進んでいる」1名、あまり進んでいない1名

重複の無い受給者証所持者  
「外出先」と「病院などの医療機関」が1名

(2) 将来の生活に対する不安について

将来の生活への不安を見据えた様々なニーズがある。

(主な結果)

- ・アンケートでは、障害者手帳の所持者の約6割を「身体障害者手帳」が占めており、その他手帳等が約1割ずつである。“身体障がい”の方の高齢化が進んでいる一方で、“知的障がい”の保護者の高齢化も現実の課題となっている。
- ・将来の生活の不安に対しては、前回よりも「生活費のこと」「医療のこと」「仕事のこと」の不安が増加している。また“知的障がい”は、将来、親に先立たれること、援助してくれる人が周りにいないことへの不安が高い。

図 手帳所持者別年齢構成（問3）

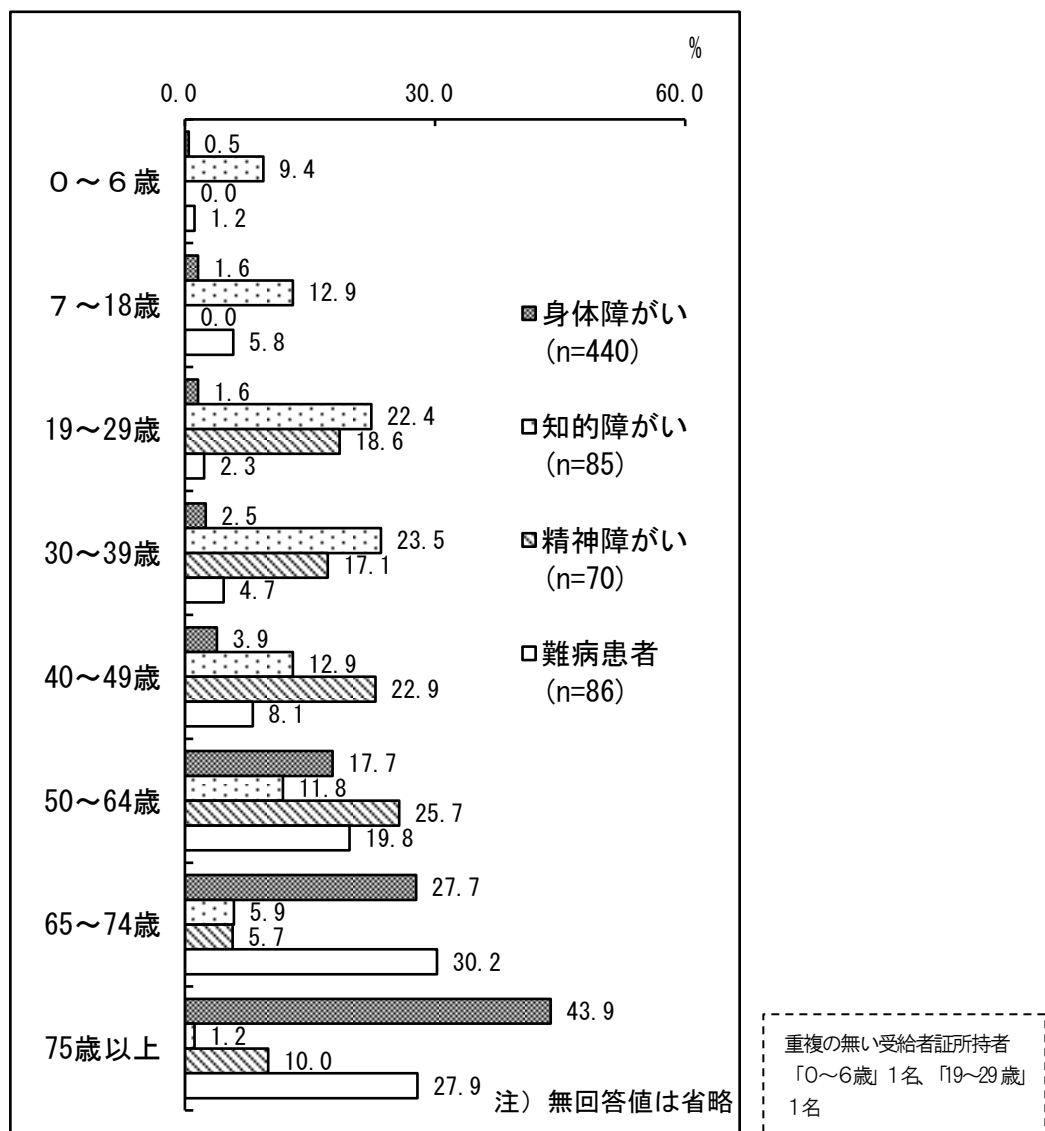
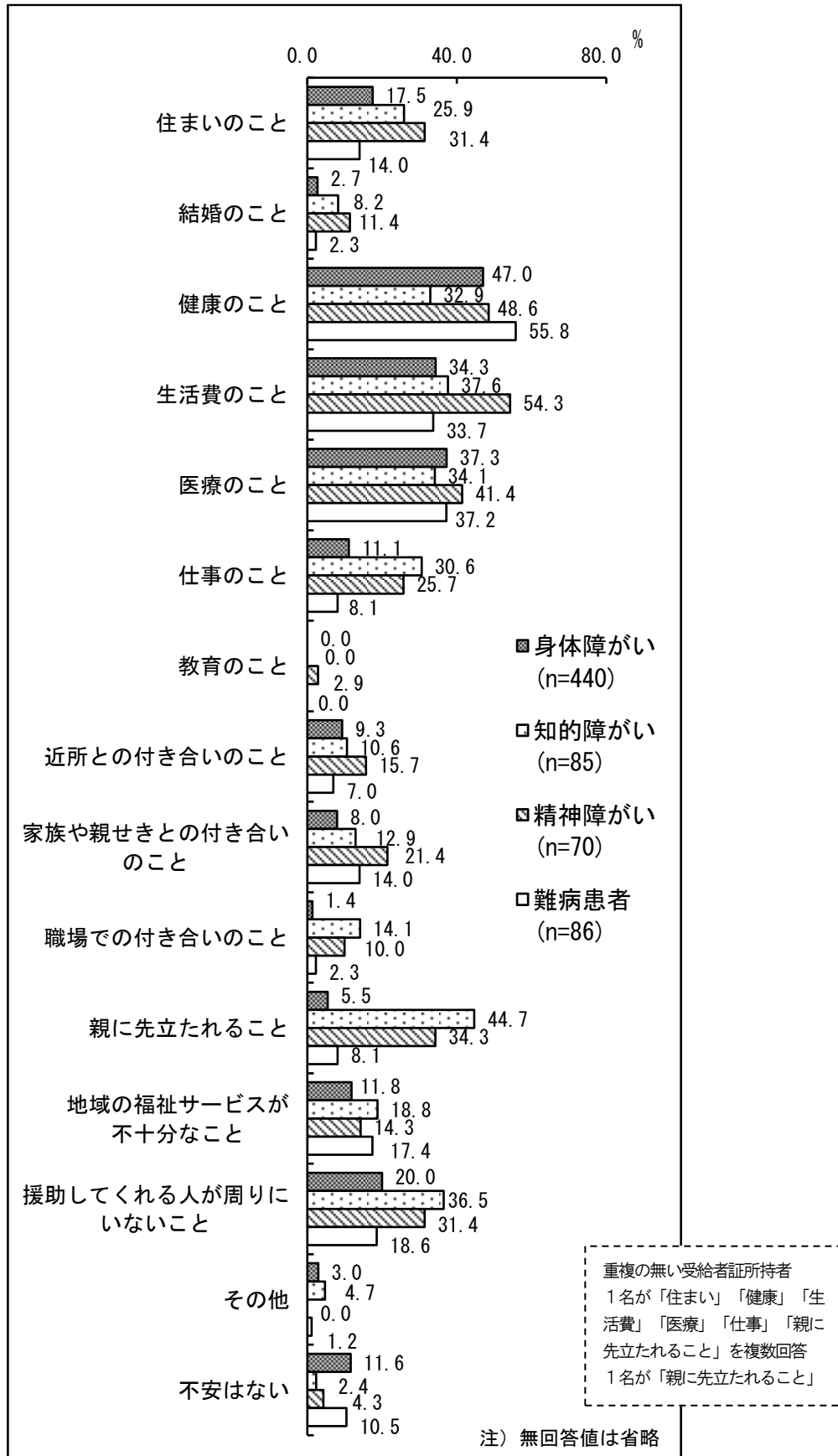


図 将来の生活の不安（問 30）【障がい種別】 《複数回答》



## (3) 相談支援の充実について

相談には窓口につながっていない人もいる。相談対応をしっかりとしてほしい。

(主な結果)

- ・後述(6)障がい福祉サービスの取り組みの重点で示すとおり、公的機関の相談窓口が整備されたことで、相談窓口の使いやすさの満足度が高くなったことがうかがえる。しかし、重要度も引き続き高い項目の1つとなっている。
- ・その理由として、相談や情報収集するときに「どこに相談すればよいか」が前回と同様に高い。“精神障がい”は「しっかりと相談にのってもらえるか不安」も高いことから、引き続き相談窓口のPRと相談機能の充実が求められる。
- ・今回、困りごとの相談先は、公的機関だけでなく家族や地域の人なども含めてたずねたが、悩みを含め「家族や親せき」が高く、本当に困った時に「相談支援事業所などの民間の相談窓口」や「市役所の相談窓口」につながっていることが考えられる。

図 相談や情報収集するときに困ること (問22) 《複数回答》

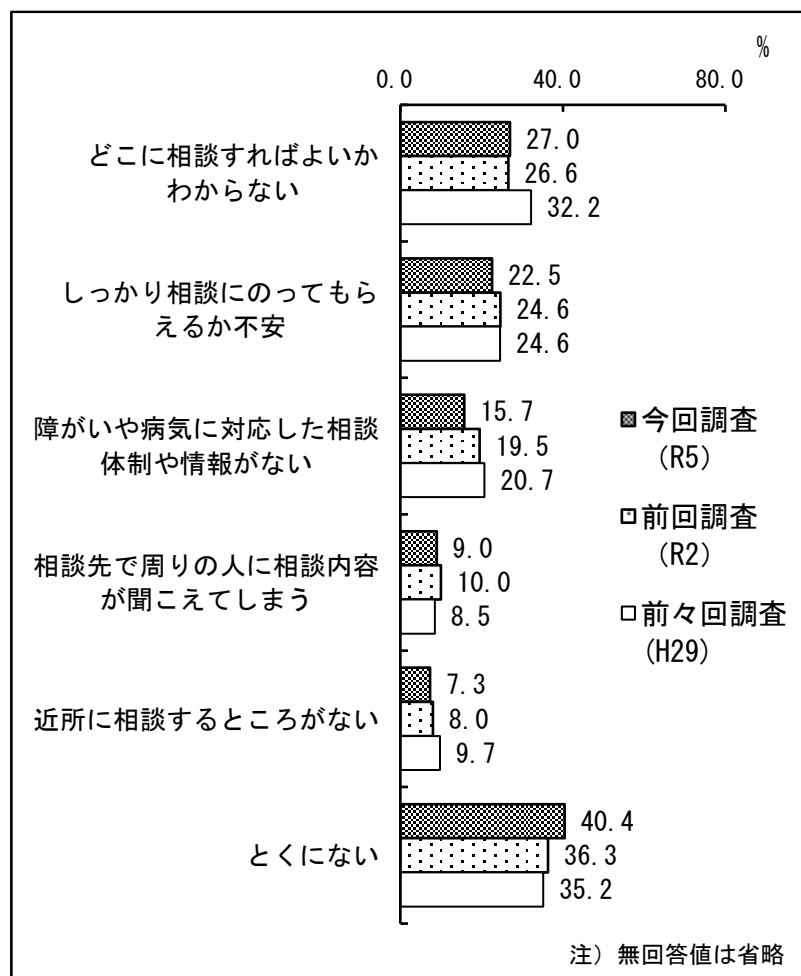
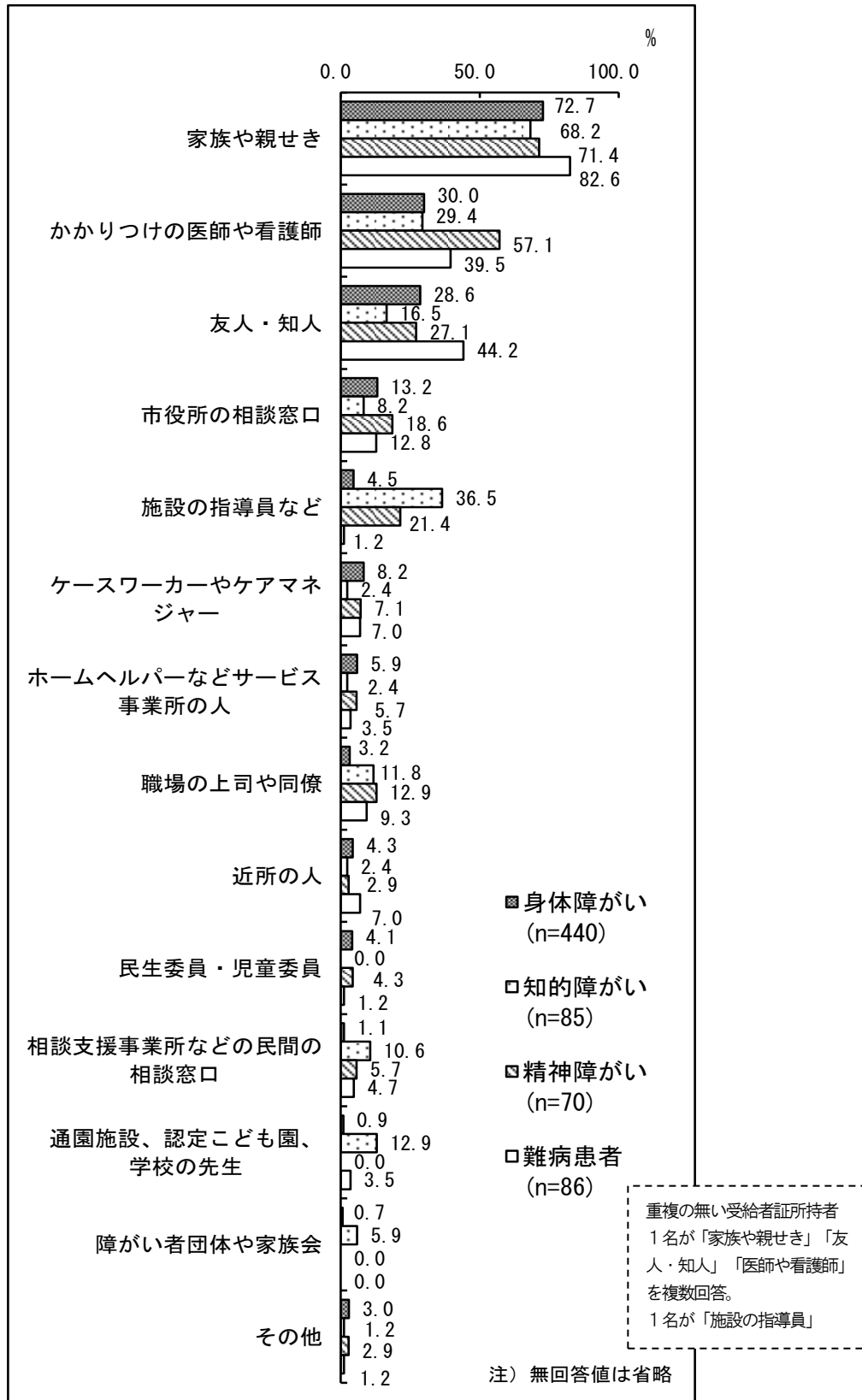


図 悩みや困りごとの相談先（問 21） 《複数回答》



(4) 障がいのある方の生活の質の向上について

外出をもっと増やしたい意向がある。施設改善、移動のためのサポートが必要。

(主な結果)

- ・外出や社会参加について、“知的障がい”は保護者の「付き添いがあれば外出できる」が高い。外出の頻度は、前回よりも全体として高くなっている。
- ・しかし、楽しみや生きがいのない人がやや増えており、文化芸術・スポーツ活動への参加状況もコロナ禍において若干減少している。
- ・外出を増やしたい希望をみると、“知的障がい”と“精神障がい”が3割で高く、地域や社会に参加しやすい環境づくりとして、利用しやすい施設の改善、交通機関や移動のサポート等があげられている。
- ・また、“身体障がい”と“難病患者”は、高齢の方が多くことから、自宅で過ごす人も多いが、自由意見から、年金暮らしなど金銭的に苦労している現状がうかがえ、バス、タクシー、移動など現在の制度の改善や支援策を充実させることで買い物や通院など外出がしやすくなるとの意見が見受けられる。

図 外出の希望 (問17)

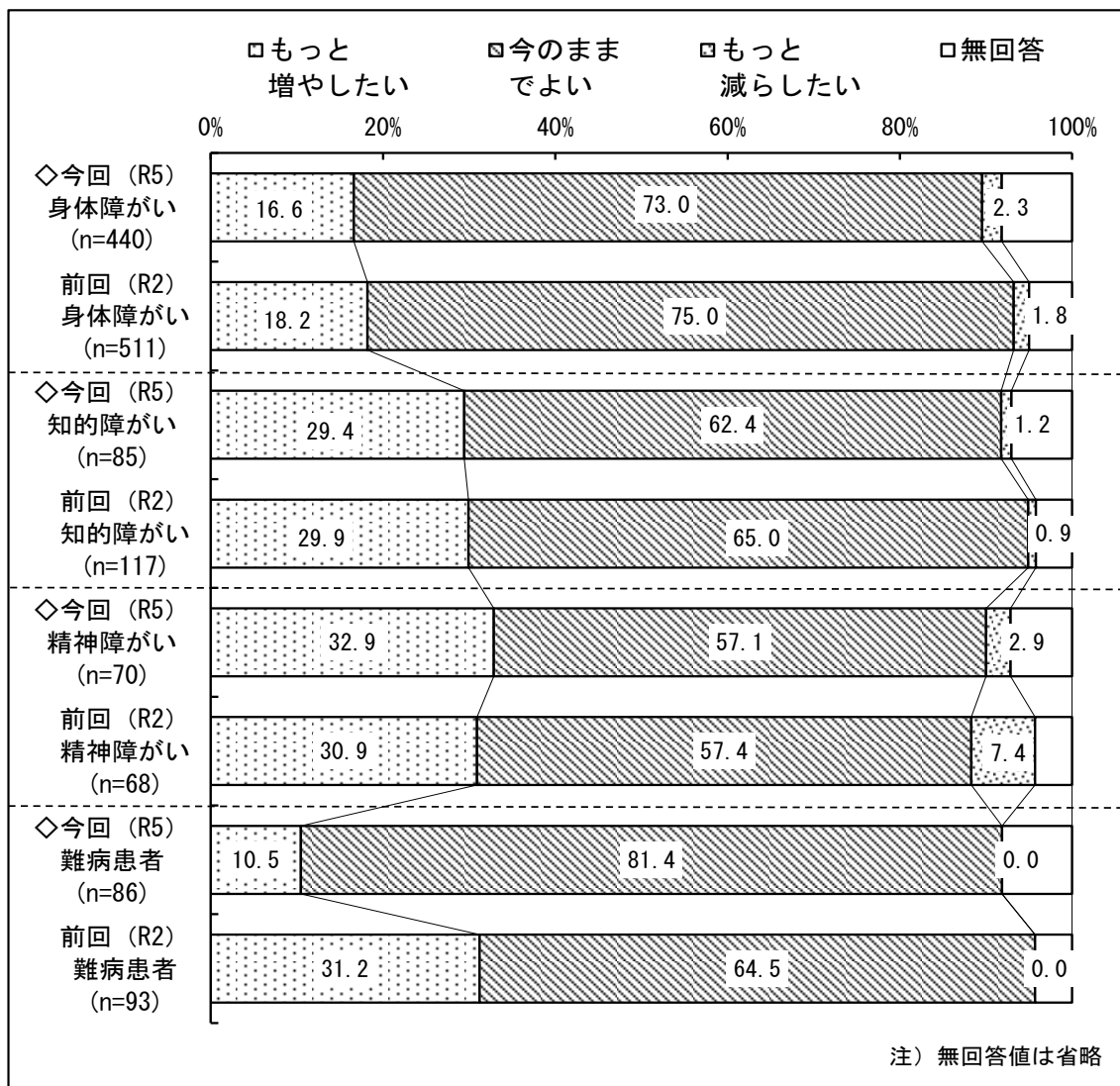
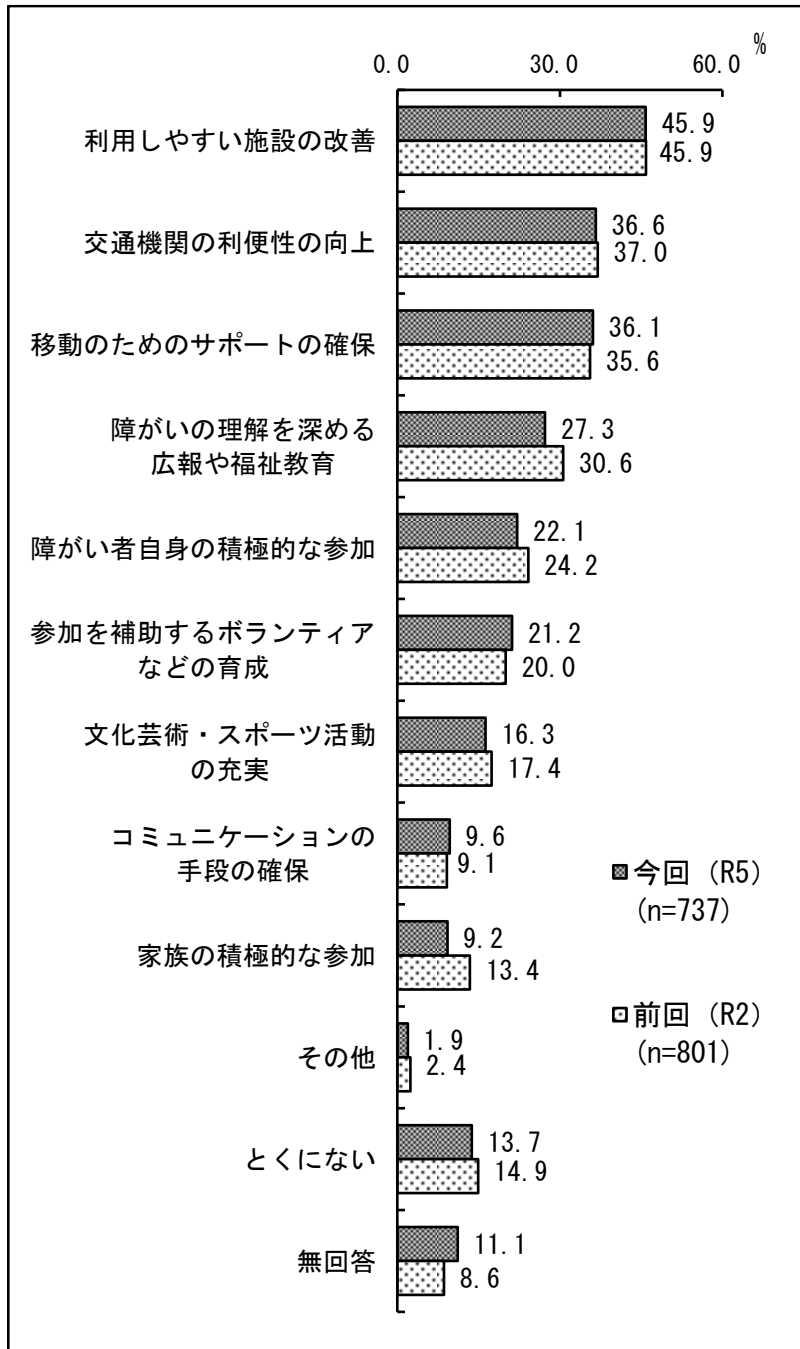




図 地域や社会に参加しやすい環境づくり（問 20）  
《複数回答》



(5) 障がい福祉サービスの充実について

就労支援系、放課後等デイサービスなどの利用意向が高まっている。

(主な結果)

- ・ 障害福祉サービスの利用状況は、障がい種別で大きく異なっており、“身体障がい”は2割以下だが、“知的障がい”は約6割、“精神障がい”は約3割となっている。
- ・ 障がい種別でも、障害福祉サービスの満足度は約7割で高い。
- ・ 福祉のサービスは充実している実感はみられるが、利用していない人の中には、「自分にあったサービスがない」や「利用する方法がわからない」人も1割ずつおり、前述の相談窓口や相談のしやすさのとおり、相談が必要な時に必要な情報やサービスが行き届くことが求められる。
- ・ 障害福祉サービスの利用意向は「就労移行、就労継続、就労定着支援」や「放課後デイサービス」の希望が高く、比較的若い人の自立した生活への意向が見受けられる。
- ・ 将来の希望は、ひとり暮らしやグループホームが現在よりも高くなっている。

図 障害福祉サービスの利用状況（問9）

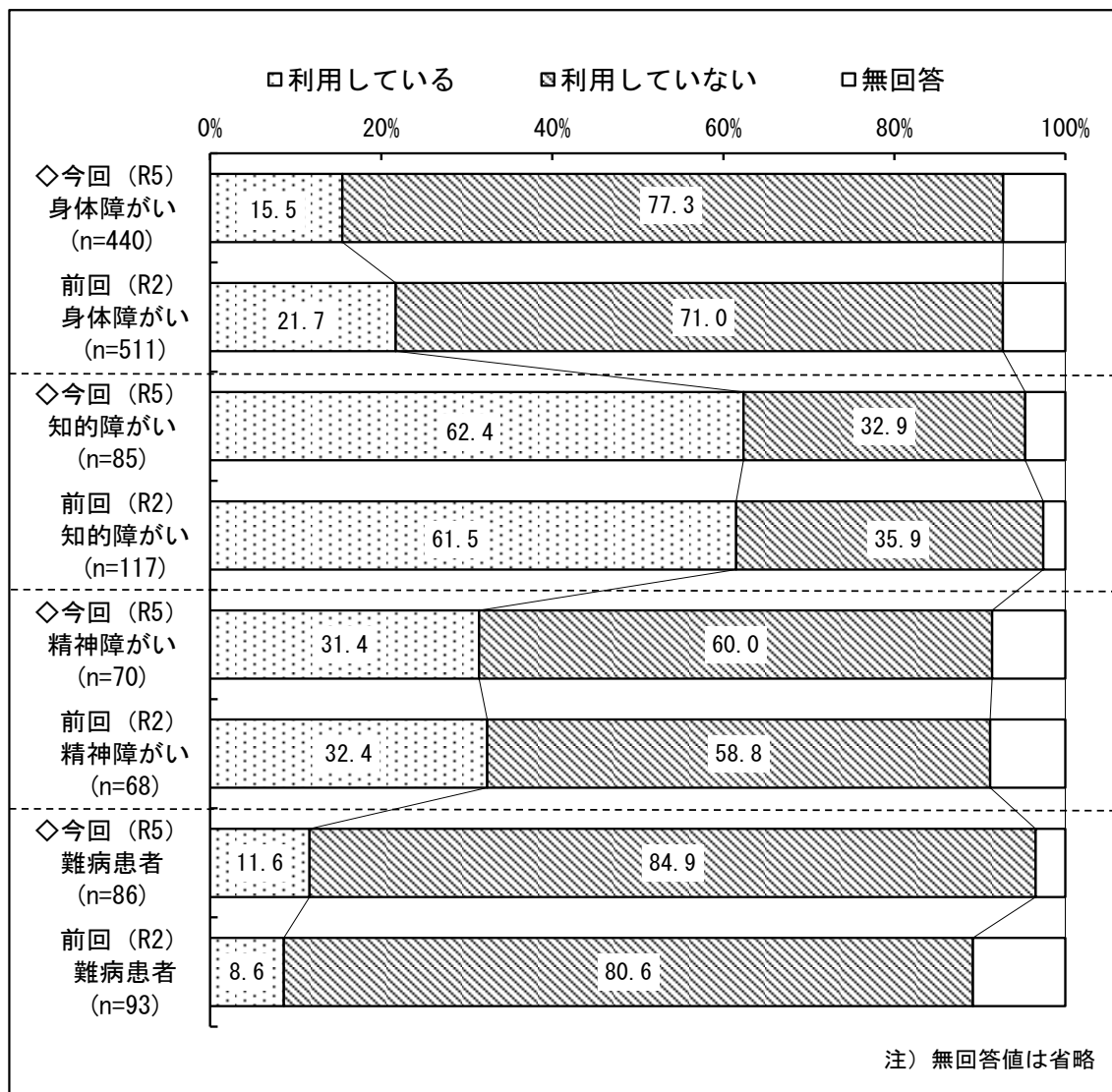
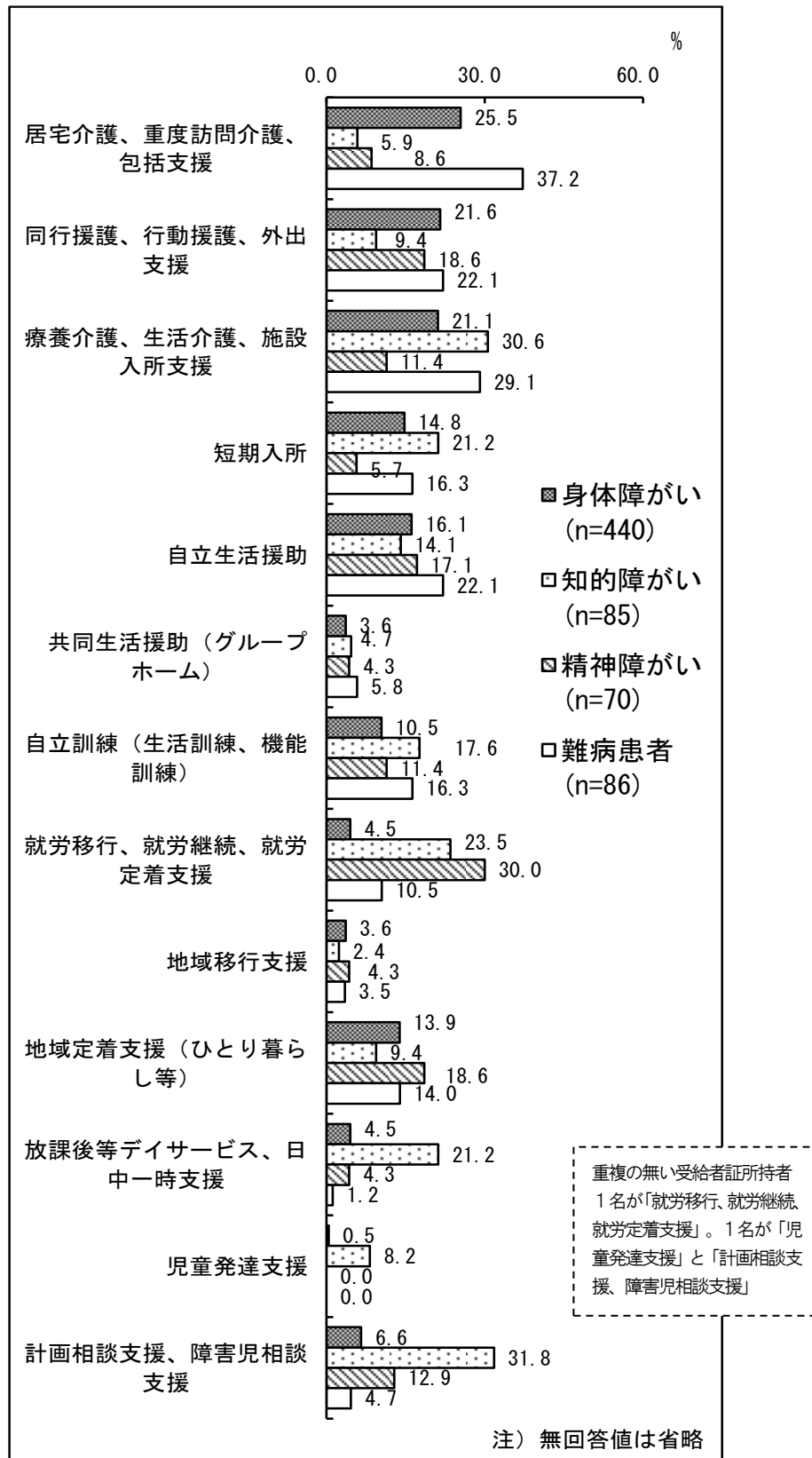


図 今後利用したい障害福祉サービス（問10） 《複数回答》



(6) 障がい福祉の取り組みの重点について

相談機能の充実の満足度が比較的高い。今後は災害時の避難・支援などが高い。

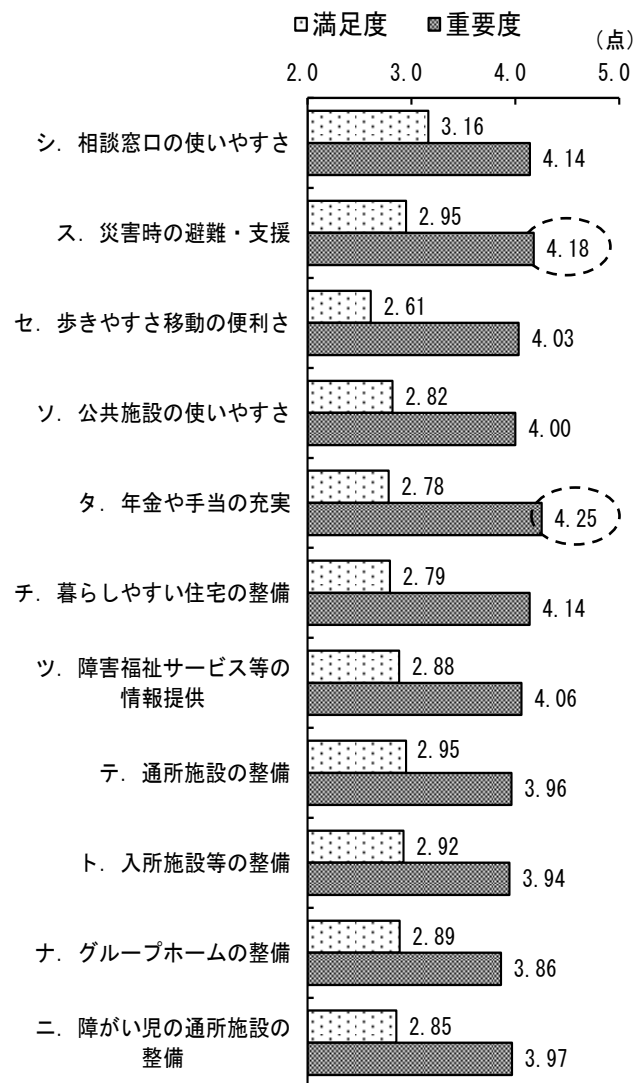
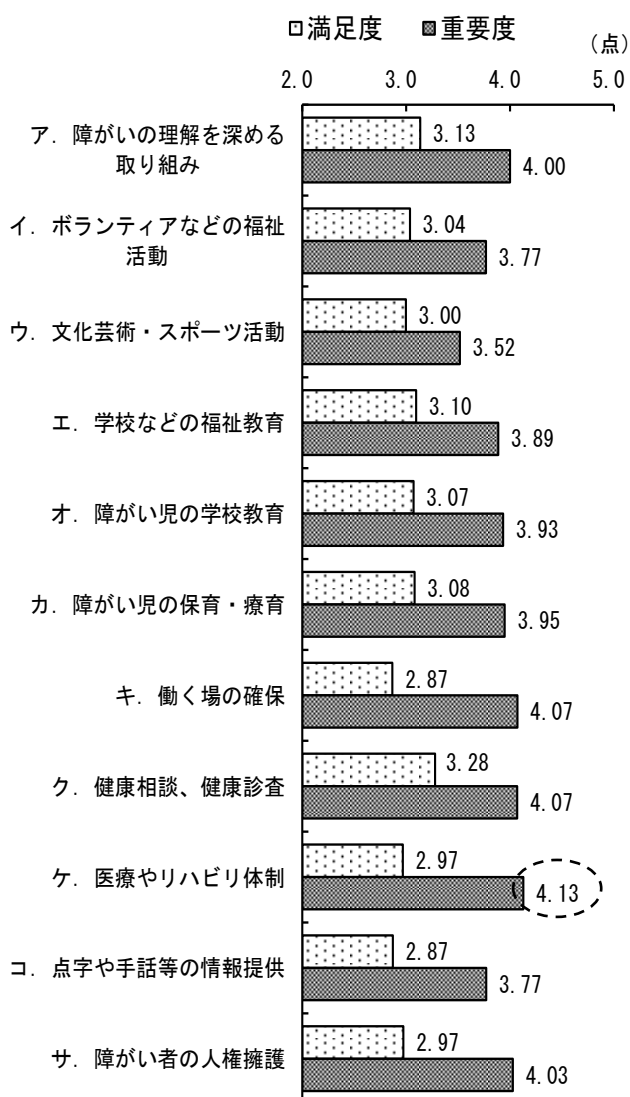
(主な結果)

- ・ 潮来市の障がい福祉への取り組みについて、満足度（評価）と力を入れるべき施策（重要度）をそれぞれたずねた。
- ・ 重要度をみると『ス. 災害時の避難・支援』と『タ. 年金や手当の充実』『サ. 医療やりハビリ』が高い結果である。

図 福祉施策の満足度と重要度（問 33、問 34）

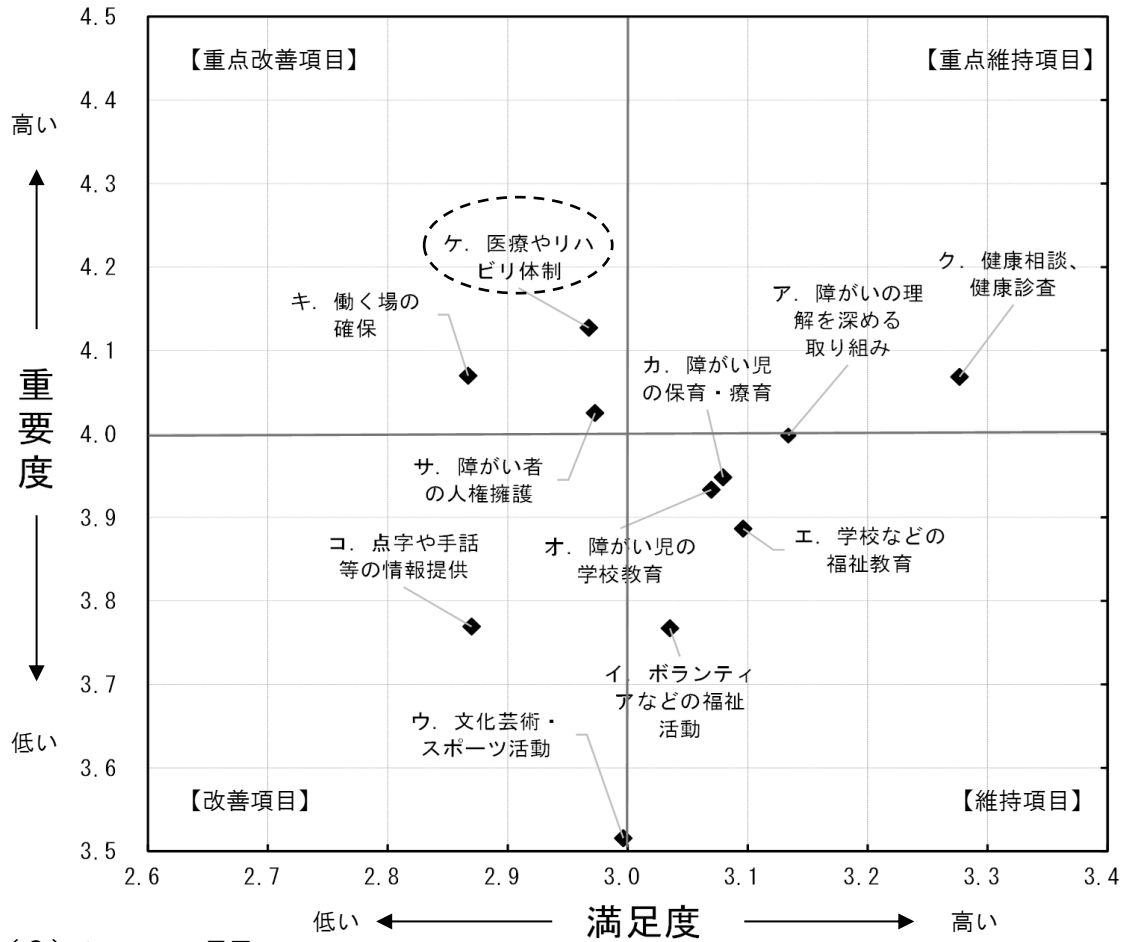
(1) ア～サの項目について

(2) シ～ニの項目について

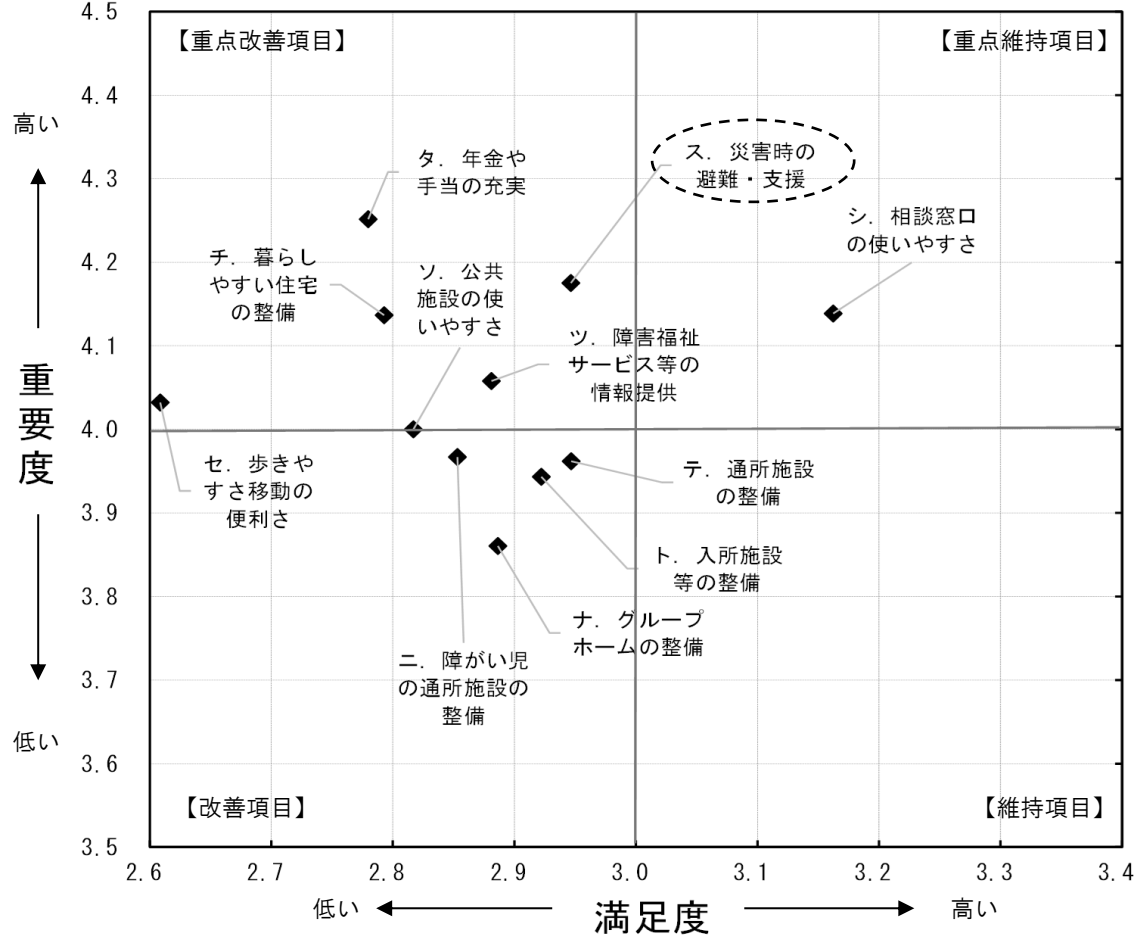


注) 満足度と重要度の加重平均値の算出方法については、「8-1 障がい福祉の取り組み」を参照。

(1) ア～サの項目について



(2) シ～ニの項目について



(裏白)

---

## 第2章 アンケート結果

---





## 第1節 障がいの状況について

### 1-1 手帳等の種類

「身体障害者手帳」が約6割を占める。

回答者の手帳や受給者証の種類をみると、「身体障害者手帳」が59.7%で高い。

「療育手帳」が11.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が9.5%、「指定難病特定医療費受給者証等」が11.7%、「障害福祉サービス（児童）受給者証」が3.5%である。

注）それぞれ重複者を含む。

#### 【年齢別（全体）】

障がいのある方の年齢をみると、「75歳以上」が35.7%で最も高い。次に「65～74歳」が24.0%で続く。

図 手帳等の種類（問6） 《複数回答》

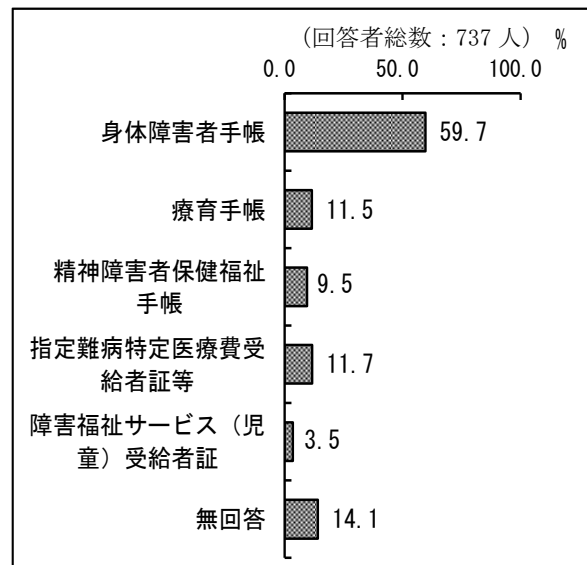
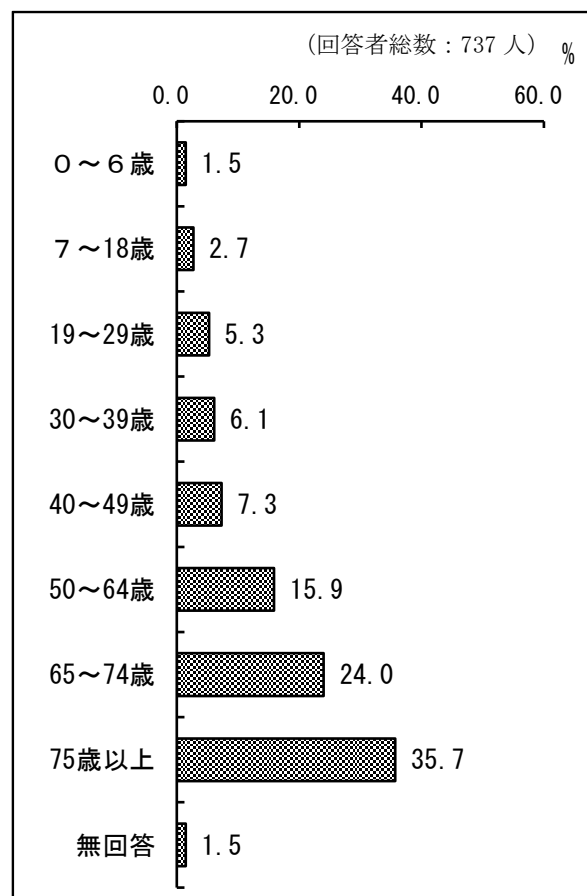


図 手帳等所持者の年齢（問3）

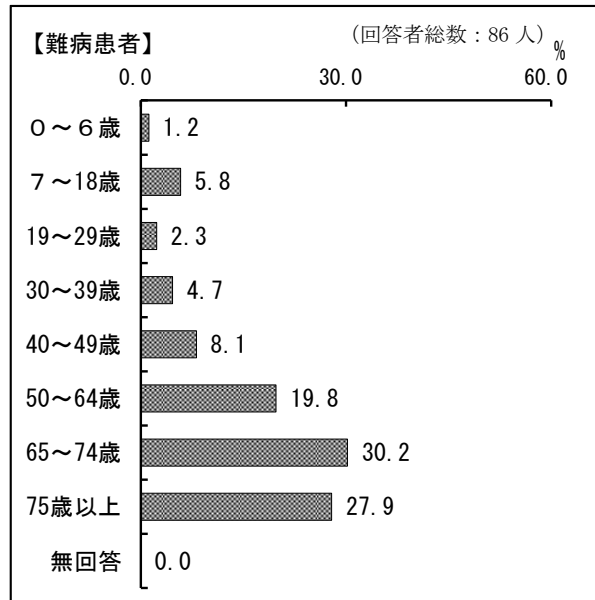
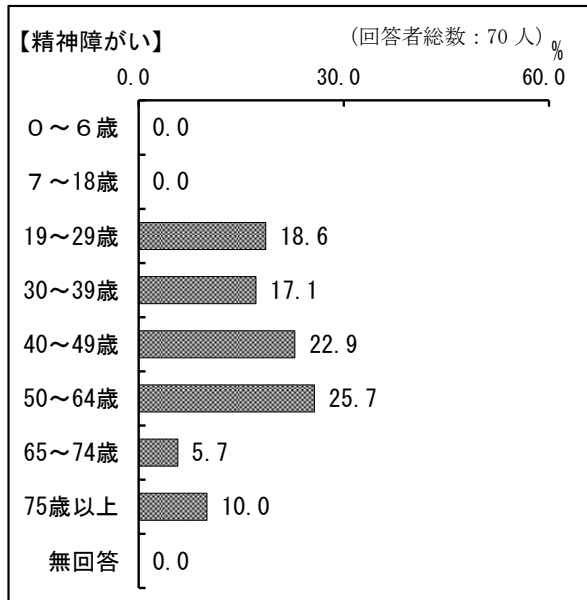
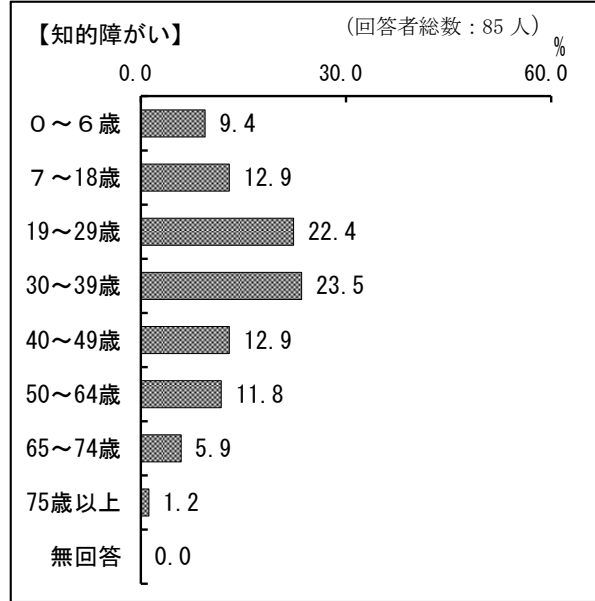
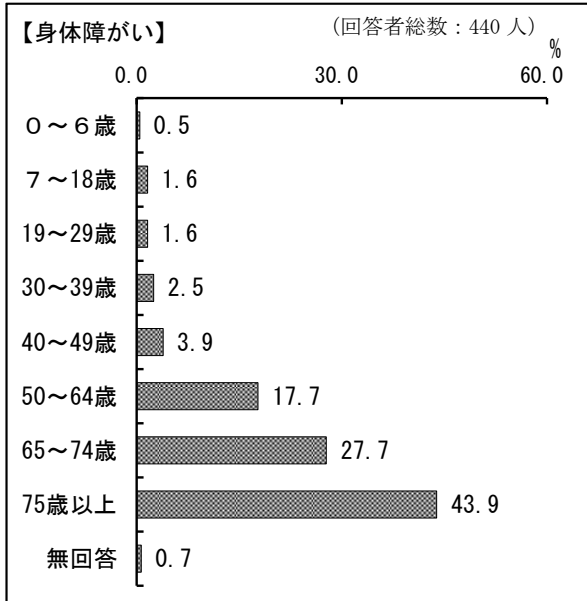


【年齢別（手帳等所持者別）】

身体障がいと難病患者は高齢の方が高く、手帳の種別によって年齢層が異なる。

障がいのある方の年齢をみると、“身体障がい”は「75歳以上」が43.9%で最も高い。“知的障がい”は「30～39歳」が23.5%、“精神障がい”は「50～64歳」が25.7%、“難病患者”は「65～74歳」が30.2%で最も高い。

図 年齢別（問3）



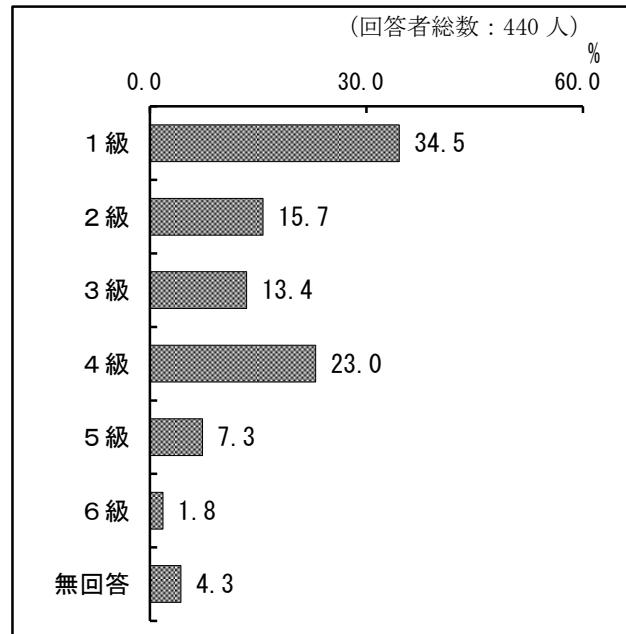
## 1-2 障害者手帳所持者の状況

(身体障害者手帳所持者)

「1級」、「内部障がい」が高い。

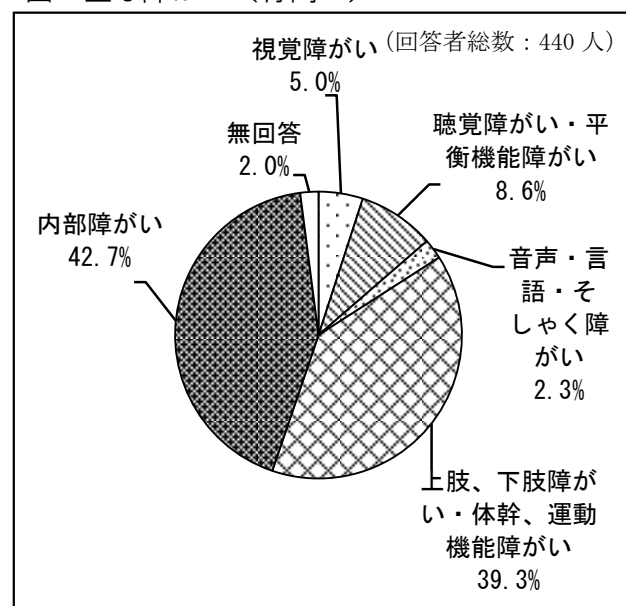
身体障害者手帳所持者の等級をみると、「1級」が34.5%で最も高い。

図 身体障害者手帳の等級（付問6）



主な障がいの種類をみると、「内部障がい」が42.72%で高く、次に「上肢、下肢障がい・体幹、運動機能障がい」が39.3%である。

図 主な障がい（付問6）

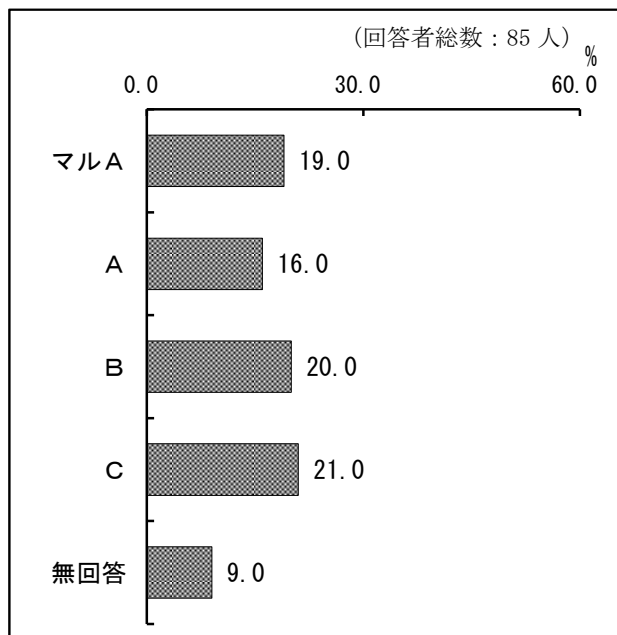


## （療育手帳所持者）

各等級とも2割で同程度。

療育手帳所持者の等級をみると、「C」が21.0%、「B」が20.0%である。  
各等級とも2割程度を占める。

図 療育手帳の等級（付問6）

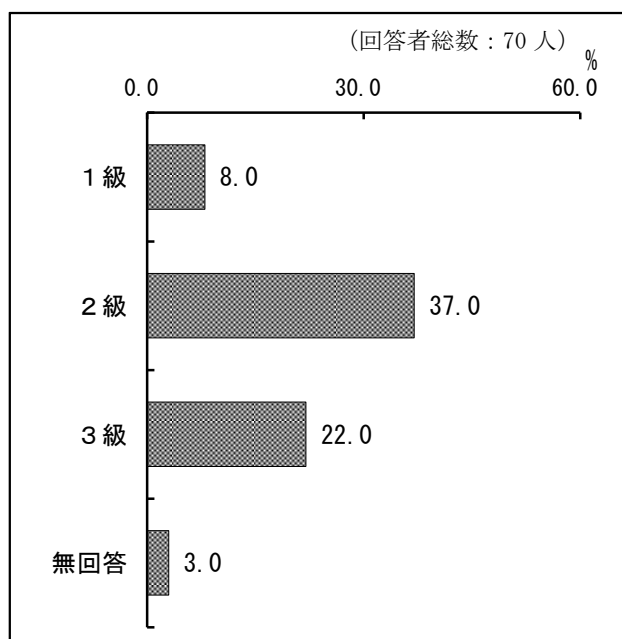


## （精神障害者保健福祉手帳所持者）

「2級」が37.0%で高い。

精神障害者保健福祉手帳の等級をみると、「2級」が37.0%で最も高い。

図 精神障害者保健福祉手帳の等級（付問6）



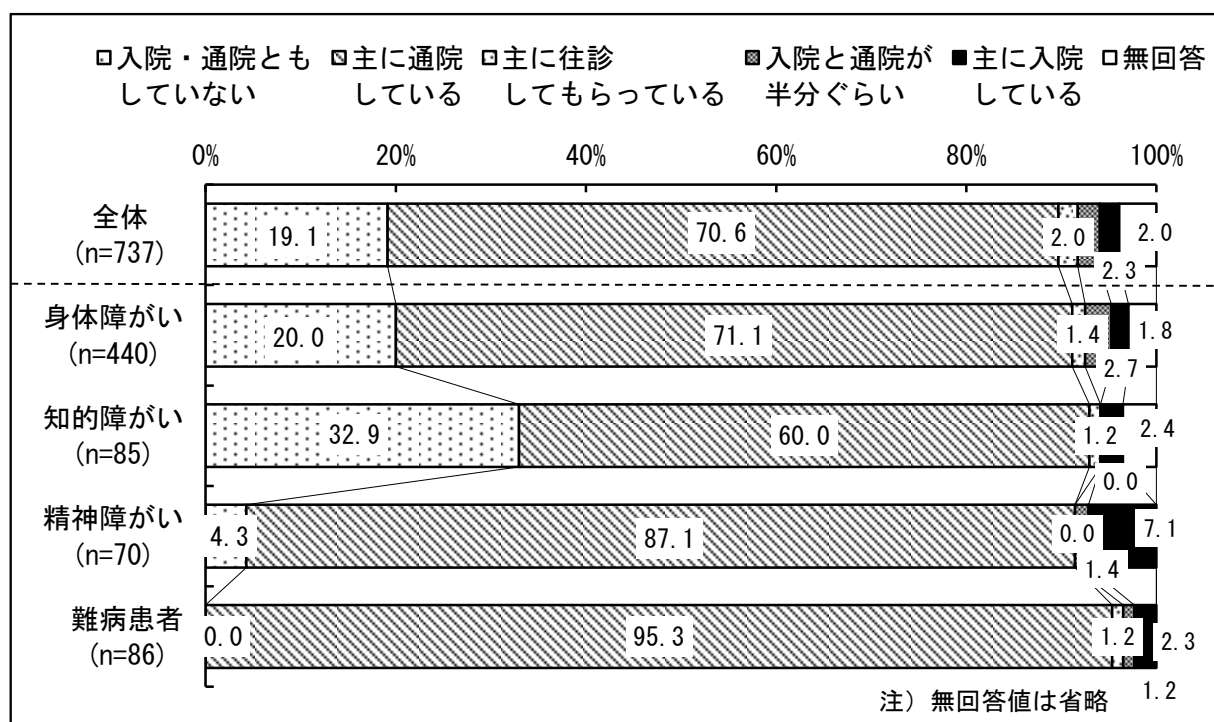
### 1-3 医療機関の受診状況

知的障がい者は「入院・通院していない」人も多い。

主な障がいや難病（特定疾患）の治療に関して、最近6か月の医療機関の受診状況は、全体で「主に通院している」が70.6%である。

障がい種別にみると“身体障がい”は全体と同様の傾向である。“知的障がい”は「入院・通院ともしていない」が32.9%で比較的高い。さらに「主に入院している」は“精神障がい”が7.1%である。

図 医療機関の受診状況（問5）



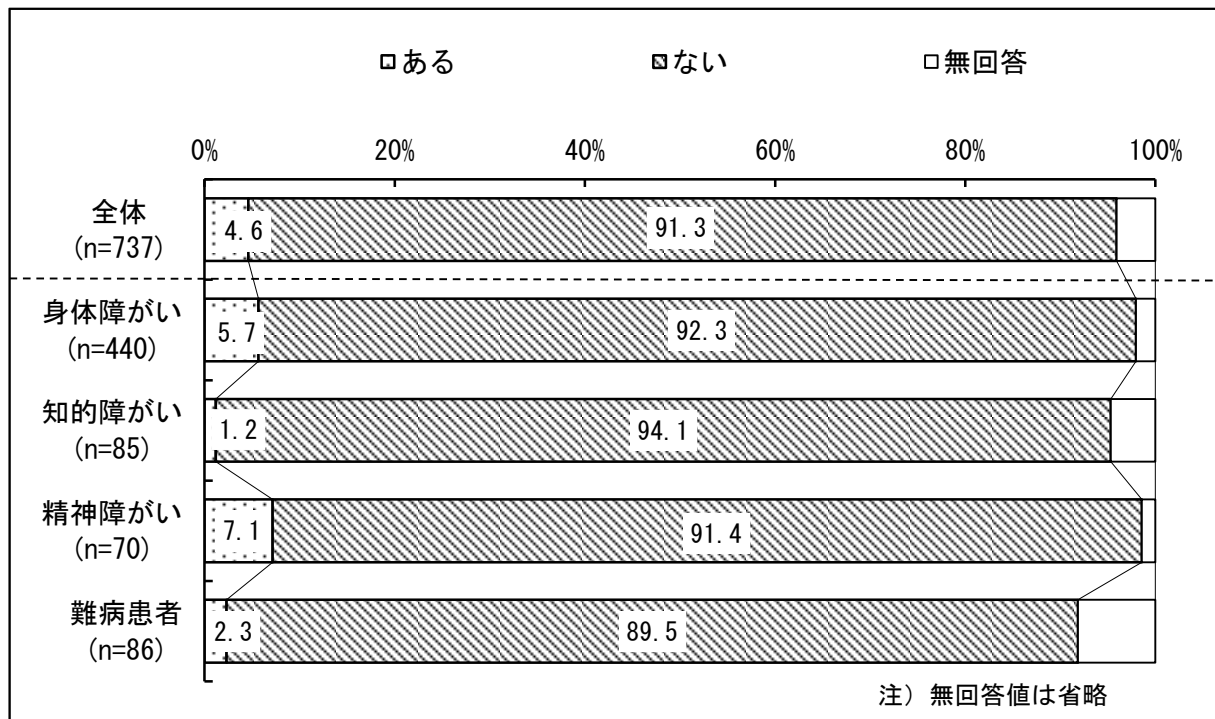
## 1-4 高次脳機能障害の診断

「ある」が4.6%で、“精神障がい”が7.1%でやや高い。

国の基本指針より実態把握が求められている『高次脳機能障害』について、診断されたことの有無は、全体で「ある」が4.6%である。

障がい種別にみると、“精神障がい”は7.1%で他の障がいと比べてやや高い。

図 『高次脳機能障害』の診断（問7）



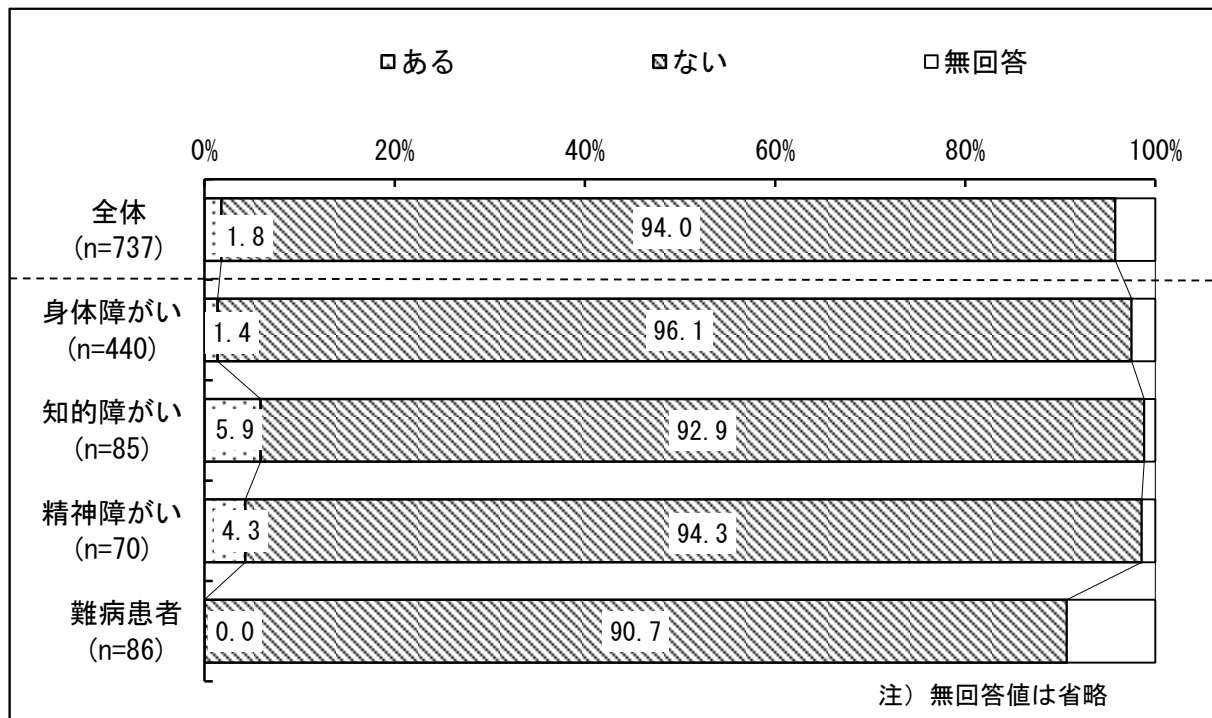
※高次脳機能障害とは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障がい等により脳に損傷を受け、その後遺症等として生じた記憶障がい、注意障がい、社会的行動障がいなどの認知障がい等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。（出典：厚生労働省）

### 1-5 強度行動障害の有無

「ある」が1.8%で、“知的障がい”と“精神障がい”がやや高い。

『強度行動障害』があると言われたことは、全体で「ある」が1.8%である。  
障がい種別にみると、“知的障がい”は5.9%で他の障がいと比べてやや高い。

図 『強度行動障害』の有無（問8）



※強度行動障害とは、自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のことをいいます。医師や療育機関等から指摘されたことがある場合等は「ある」としてください。（出典：厚生労働省）

## 第2節 障害福祉サービスについて

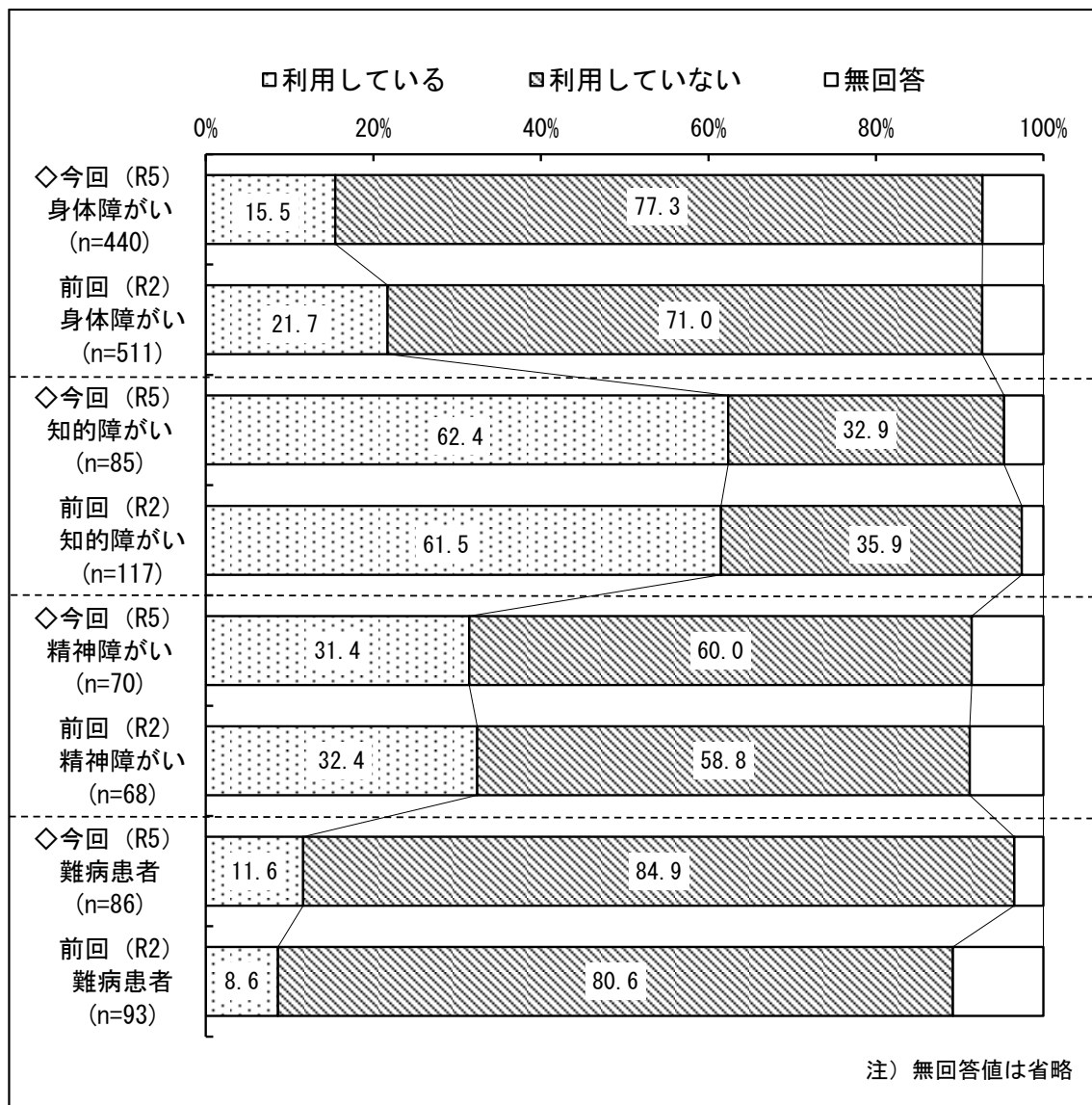
### 2-1 障害福祉サービスの利用状況

身体障がい者は「利用している」が6.2ポイント減少した。今後「同行援護、行動援護、外出支援」の利用希望が上昇。

『障害福祉サービス』の利用状況をみると、障がい種別により利用割合は大きく異なり、「利用している」人は、“知的障がい”が62.4%で特に高く、“精神障がい”が31.4%である。

また、「利用している」人は“身体障がい”が15.5%で前回よりも6.2ポイント減少した。

図 障害福祉サービスの利用状況（問9）

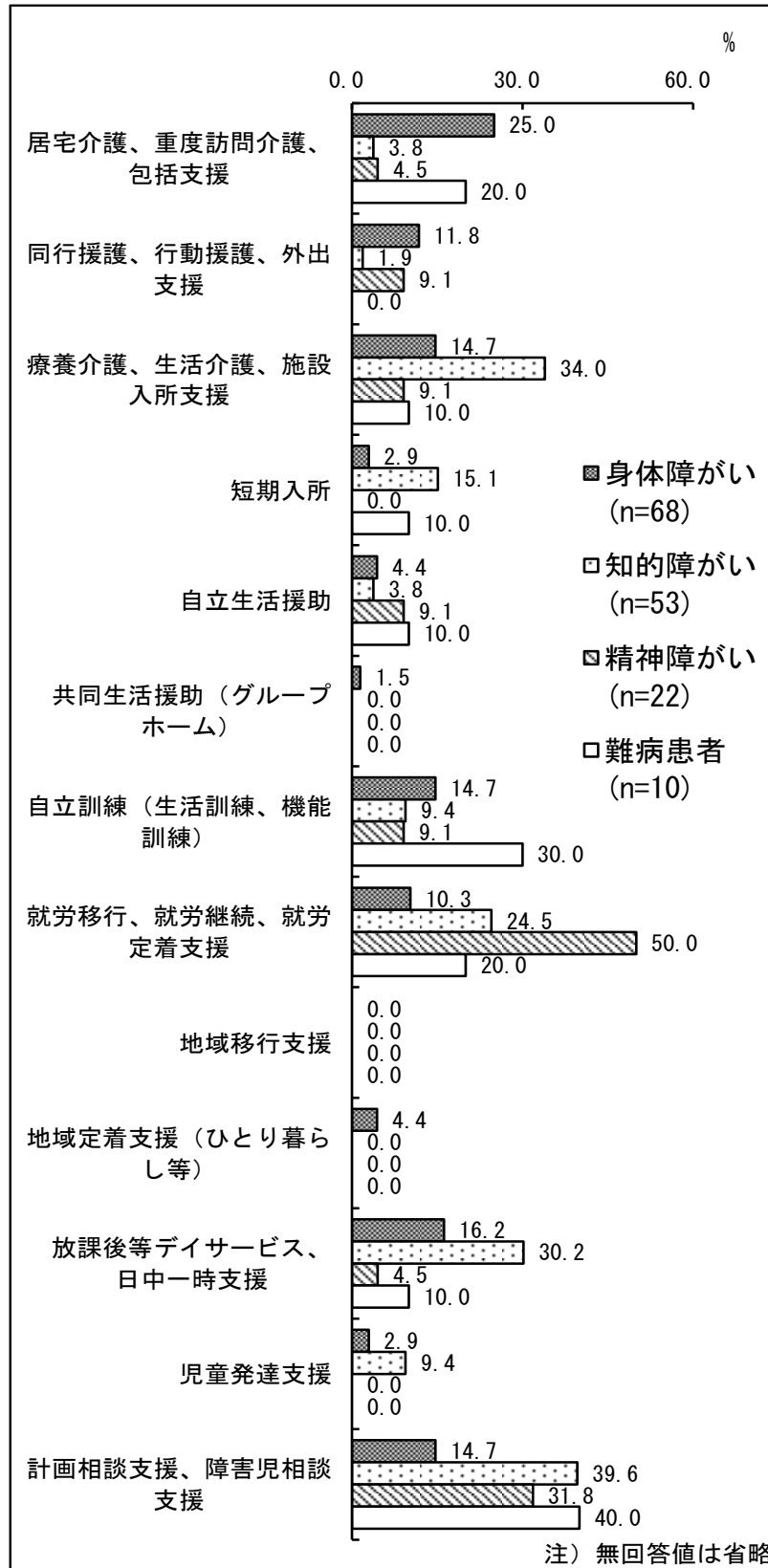




(現在利用している障害福祉サービス)

利用している障害福祉サービスは、“身体障がい”は「居宅介護、重度訪問看護、包括支援」が25.0%で最も高く、“知的障がい”は「療養介護、生活介護、施設入所支援」が34.0%で高い。“精神障がい”は「就労移行、就労継続、就労定着支援」が50.0%で最も高い。

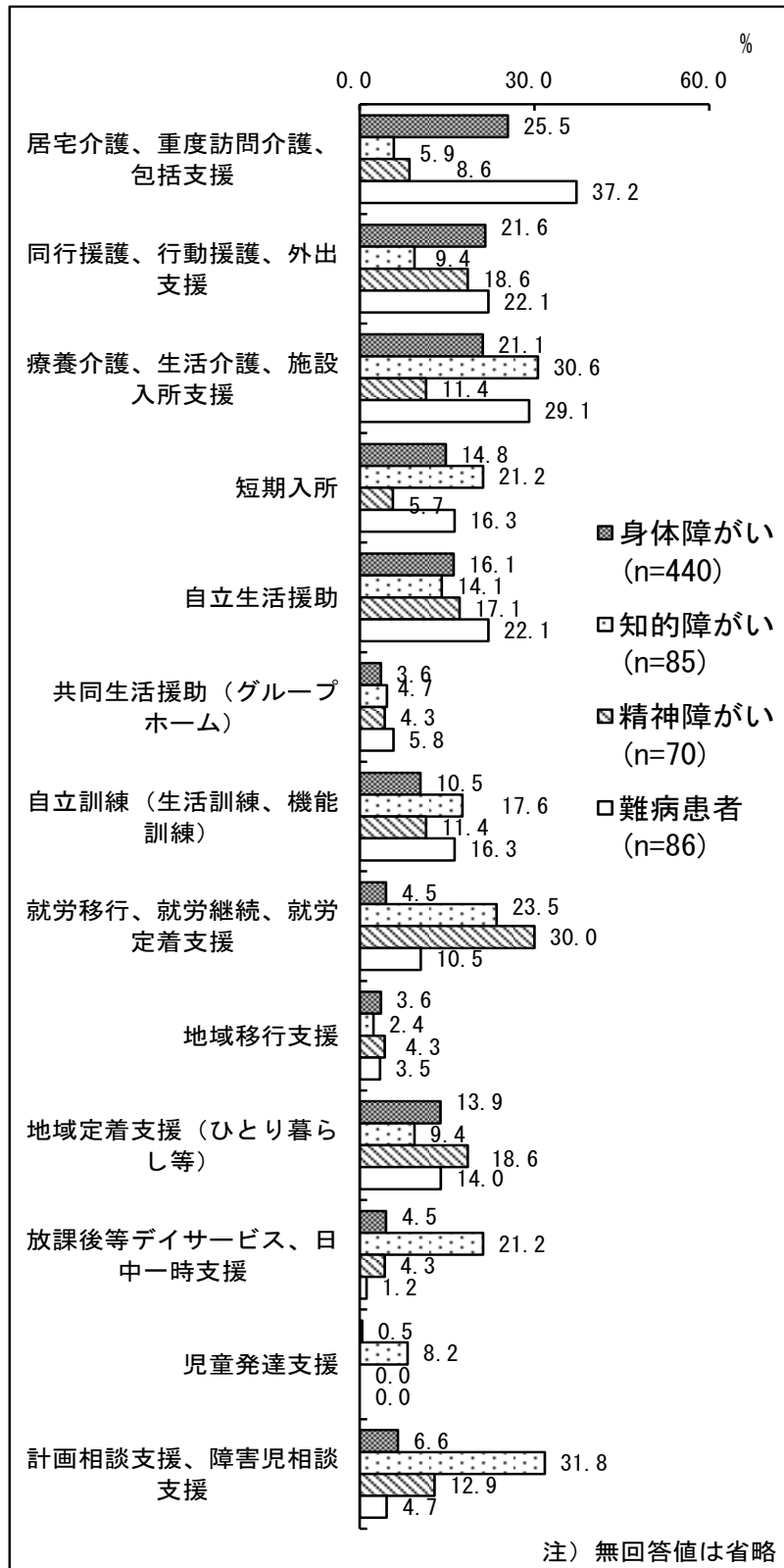
図 現在利用している障害福祉サービス（問9-1）《複数回答》



（今後利用したい障害福祉サービス）

全員に、今後（今後も）利用したいと思う障害福祉サービスをたずねたところ、“身体障がい”は「居宅介護、重度訪問介護、包括支援」が25.5%で高い。“知的障がい”は「計画相談支援、障害児相談支援」が31.8%で高い。“精神障がい”は「就労移行、就労継続、就労定着支援」が30.0%で最も高い。

図 今後利用したい障害福祉サービス（問10） 《複数回答》



(利用していない人の理由)

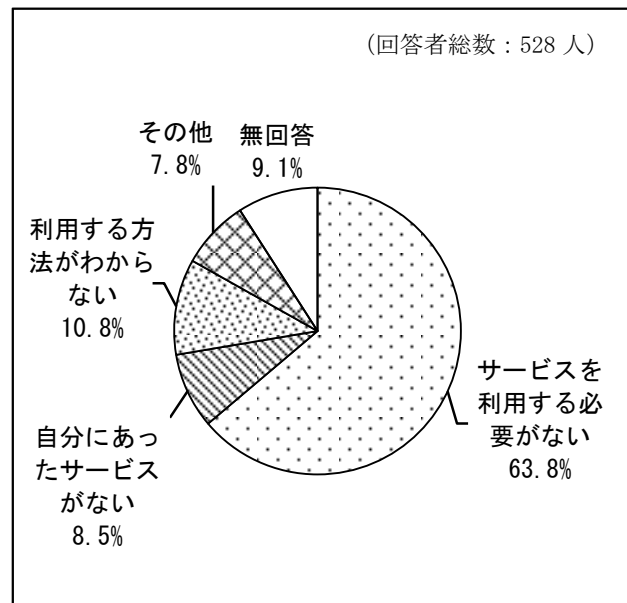
家族等で介護を担っているため「サービスを利用する必要がない」が前回と同様に高い。

障害福祉サービスを利用していない人にその理由をたずねたところ、「サービスを利用する必要がない」が63.8%で高い。

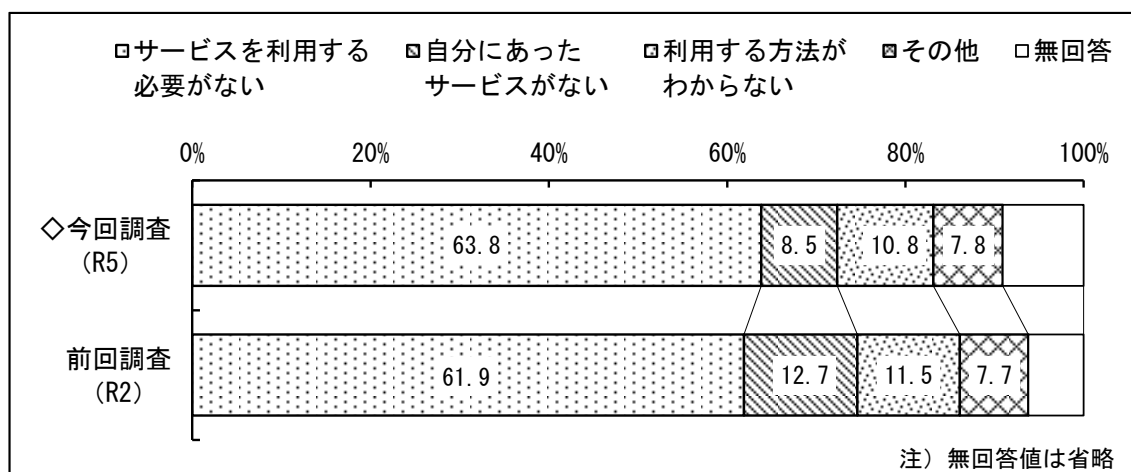
【その他の回答】

- ・ 家族で担っている。
- ・ 家庭の事情。
- ・ 家族と生活しているため。
- ・ 本人が嫌がる。
- ・ サービス対象でないと言われた。
- ・ 所得制限のため高額
- ・ 介護デイサービスを利用。等

図 利用していない理由 (問9-3)



【経年比較】



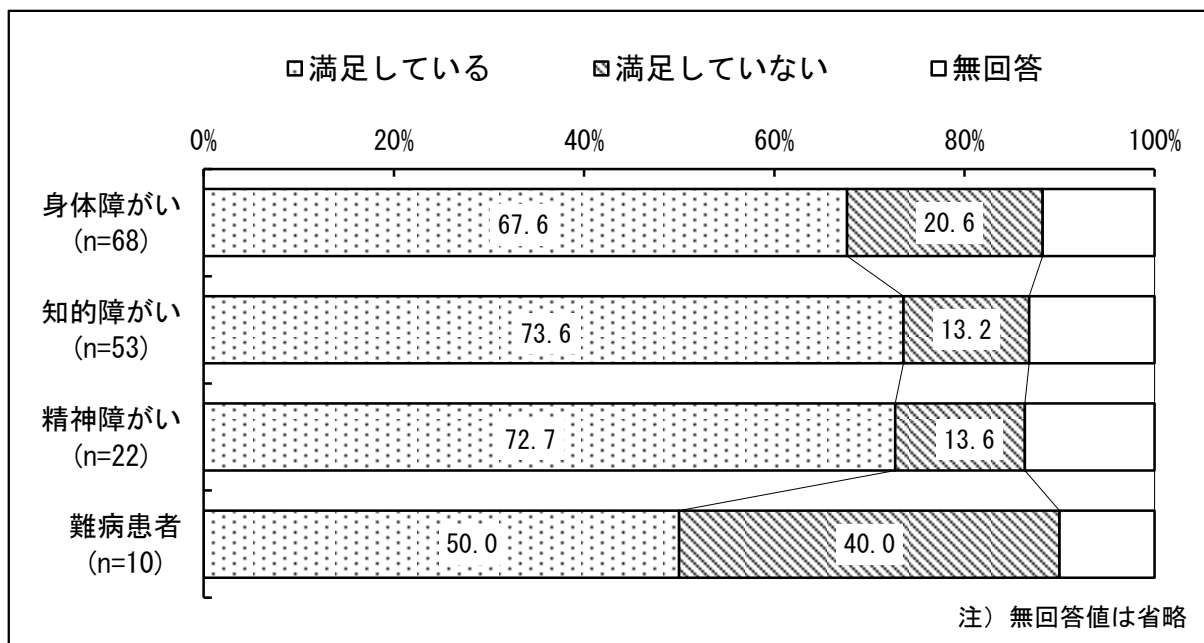
## 2-2 障害福祉サービスの満足度

前回と同様に、各障がい種別とも「満足している」が高い。

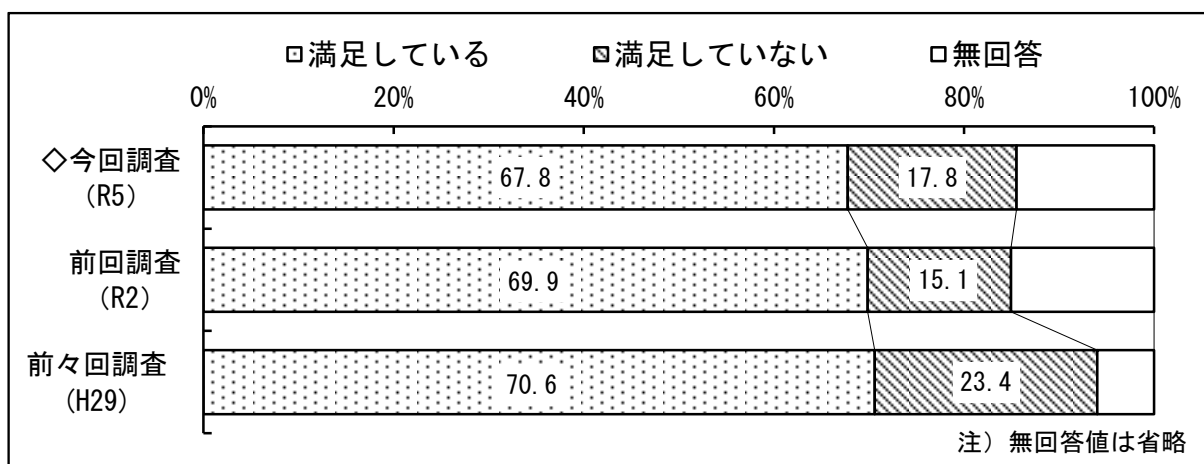
現在利用している『障害福祉サービス』の満足度をみると、「満足している」との回答は、“身体障がい”が67.6%、“知的障がい”が73.6%、“精神障がい”が72.7%、“難病患者”が50.0%である。

経年比較をみると、「満足している」は前回、前々回調査とあまり変わらない。

図 障害福祉サービスの満足度（問9-2）



### 【経年比較】



### 第3節 教育や就労、日中の過ごし方について

#### 3-1 平日の昼間の過ごし方

“身体障がい”と“精神障がい”は「自宅で過ごしている」が増加した。

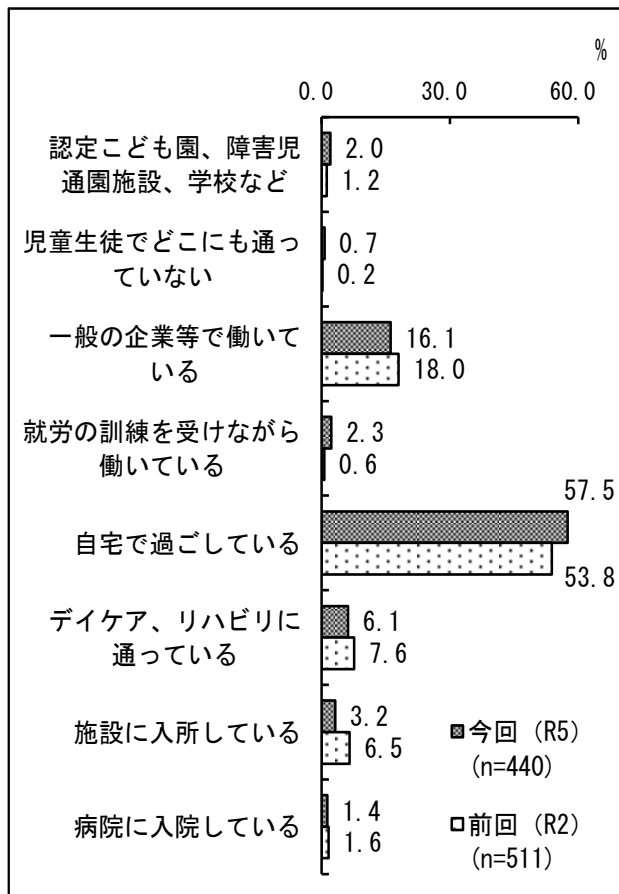
“知的障がい”は施設入所が減少し「認定こども園、障害児通園施設、学校など」が増加。

平日の昼間の過ごし方をみると、「自宅で過ごしている」は“身体障がい”が57.5%、“精神障がい”が41.4%で前回よりも増加している。

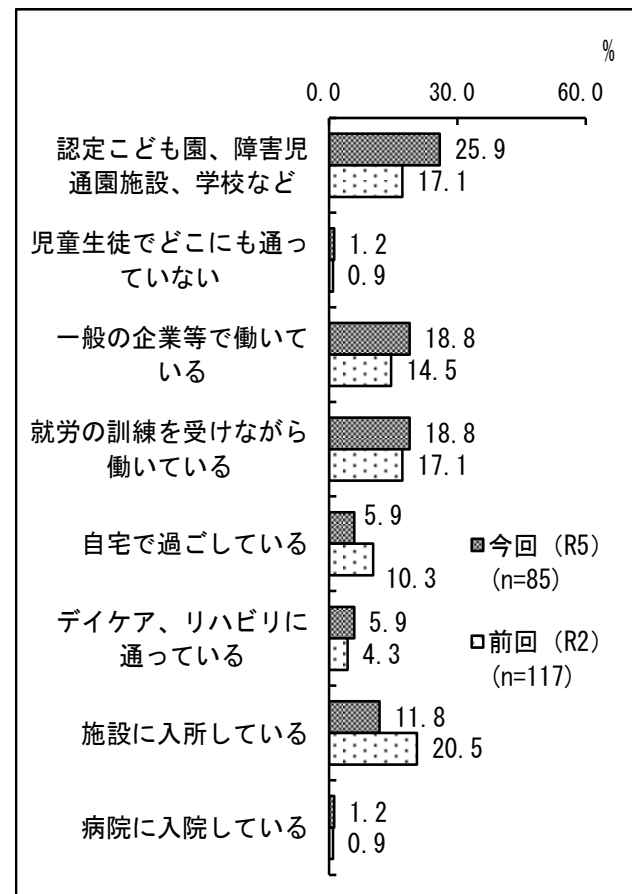
また、“知的障がい”は「施設に入所している」が減少し、「認定こども園、障害児通園施設、学校など」が25.9%で高くなっているため、中軽度の障がいの人も多くなっていることがうかがえる。

図 平日の昼間の過ごし方（問11・障害別）

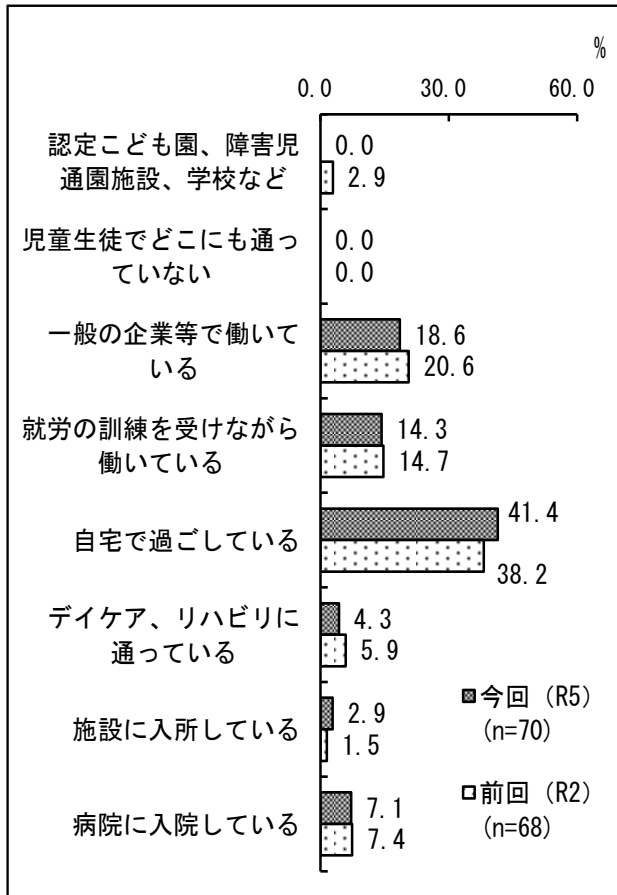
##### 【身体障がい】



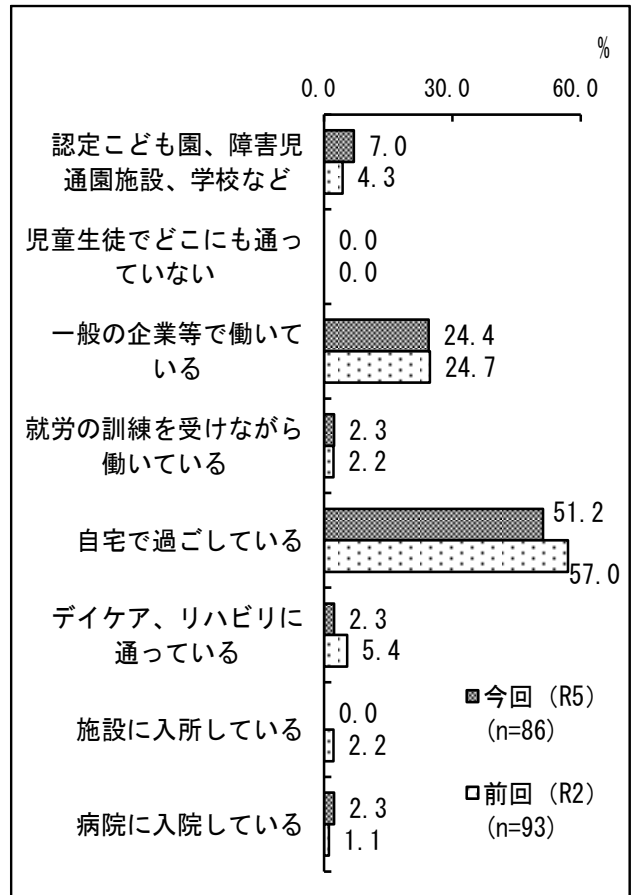
##### 【知的障がい】



【精神障がい】



【難病患者】



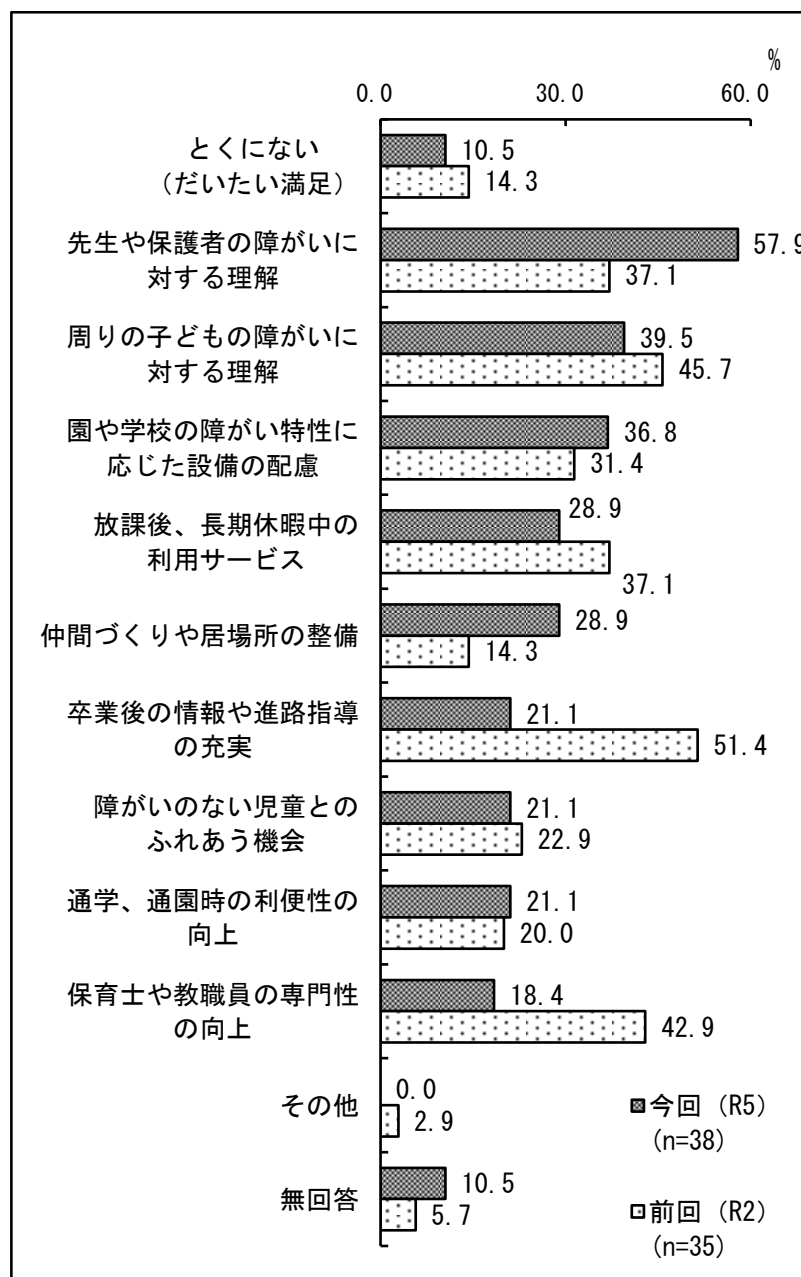
(児童・生徒)

保育や教育に望むことがある人が約9割。進路指導など充実したが「先生や保護者の障がいに対する理解」や「仲間づくりや居場所の整備」が増加している。

児童・生徒に対して、保育や教育について望むことをたずねたところ、「先生や保護者の障がいに対する理解」が57.9%で高くなった。「仲間づくりや居場所の整備」も高くなっている。

「とくにない(だいたい満足)」は10.5%であり、保育や教育について望むことがある人が約9割となる。

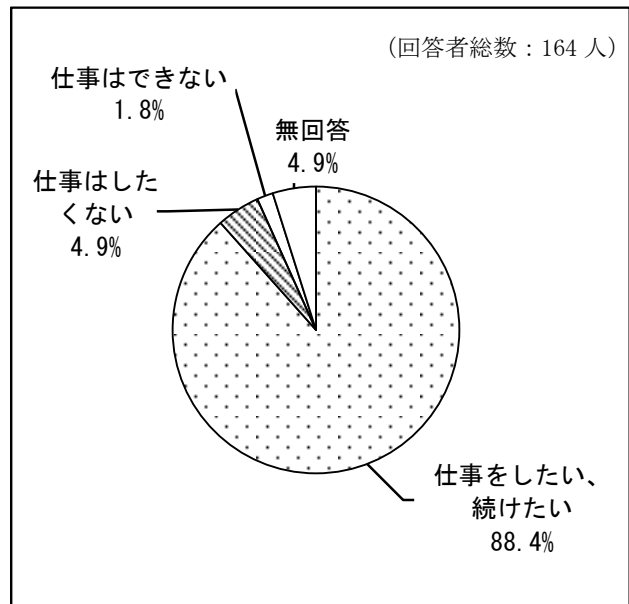
図 保育や教育について望むこと (問13) 《複数回答》



(働いている人)

今後、収入を得る仕事については、「仕事したい、続けたい」が88.4%を占める。

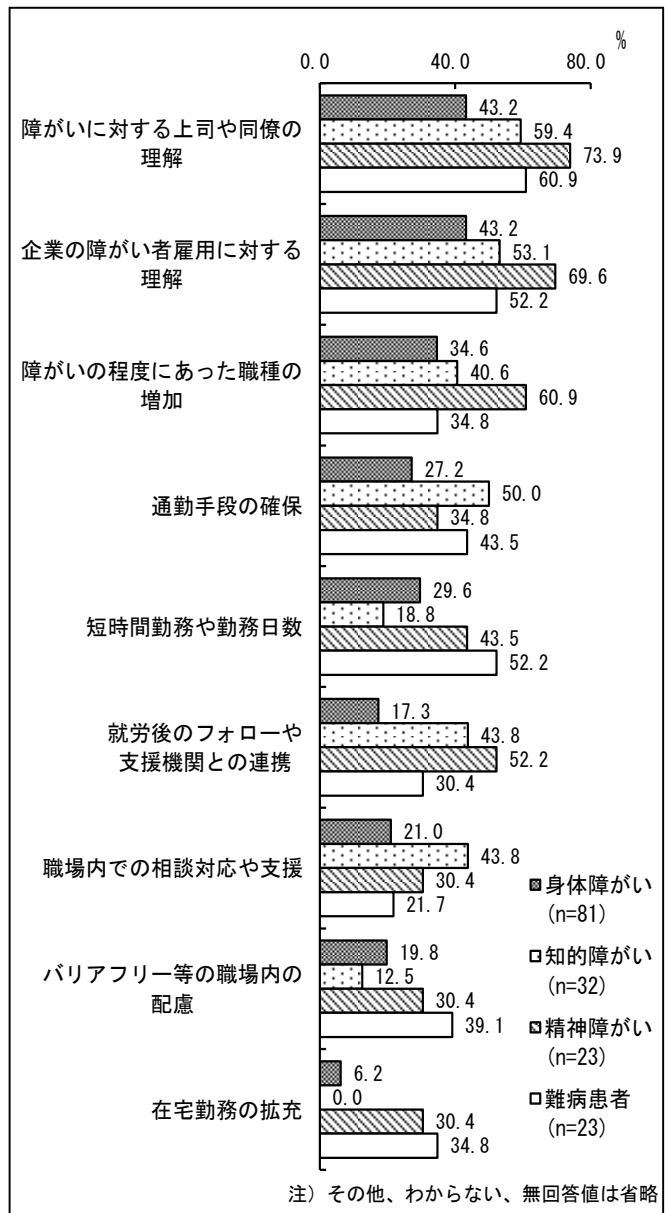
図 働くことについて (問 14-1)



働きやすい環境をつくるには、“精神障がい”は「上司や同僚の理解」、「企業の障がい者雇用に対する理解」が高い。

“知的障がい”は「通勤手段の確保」のほか、就労後のフォローや職場内での相談対応支援が高い。

図 働きやすい環境づくり (問 14-2) 《複数回答》



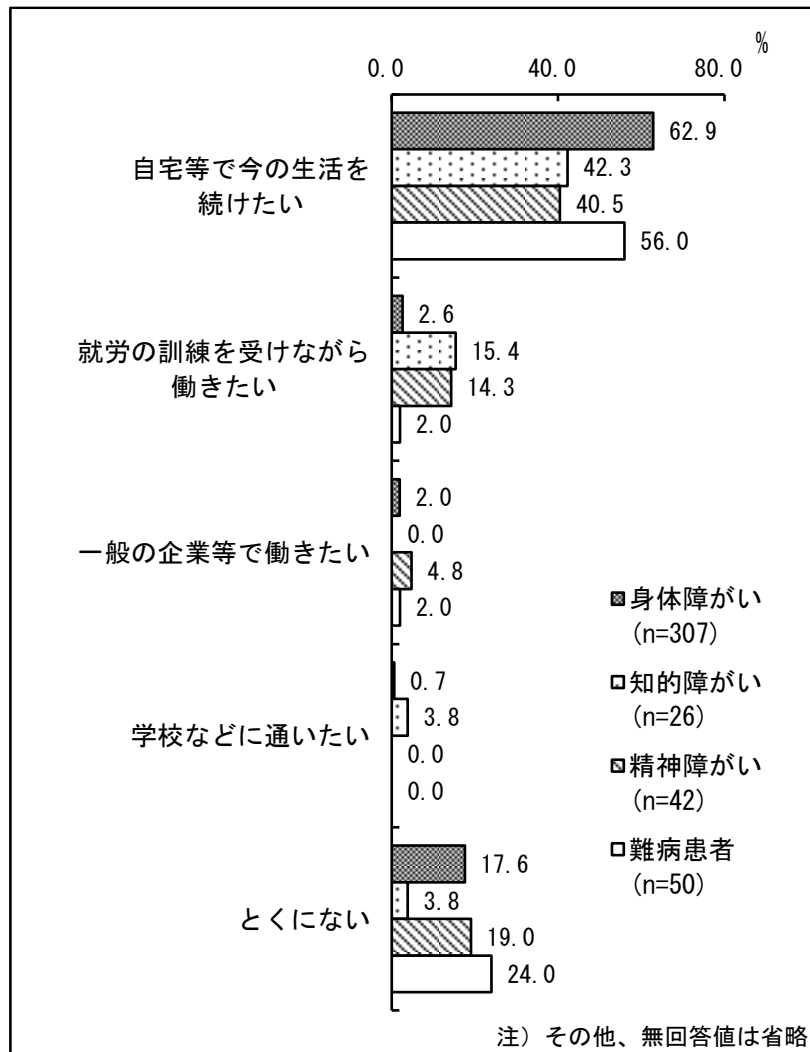


(上記に該当しない人)

上記に該当しない人に、平日の昼間の過ごし方の希望をたずねたところ、“身体障がい”と“難病患者”は「自宅等で今の生活を続けたい」が高く、65歳以上の方が多い。

“知的障がい”と“精神障がい”は「就労の訓練を受けながら働きたい」がやや高い。

図 平日の過ごし方の希望 (問12)



## 第4節 外出や社会参加について

### 4-1 ひとりでの外出

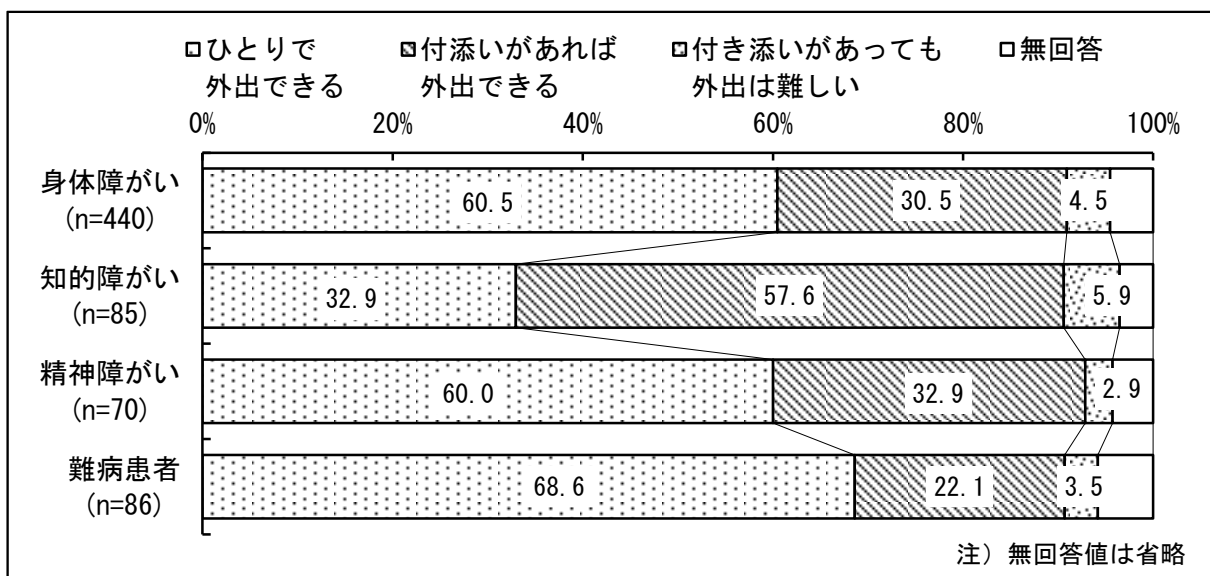
“知的障がい”は、家族や保護者等の「付き添いがあれば外出できる」が高い。

日常生活において、ひとりで外出できるかをみると、“知的障がい”は家族や保護者等の「付き添いがあれば外出できる」が57.6%で他の障がいと比べて特に高い。

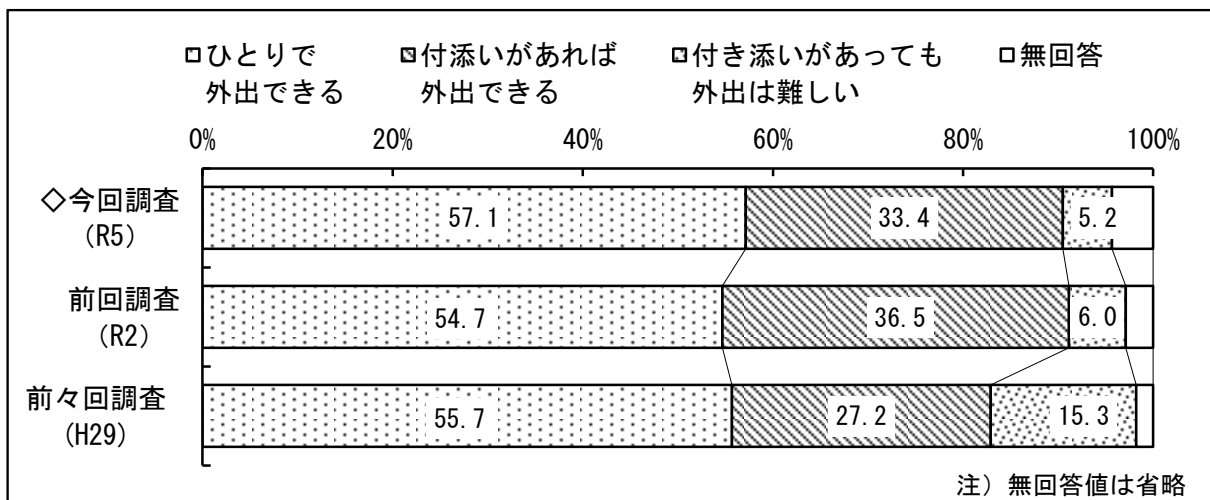
また、“身体障がい”と“精神障がい”も、外出に際して付き添いが必要な人が3割いる。

「付き添いがあれば外出できる」は、前回調査と同様の割合である。

図 ひとりでの外出（問15）



#### 【経年比較】



## 4-2 外出の頻度と今後の希望

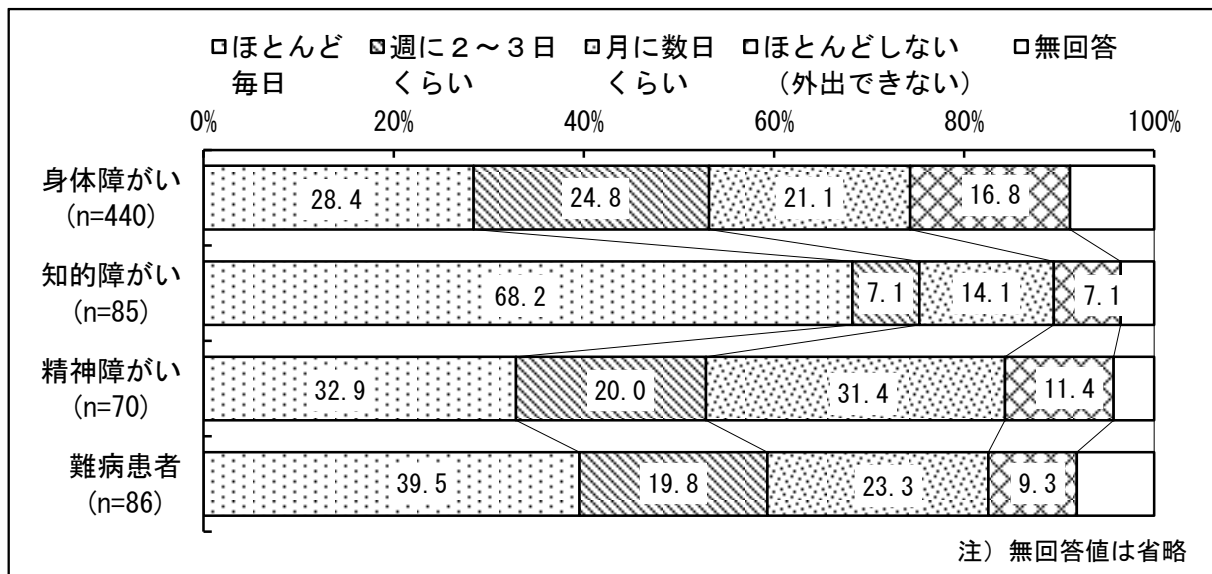
“知的障がい”の外出頻度が増えた一方で、“精神障がい”の外出頻度は減少。

通勤・通学・通所、レジャーなど外出の頻度をみると、“知的障がい”は児童が多く認定こども園や学校などに通っている方が多いため「ほとんど毎日」が68.2%で特に高い。

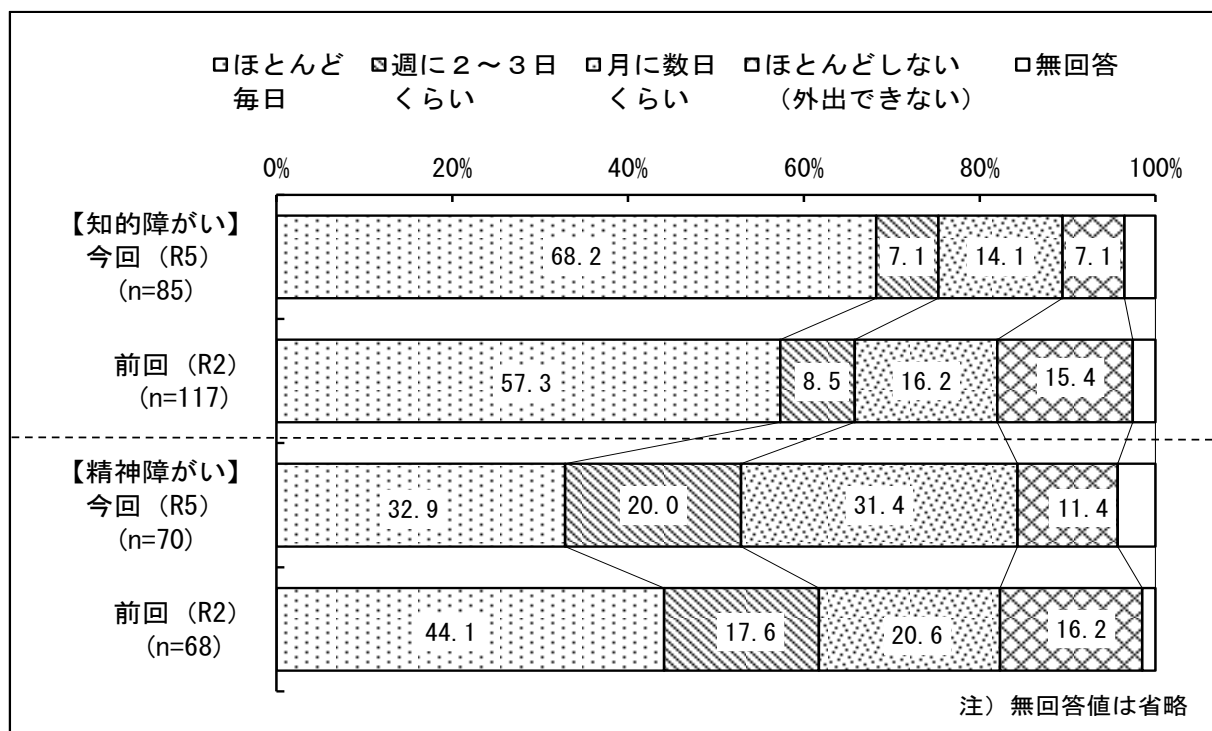
“知的障がい”の外出頻度が高くなった一方で、“精神障がい”の外出頻度は減少した。

(外出の頻度)

図 外出の頻度 (問16)



【経年比較】

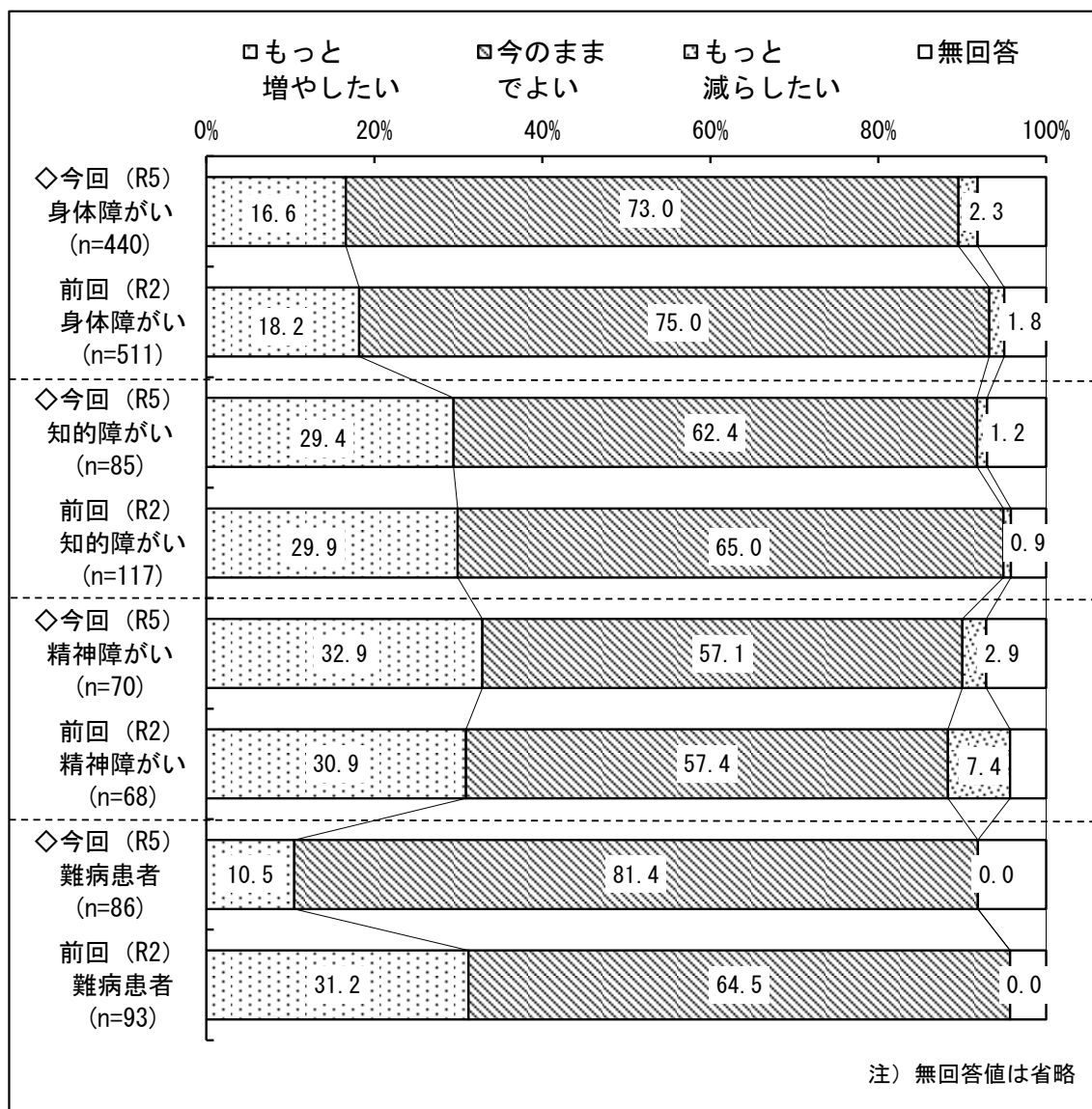


(外出の希望)

今のままが半数。“知的障がい”と“精神障がい”は外出を増やしたい意向が約3割ある。

外出の希望について、「今のままでよい」が半数以上を占めるが、その一方で、外出する機会を「もっと増やしたい」は、“知的障がい”が29.4%、“精神障がい”が32.9%で比較的高い。

図 外出の希望 (問17)



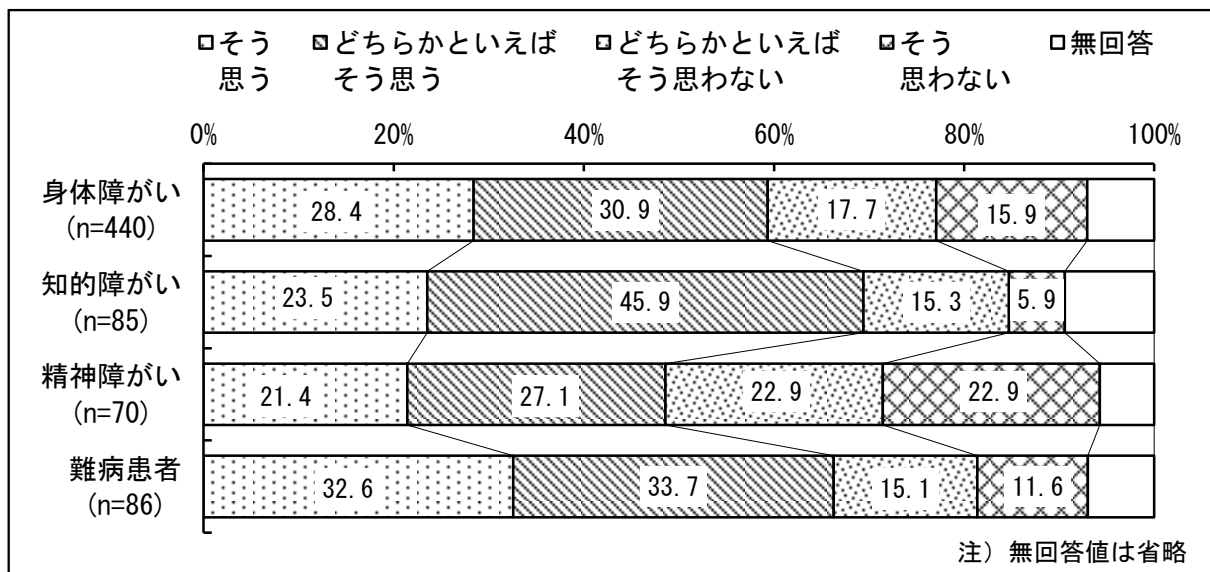
### 4-3 楽しみや生きがい

楽しみや生きがいを持っている人が6割。前回よりも若干減少。

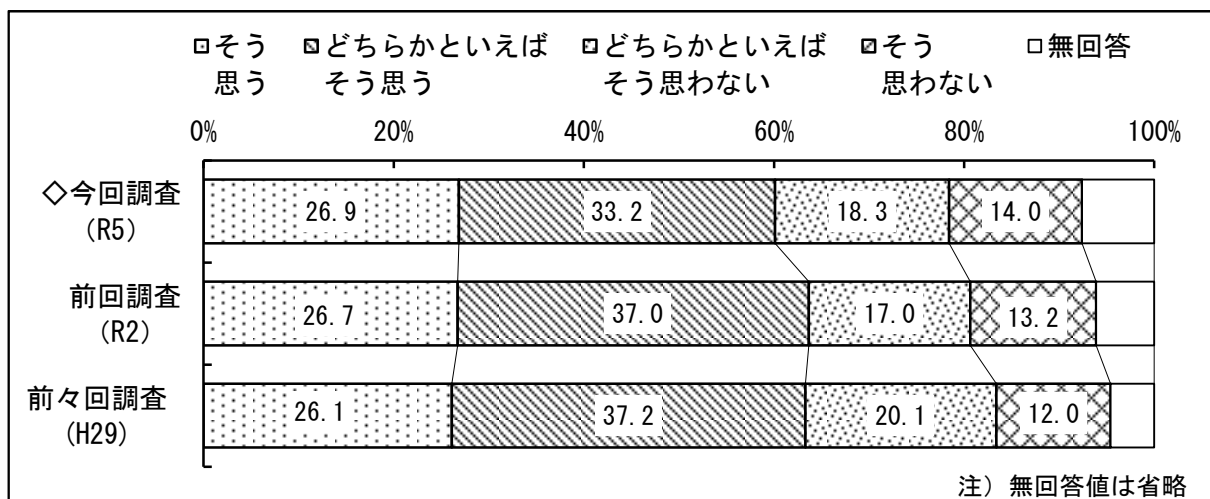
楽しみや生きがいを持って生活しているかをみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると60.1%である。“知的障がい”は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると69.4%で、楽しみや生きがいは他の障がいよりも比較的高い。

経年比較をみると、全体で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると60.1%で、前回調査よりも3.6ポイント減少している。

図 楽しみや生きがい（問18）



#### 【経年比較】



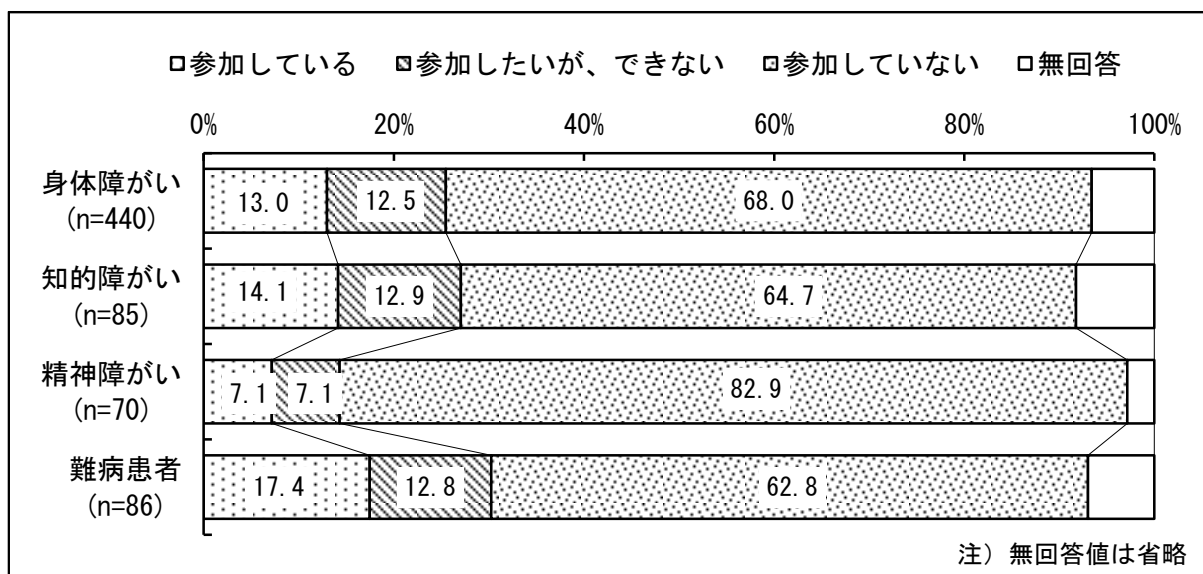
## 4-4 文化芸術・スポーツ活動への参加

「参加していないが」が全体の約7割。「精神障がい」の参加が低い。

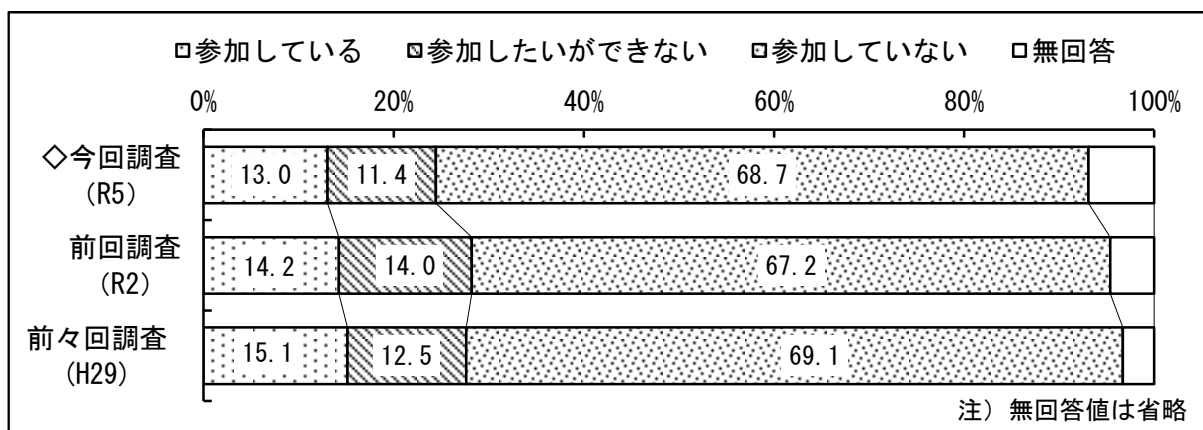
文化芸術活動やスポーツ活動の参加をみると、全体では「参加していない」が68.7%である。特に「精神障がい」は「参加していない」が82.9%で高い。

経年比較をみると、全体では「参加している」が13.0%で、コロナ禍が続く中で、前回よりも減少していることがうかがえる。

図 文化芸術・スポーツ活動への参加（問19）



### 【経年比較】

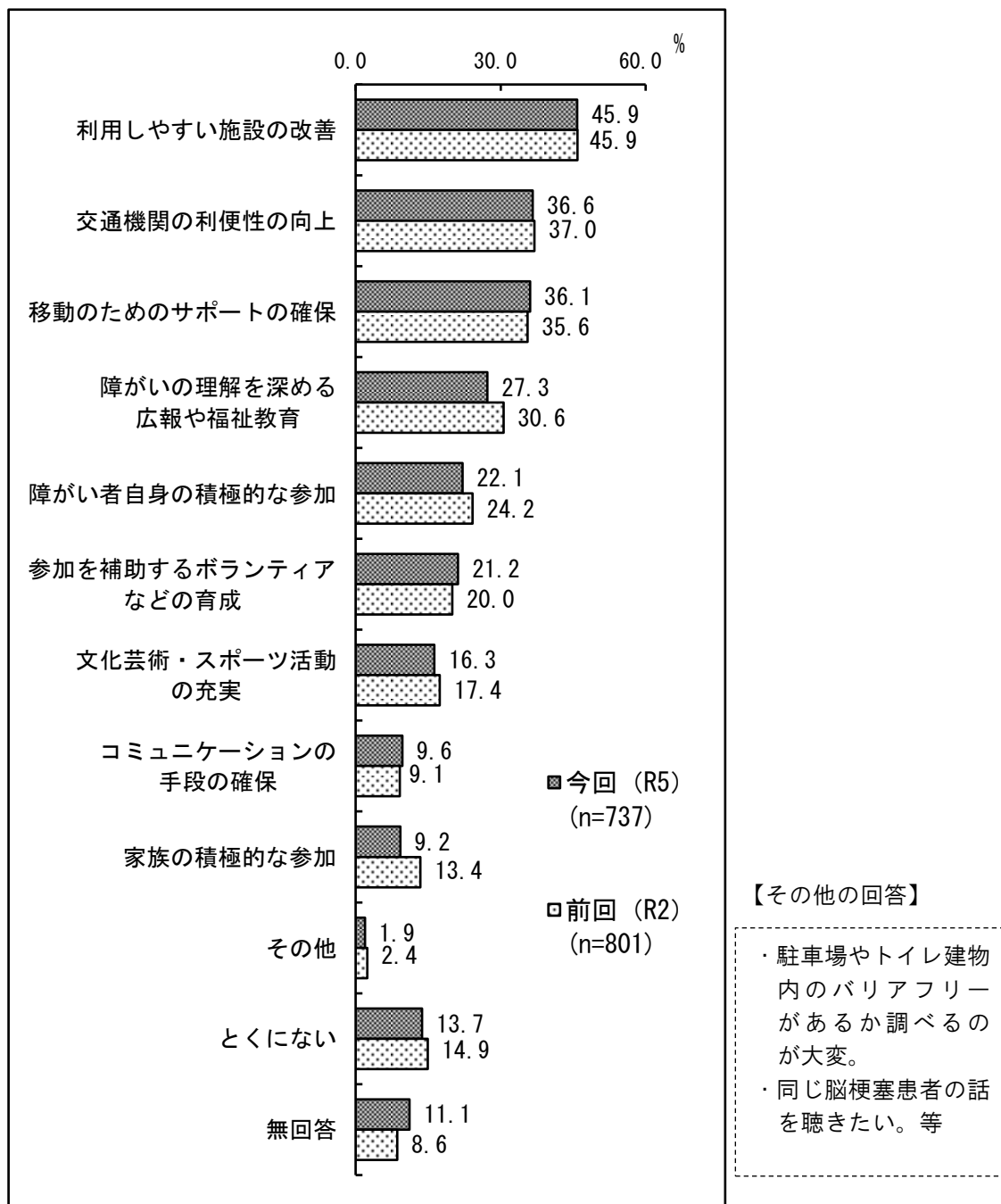


## 4-5 地域や社会に参加しやすい環境づくり

前回と同様に「施設の改善」と「交通機関の利便性」「移動のサポート確保」があげられている。

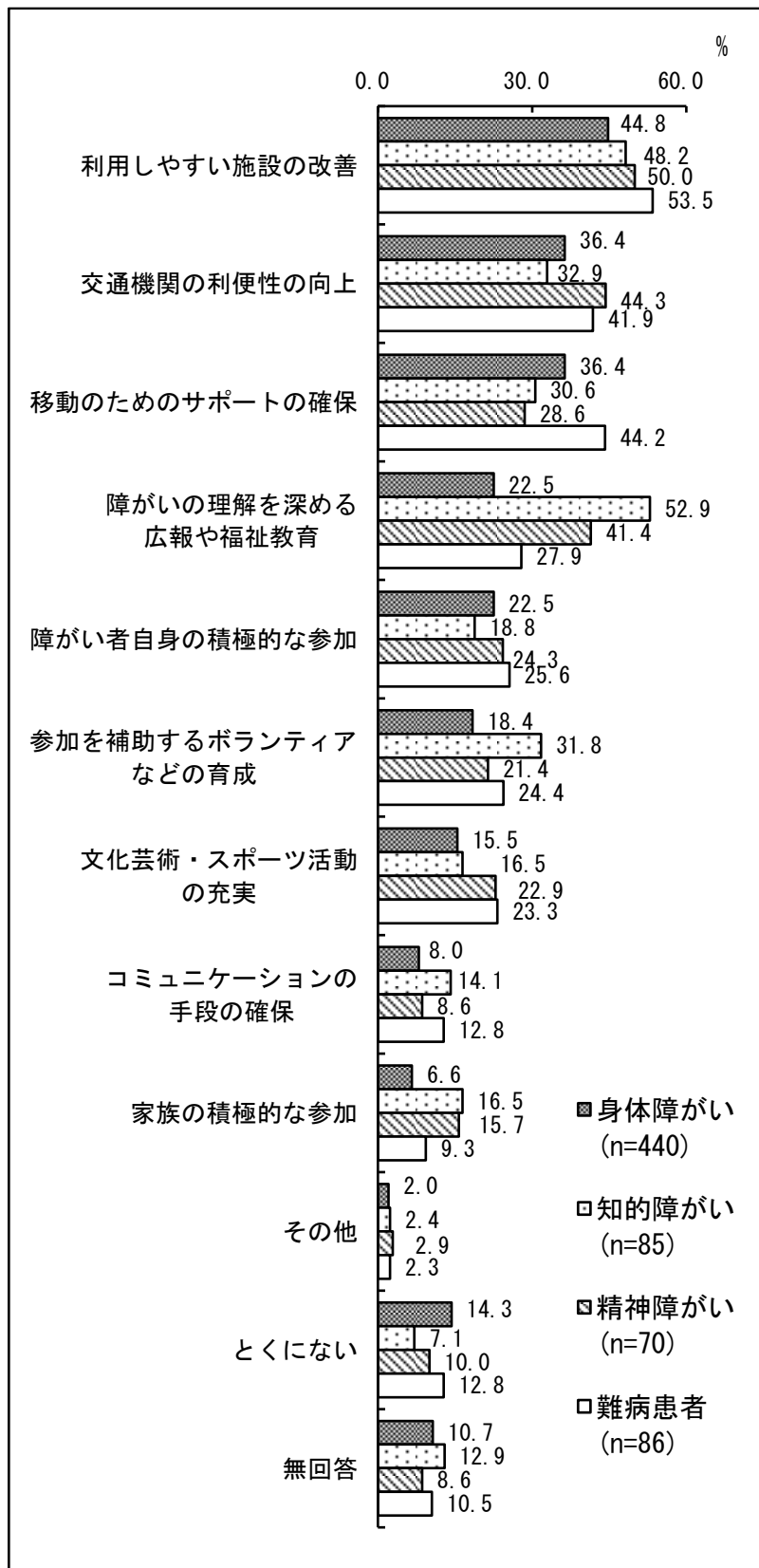
障がいのある方が地域や社会に積極的に参加していくために必要なことは、前回と同様に「利用しやすい施設の改善」が45.9%である。次に「交通機関の利便性の向上」が36.6%、「移動のためのサポートの確保」が36.1%で続く。

図 地域や社会に参加しやすい環境づくり（問20）  
《複数回答》



障がい種別でみると、“知的障がい”は「障がいの理解を深める広報や福祉教育」が52.9%で特に高い。“精神障がい”は「文化芸術・スポーツ活動の充実」が22.9%で、前回調査の11.8%と比べて11.1ポイント高くなっている。

図 地域や社会に参加しやすい環境づくり（問20）  
《複数回答》





第5節 相談・情報提供について

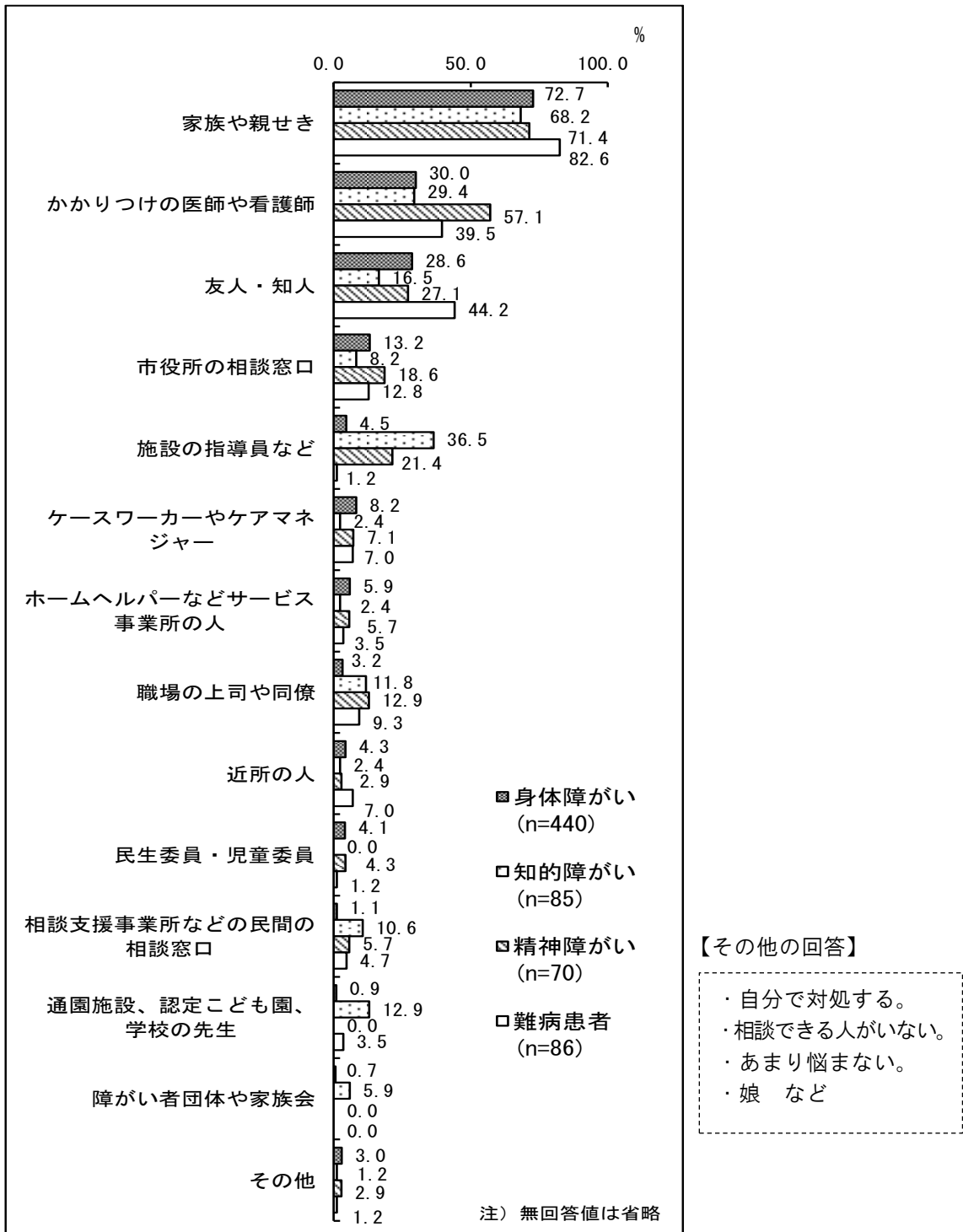
5-1 悩みや困りごとの相談先

障がい種別に関わらず「家族や親せき」が最も高い。

悩みや困ったときの相談先は、障がい種別に関わらず「家族や親せき」が最も高い。

“精神障がい”は「かかりつけの医師や看護師」が57.1%で比較的高い。“知的障がい”は「施設の指導員など」が36.5%で比較的高い。

図 悩みや困りごとの相談先（問21） 《複数回答》

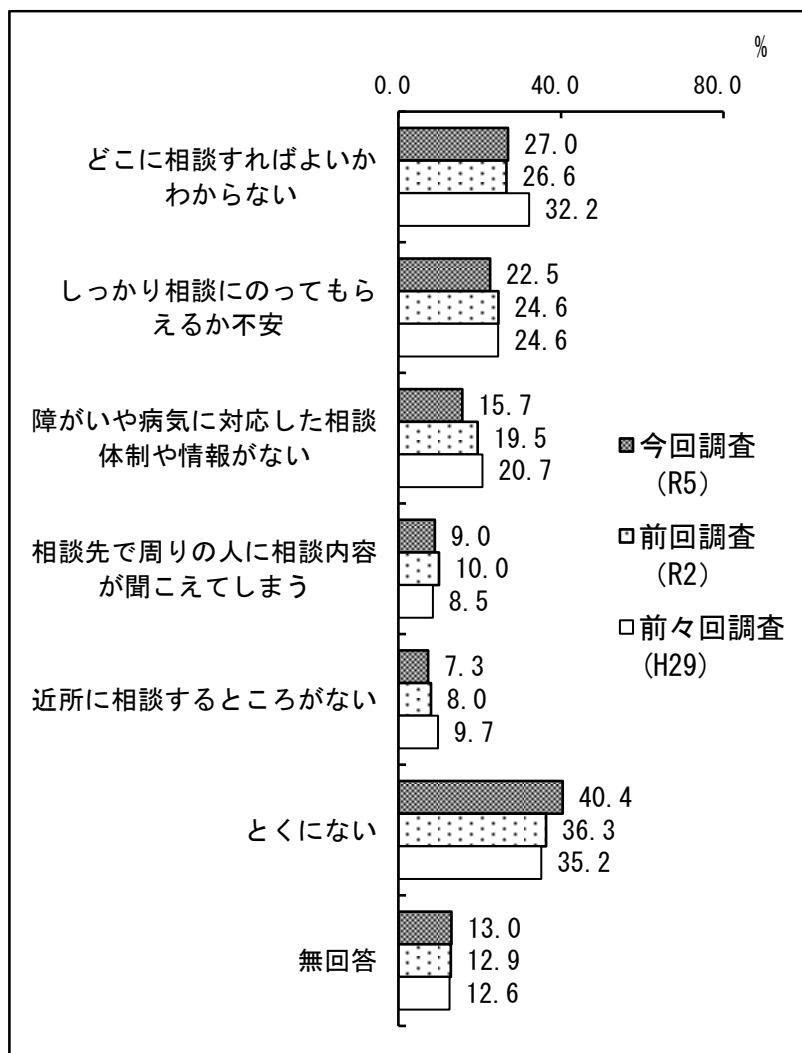


## 5-2 相談や情報収集するときに困ること

相談や情報収集について困ることは前回より若干減少。“精神障がい”は「どこに相談すればよいかわからない」「しっかり相談にのってもらえるか不安」が比較的高い。

相談や情報収集するときに困ることは、「とくにない」が高いが、前回と同様に「どこに相談すればよいかわからない」が比較的高い。

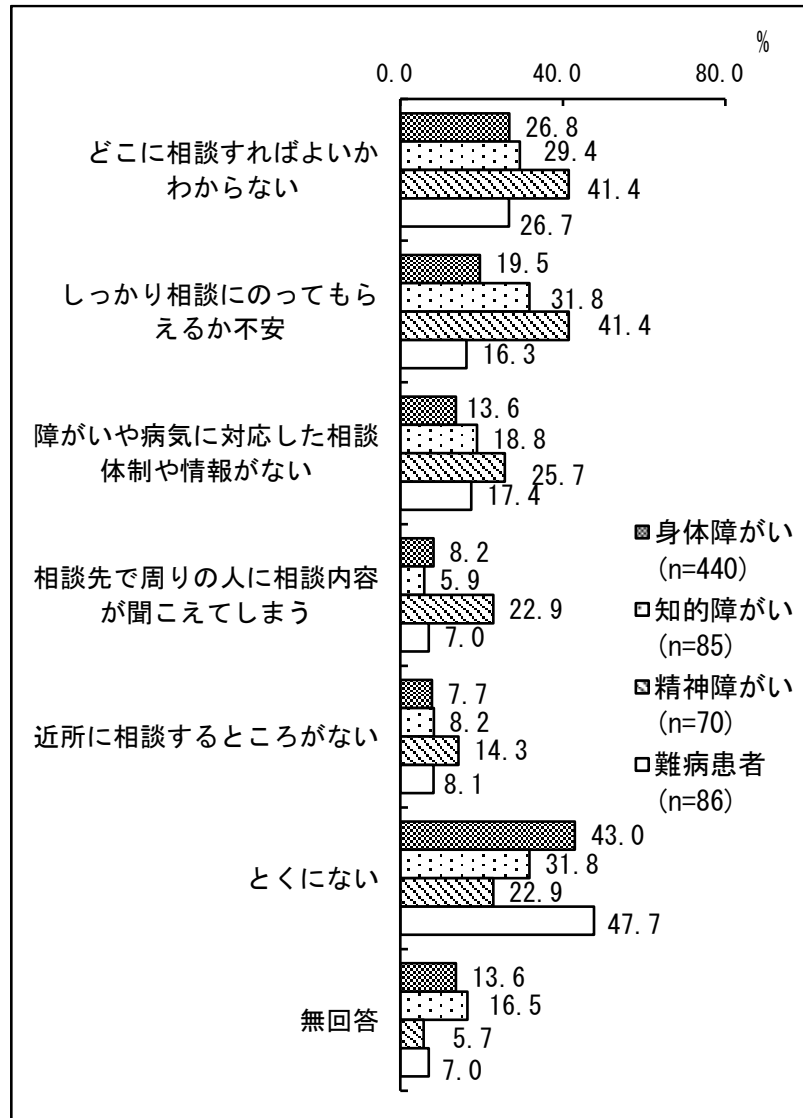
図 相談や情報収集するときに困ること（問 22） 《複数回答》



“知的障がい”は「しっかり相談にのってもらえるか不安」と「とくにない」が31.8%ずつで高い。

“精神障がい”は「どこに相談すればよいかわからない」と「しっかり相談にのってもらえるか不安」が41.4%で比較的高い。

図 相談や情報収集するときに困ること（問22） 《複数回答》



## 第6節 災害対策について

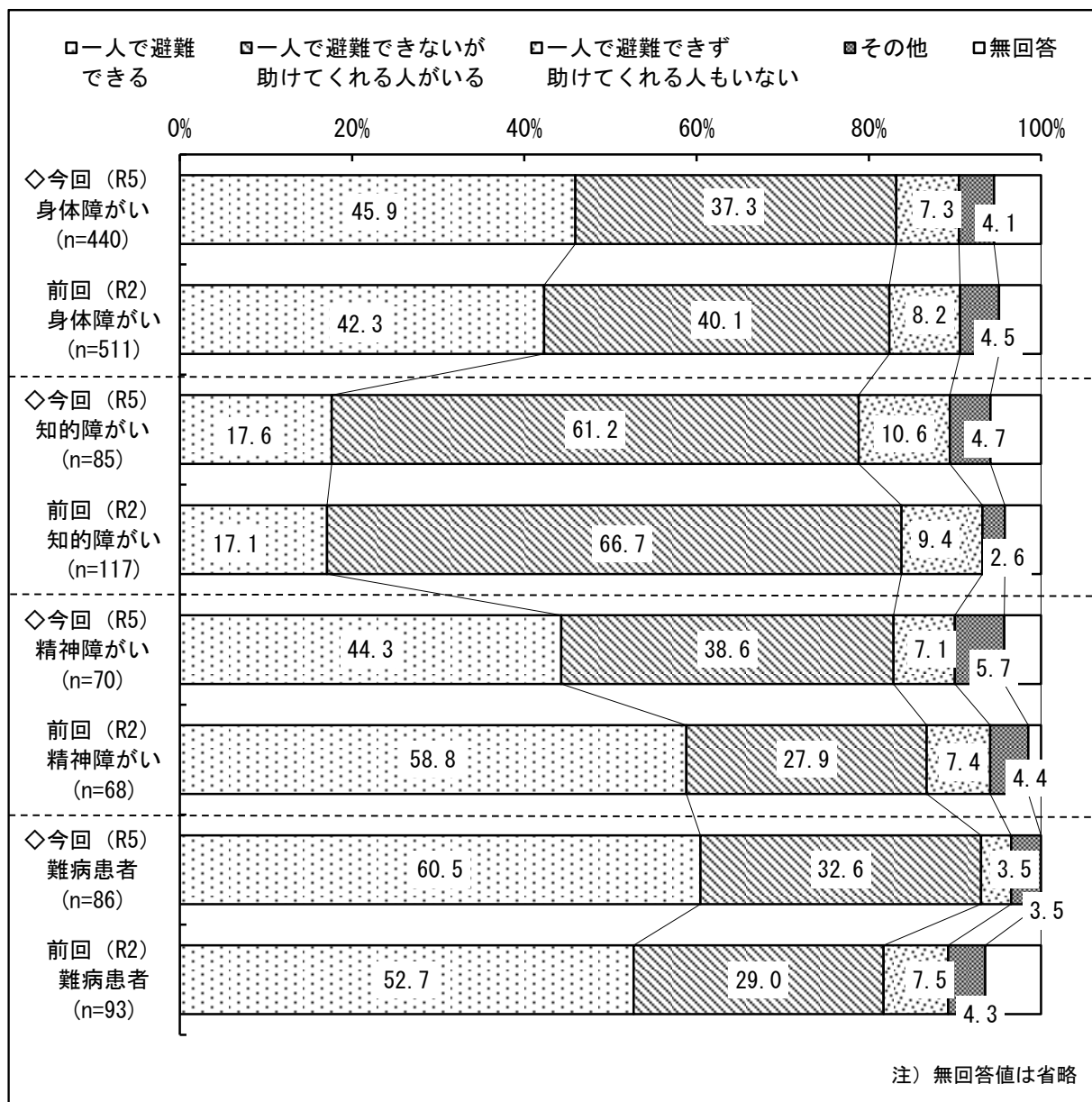
### 6-1 一人での避難

“知的障がい”は「一人で避難できないが、助けてくれる人がいる」が約6割。  
 “精神障がい”は、「一人での避難できる」は減少し、助けてくれる人がいるが増加した。

台風や大雨、地震などの災害時に一人で避難できるかをみると、全体では「一人で避難できる」割合が増加した。

障がい種別でみると“知的障がい”は「一人で避難できないが、助けてくれる人がいる」が61.2%で高い。“精神障がい”は「一人で避難できる」が前回よりも減少したが、「一人で避難できないが、助けてくれる人がいる」が10.7ポイント増加した。

図 一人での避難（問23）



## 6-2 災害時の心配ごと

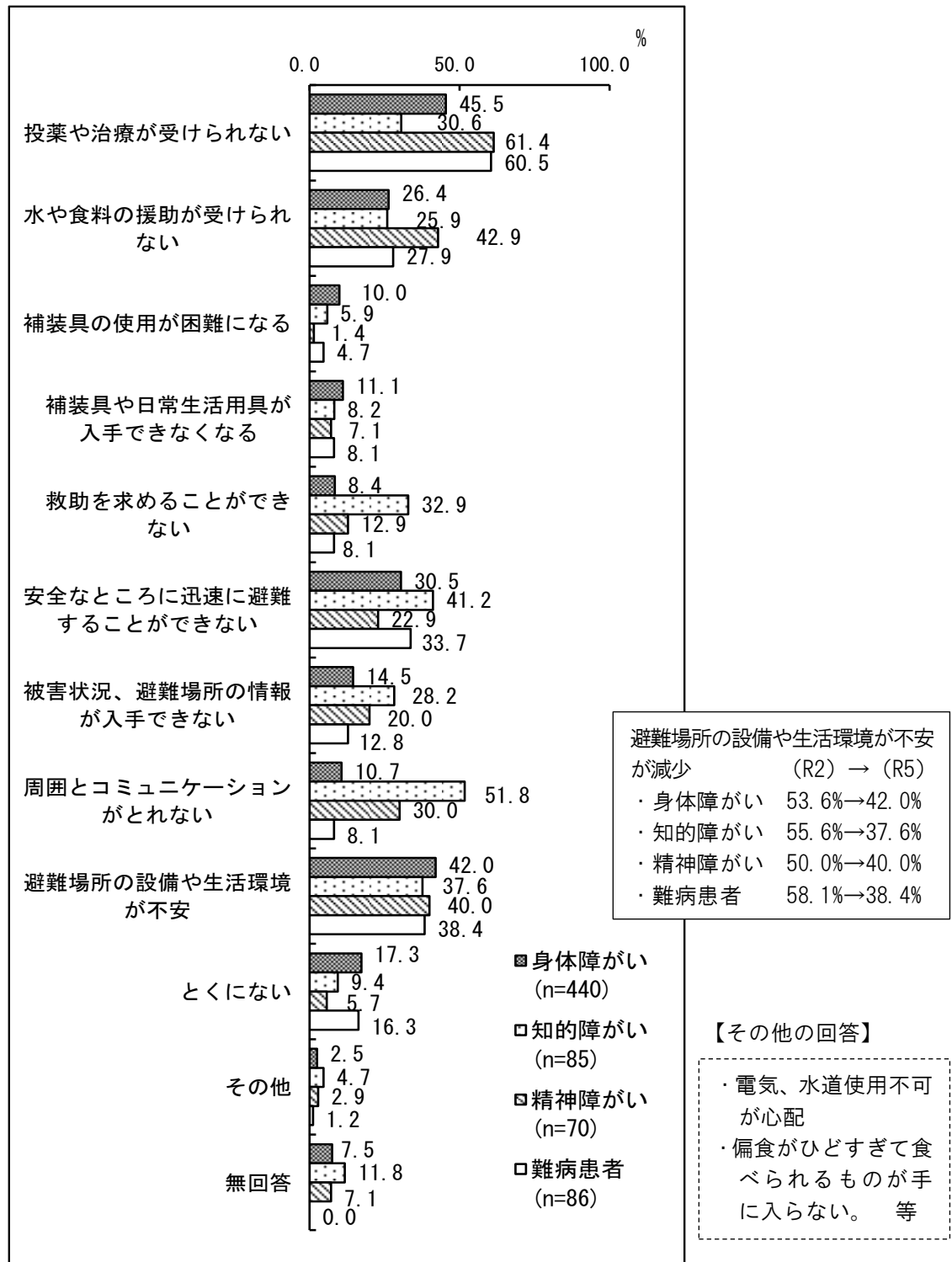
「投薬や治療が受けられない」。「知的障がい」は「周囲とコミュニケーションがとれない」。

災害時の心配は、各障がいとも「投薬や治療が受けられない」が高く、特に“精神障がい”が61.4%、“難病患者”が60.5%で高い。“知的障がい”は「周囲とコミュニケーションがとれない」が51.8%で高い。

「避難場所の設備や生活環境が不安」は、前回よりも減少し、一定の理解が得られている。

図 災害時の心配ごと（問24）

《複数回答》



## 第7節 障がいのある方が安心して暮らせる地域づくりについて

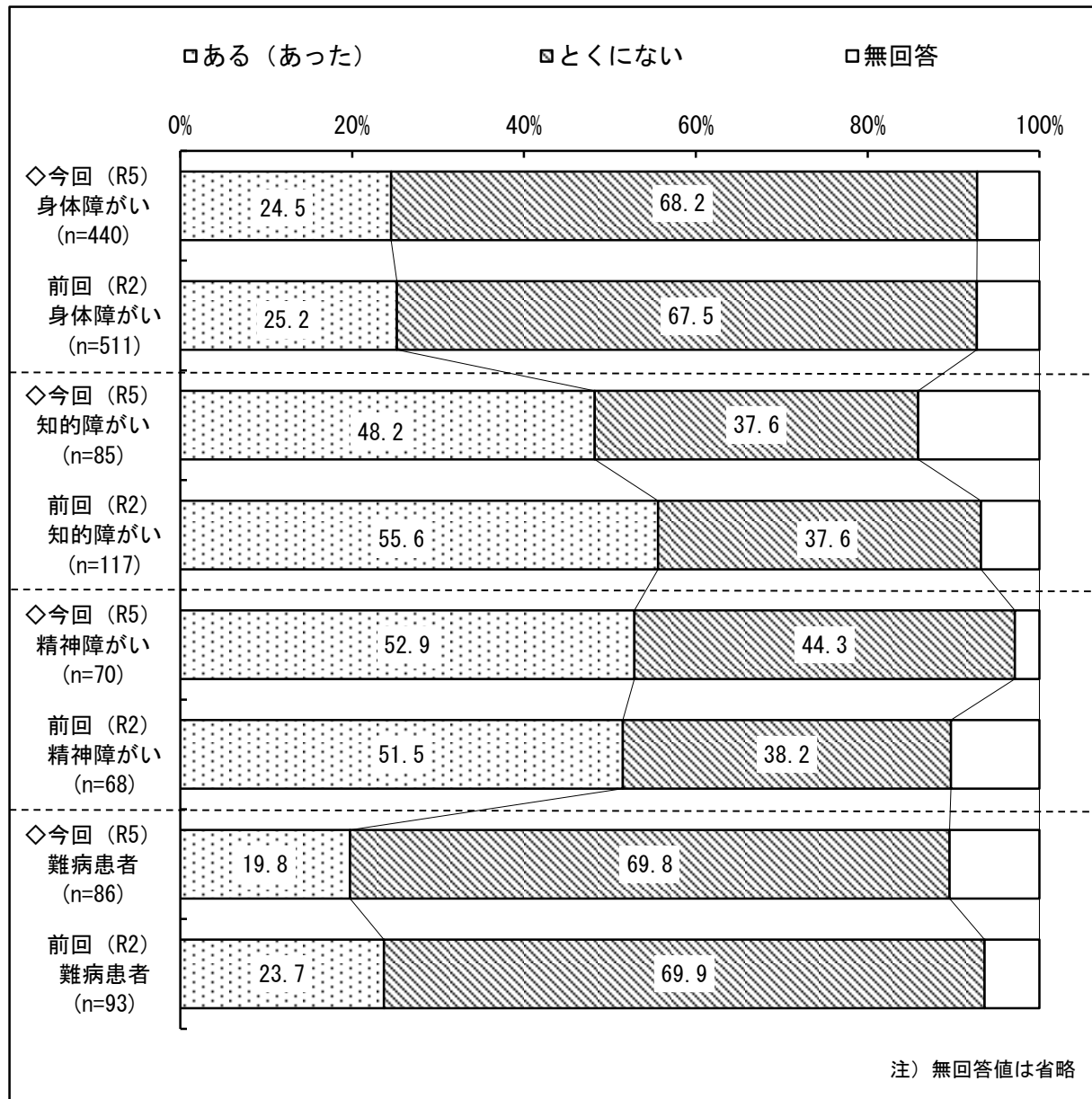
### 7-1 障がいがあることでの差別

“知的障がい”は「ある（あった）」が減少。“精神障がい”は52.9%で若干増加。

障がいがあることで差別や嫌な思いをした経験をみると、“知的障がい”は「ある（あった）」が48.2%で高いが、前回よりも7.4ポイント減少した。

“精神障がい”は「ある（あった）」が52.9%で前回よりも若干増加した。

図 障がいがあることでの差別（問25）



(嫌な思いを感じた場所)

障がいがあることでの差別や嫌な思いをした経験がある人について、各障がいとも「学校・仕事場」が高い。特に“精神障がい”は「仕事を探すとき」が37.8%、「住んでいる地域」が32.4%で他の障がいに比べて高い。

図 差別や嫌な思いをした場所 (問 25-1)

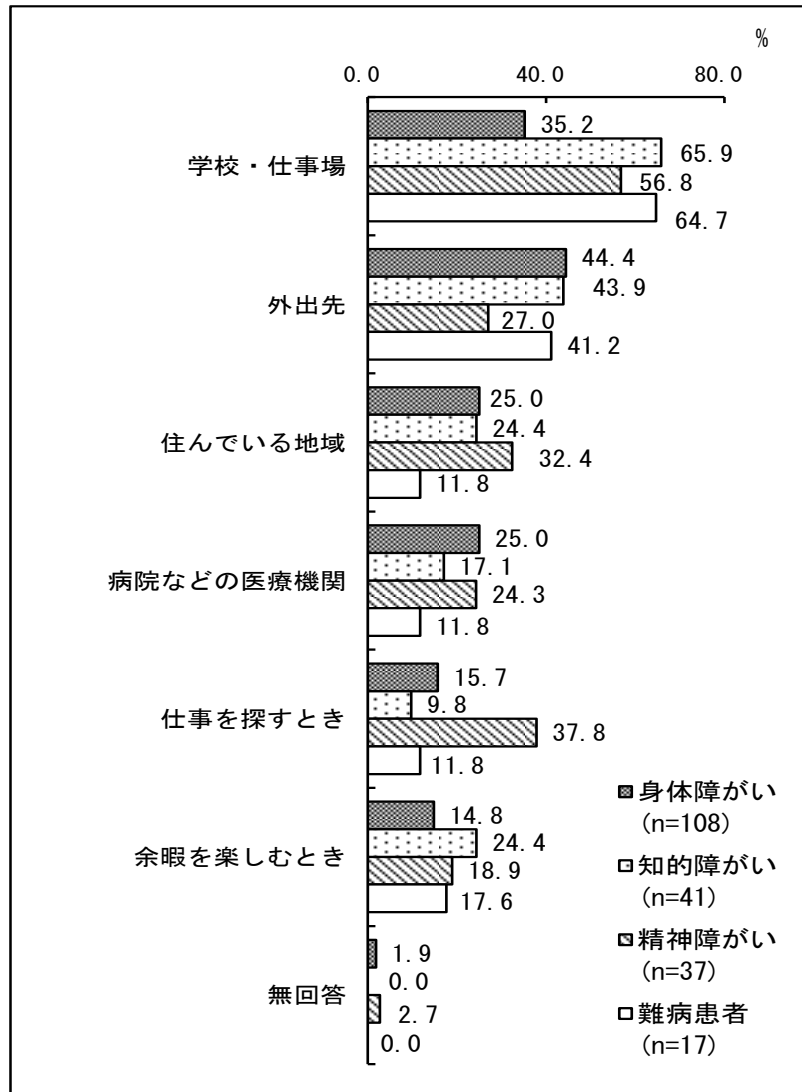


表 差別や嫌な思いをした場所 (問 25-1) 【年齢別】

(単位：%)

	0~6歳 (n=6)	7~18歳 (n=11)	19~29歳 (n=21)	30~39歳 (n=20)	40~49歳 (n=22)	50~64歳 (n=48)	65~74歳 (n=31)	75歳以上 (n=42)
学校・仕事場	50.0	63.6	76.2	65.0	72.7	47.9	16.1	14.3
仕事を探すとき	0.0	0.0	33.3	15.0	36.4	20.8	22.6	7.1
外出先	50.0	27.3	42.9	50.0	22.7	43.8	38.7	54.8
余暇を楽しむとき	0.0	18.2	28.6	30.0	9.1	12.5	9.7	23.8
病院などの医療機関	33.3	9.1	23.8	20.0	13.6	14.6	25.8	33.3
住んでいる地域	16.7	18.2	9.5	30.0	18.2	27.1	29.0	19.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	2.4

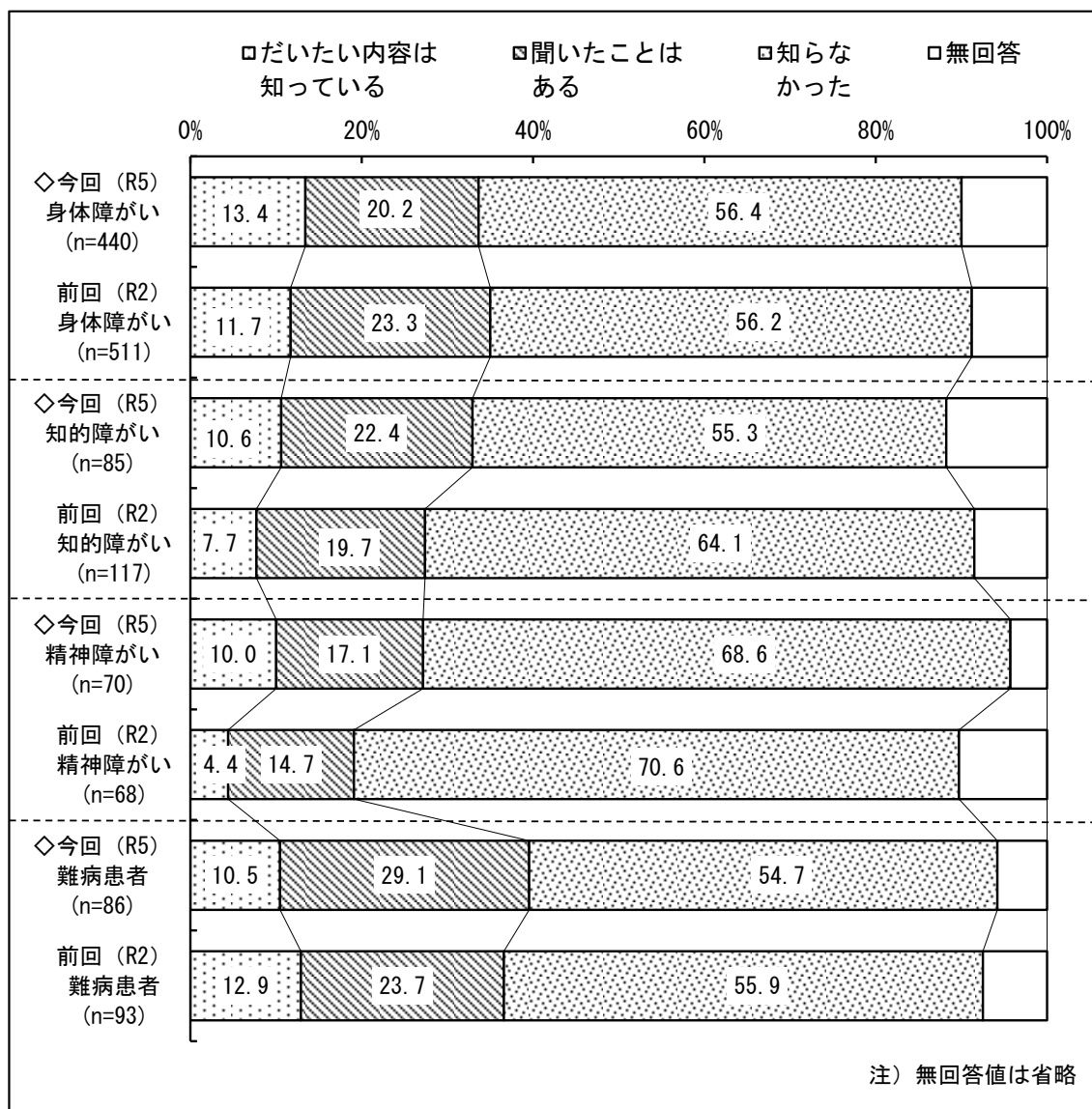
## 7-2 障害者差別解消法の認知度

障害者差別解消法の認知度は、全体として上昇した。

障害者差別解消法は、障がいのある人への「不当な差別的取扱い」を禁止し、障がいのある人が困らないように役所や会社・お店などに「合理的配慮の提供」を求めています。

この法律の認知度は、障がい種別にもても、全体として認知度が上昇した。

図 障害者差別解消法の認知度（問 26）





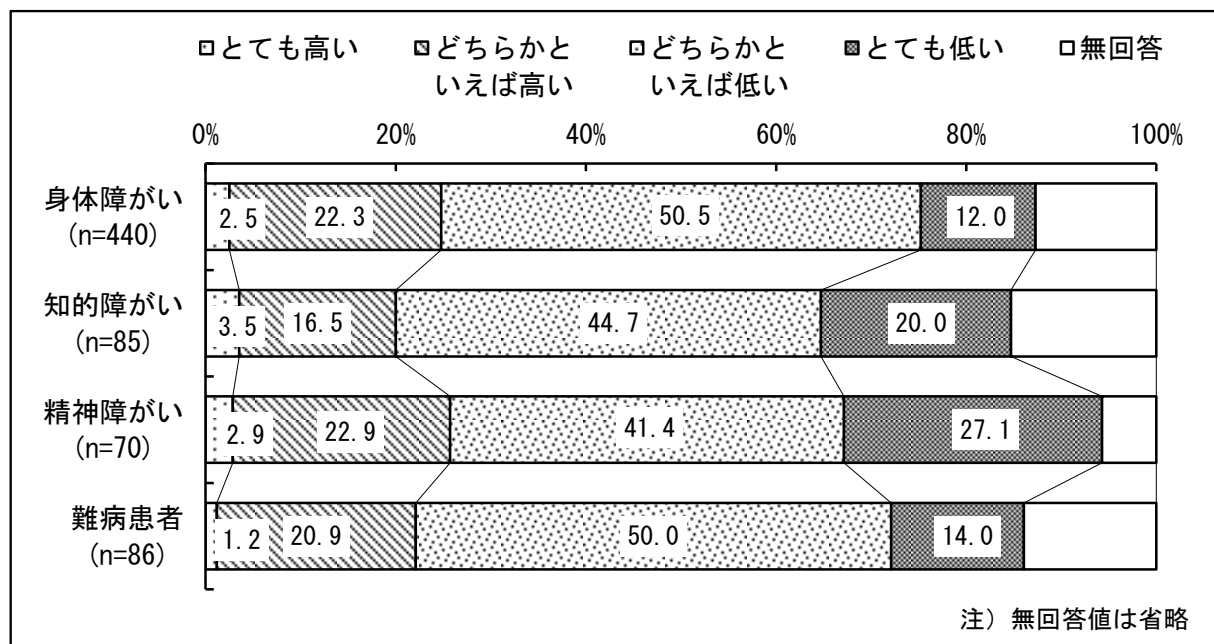
### 7-3 障がいのある方への市民の理解

障がいのある方への市民の理解は、前回よりも高くなった。

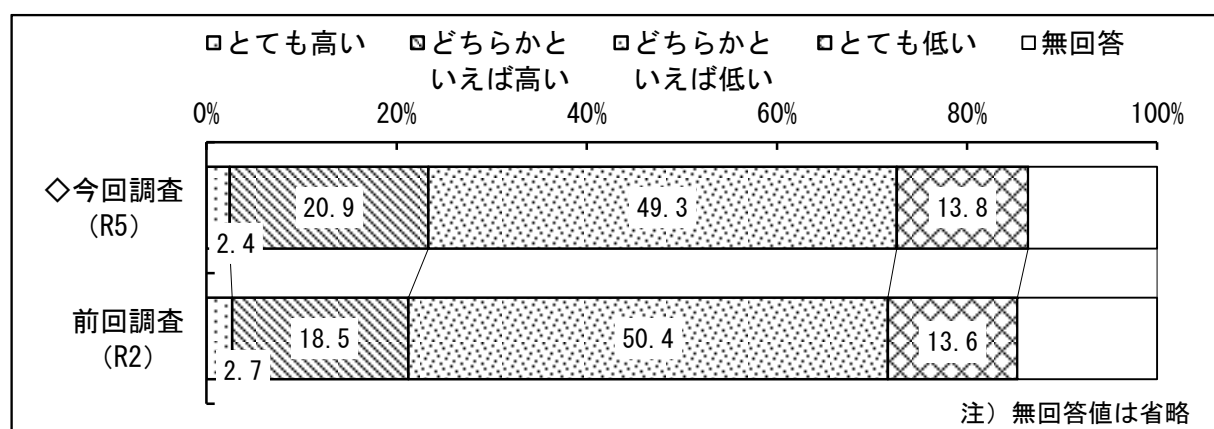
障がいのある方への市民の理解は、全体で「とても高い」が2.4%、「どちらかといえば高い」が20.9%で合わせると23.3%である。

経年比較をみると、「とても高い」と「どちらかといえば高い」を合わせると、前回調査と比べて2.1ポイント増加した。

図 障がいある方への市民の理解（問27）



#### 【経年比較】



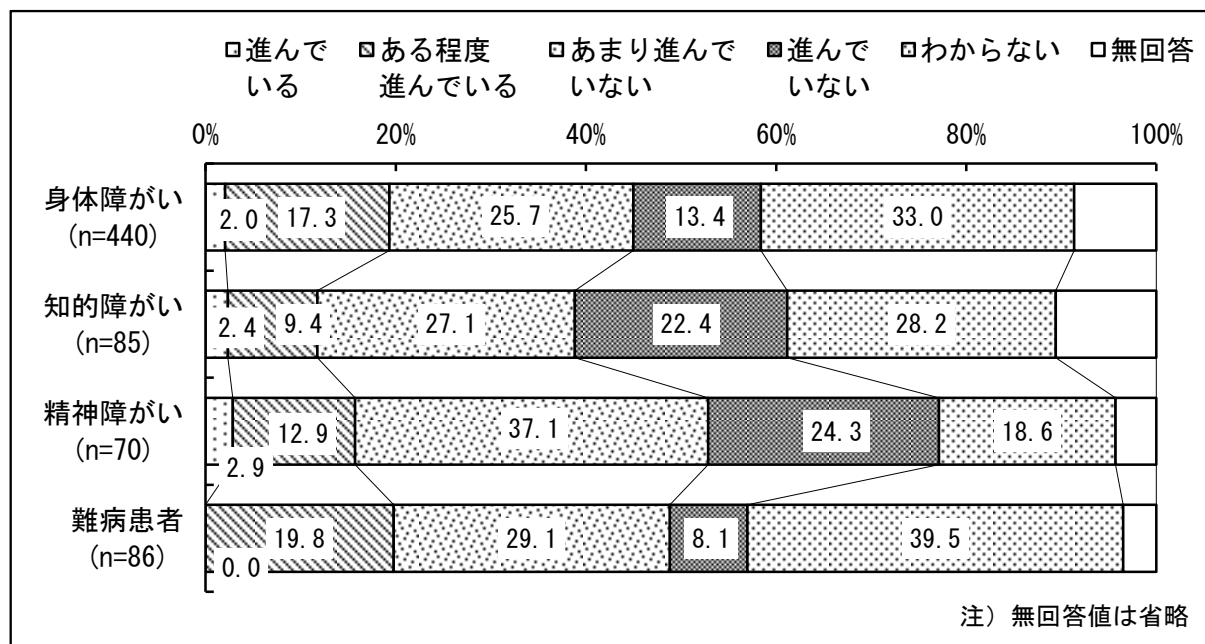
## 7-4 障がいのある方に対する地域づくり

“知的障がい”と“精神障がい”では、進んでいるとまでは言えない。

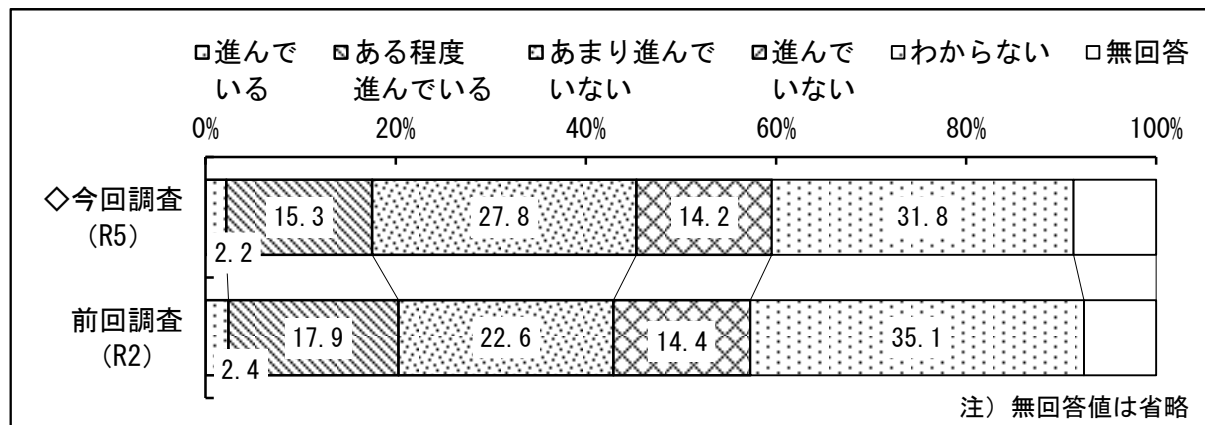
この数年で、障がいのある方に対する地域づくりをたずねたところ、全体で「進んでいる」が2.2%、「ある程度進んでいる」が15.3%で合わせると17.5%である。

特に“知的障がい”と“精神障がい”は「進んでいる」と「ある程度進んでいる」が他の障がいと比べて低い。

図 障がいある方に対する地域づくり（問28）



### 【経年比較】



## 7-5 現在の暮らしと将来の希望

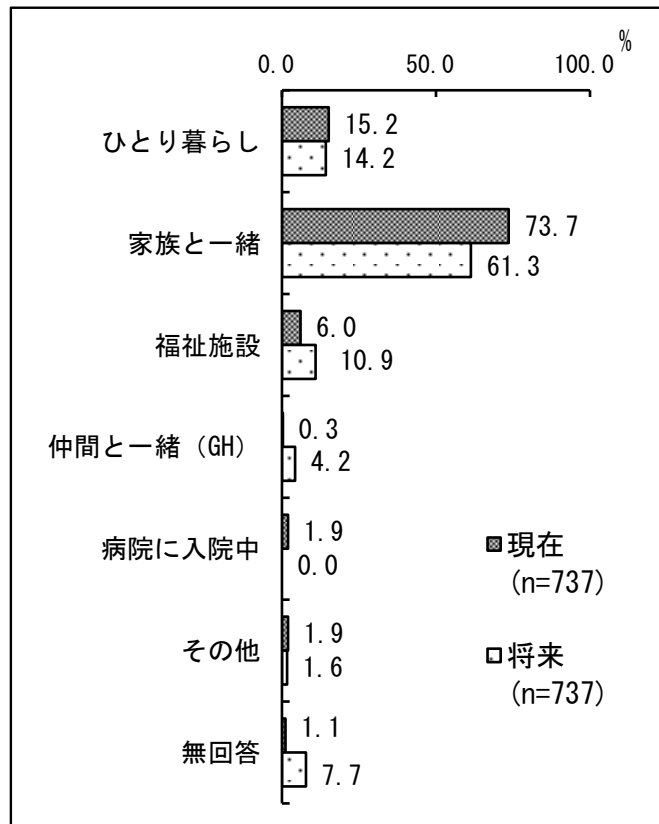
現在と将来とも「家族と一緒に」が高い。

現在の暮らしは、「家族と一緒に」が73.7%で最も高い。

将来の希望の暮らしも「家族と一緒に」が61.3%で最も高い。

現在の暮らしと将来の希望を比べると、現在よりも「福祉施設」と「仲間と一緒に(GH)」がやや高い。

図 7-5 現在の暮らしと将来の希望（問4、問29）



現在の暮らしと将来の希望を障がい種別でみると、将来は“知的障がい”と“精神障がい”ともに「ひとり暮らし」や「仲間と一緒に（グループホーム）」が高くなっている。

図 現在の暮らし（問4）

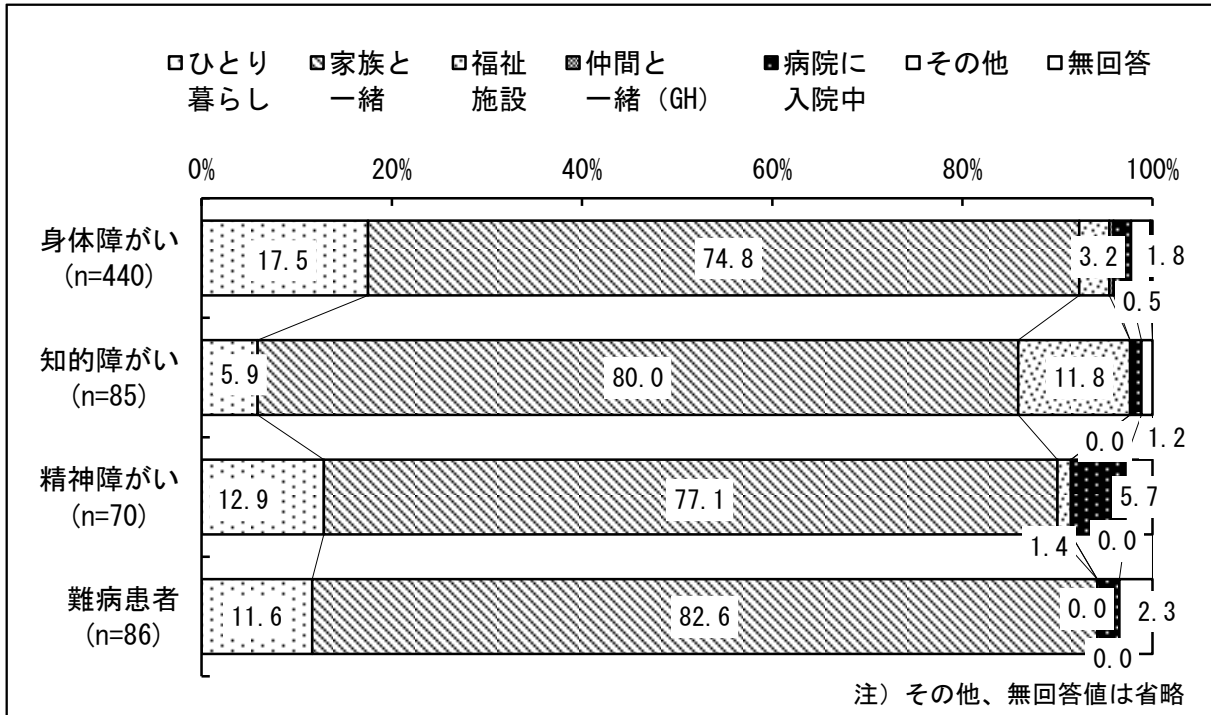
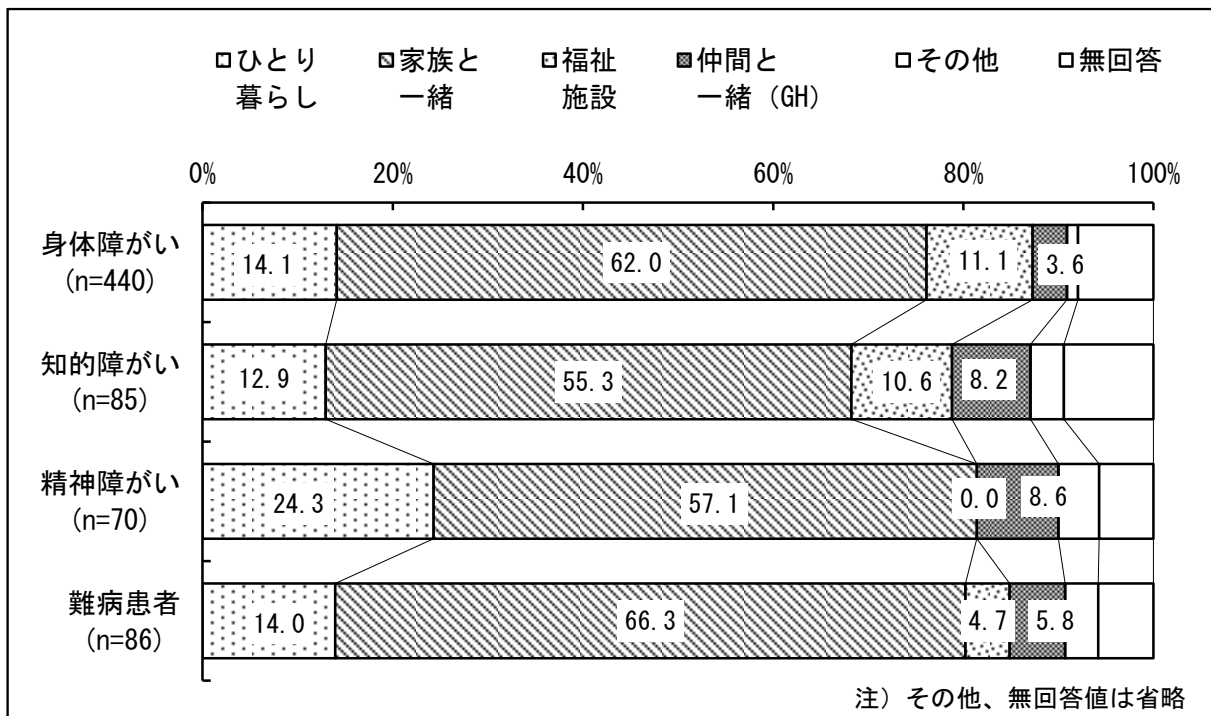


図 将来の希望（問29）

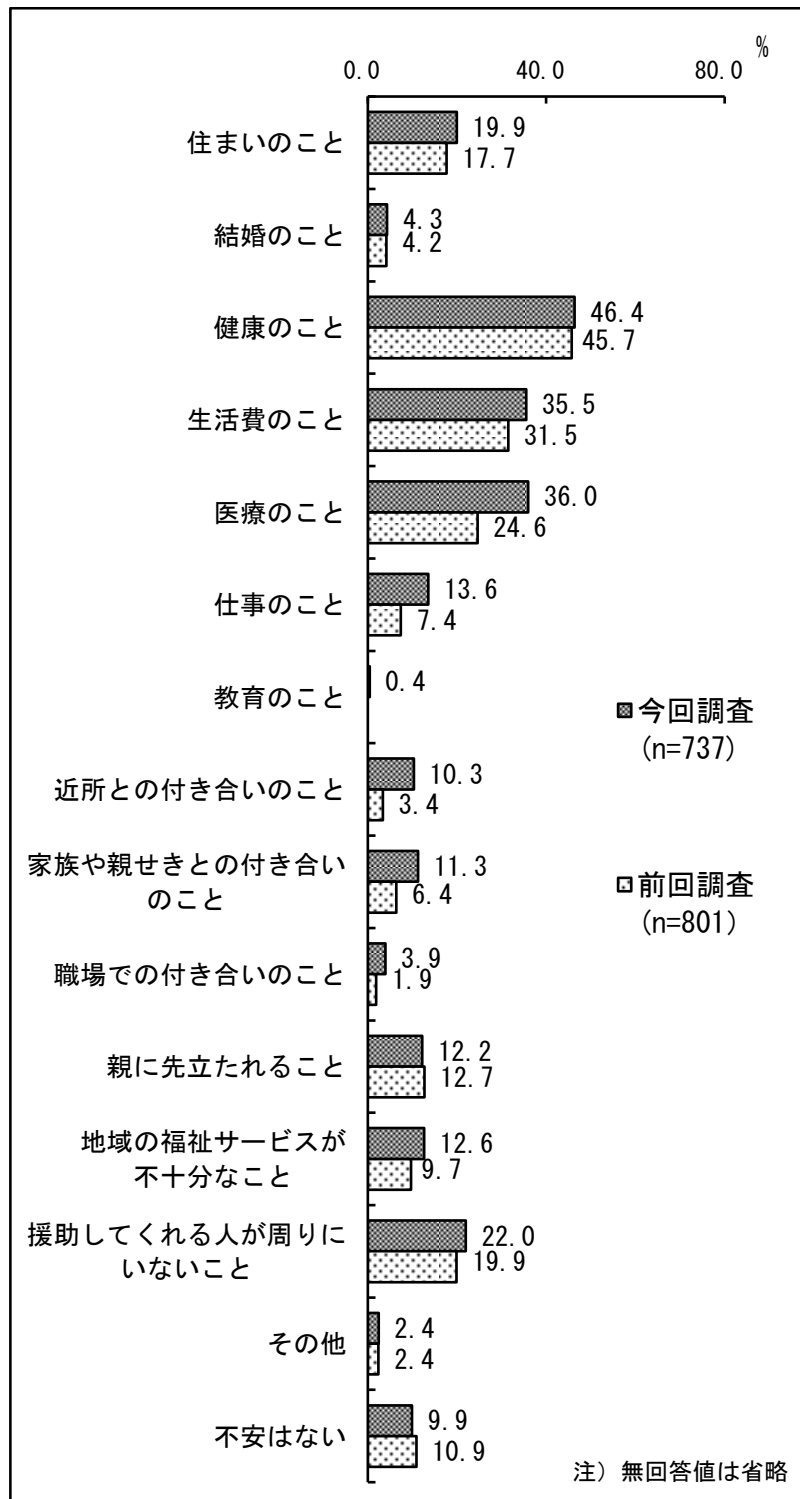


## 7-6 将来の生活の不安

前回と比べて「生活費のこと」「医療のこと」「仕事のこと」が増加した。

将来の生活の不安は、前回と比べると「生活費のこと」が4.0ポイント増加、「医療のこと」が11.4ポイント増加、「仕事のこと」が6.2ポイント増加と高くなっている。

図 将来の生活の不安（問30） 《複数回答》

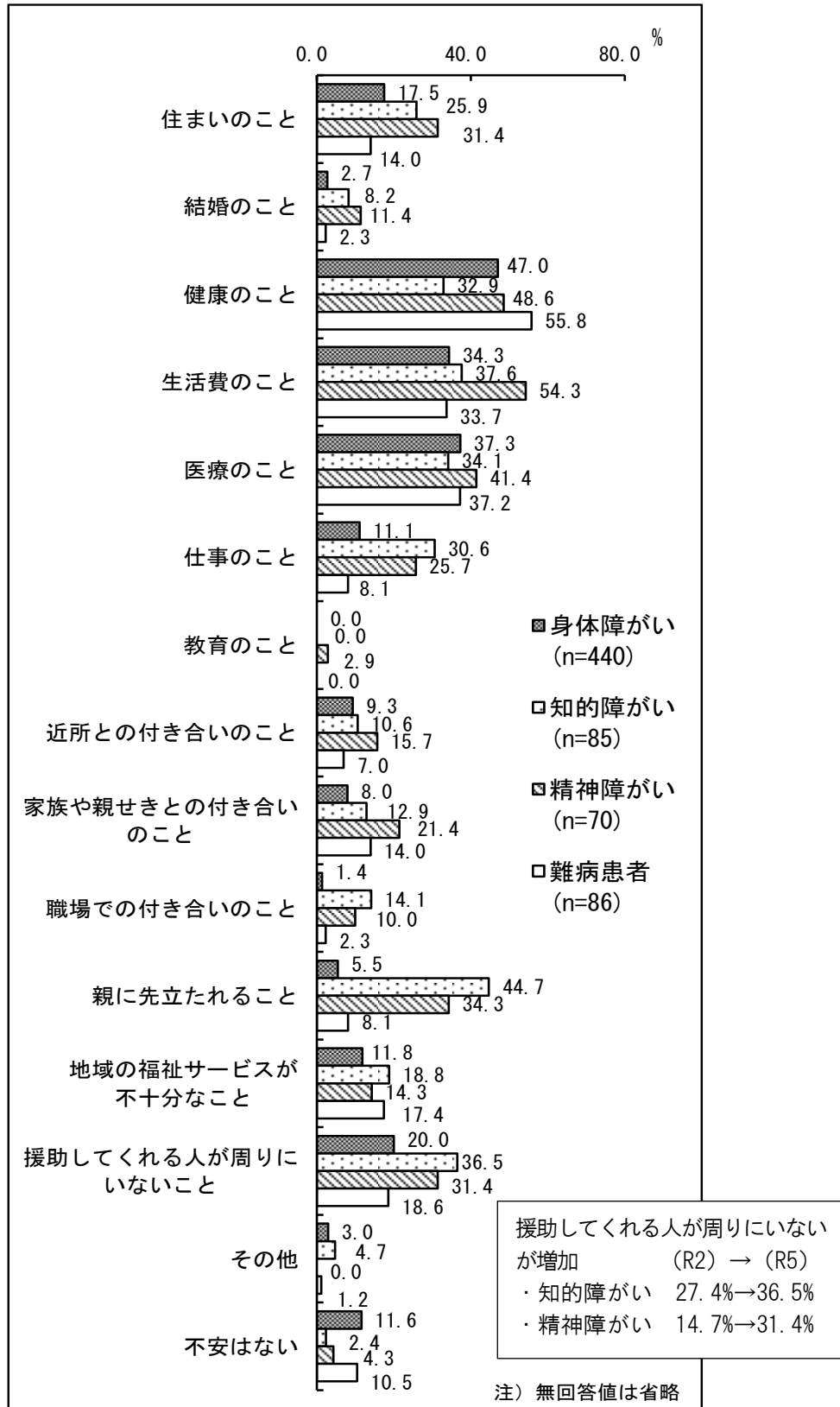


【障がい種別】

“知的障がい”は「親に先立たれること」、「精神障がい」は「生活費のこと」が高い。

将来の生活の不安は、“身体障がい”は「健康のこと」が47.0%で最も高い。“知的障がい”は「親に先立たれること」が44.7%で最も高い。“精神障がい”は「生活費のこと」が54.3%で最も高い。

図 将来の生活の不安（問30）【障がい種別】 《複数回答》



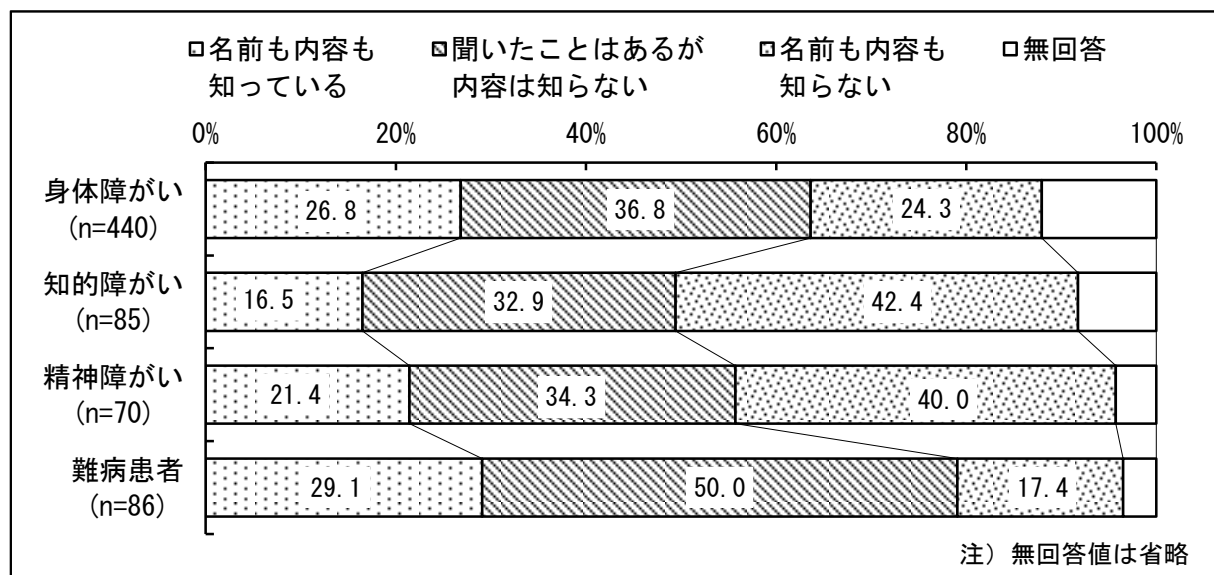
### 7-7 成年後見制度の理解と今後の利用意向

成年後見制度の理解は、少しずつ進んでいるが、大きな違いは見られない。

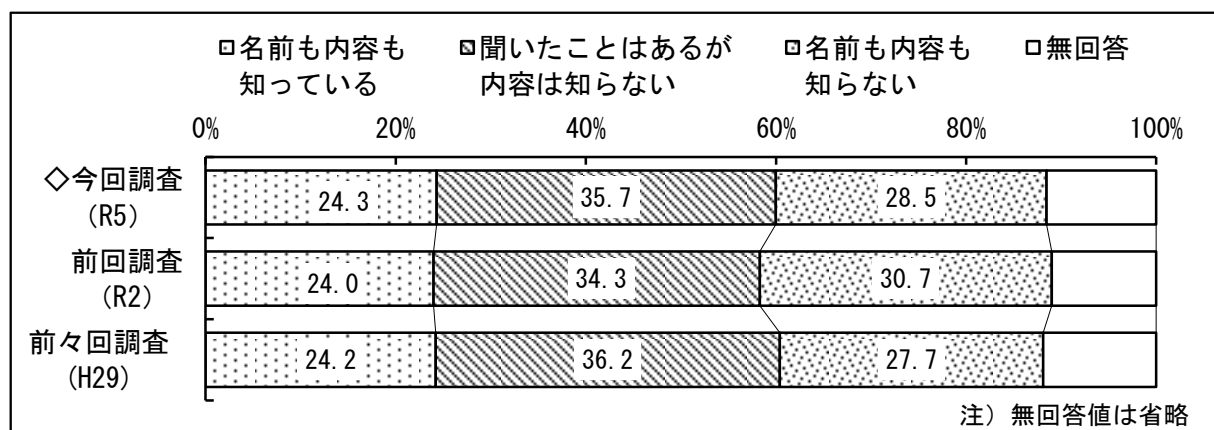
判断能力が十分でないかたの財産などの権利を守る成年後見制度の理解をみると“難病患者”は「名前も内容も知っている」が29.1%で他の障がいと比べて高い。

経年比較をみると、全体で「名前も内容も知っている」が24.3%で、前回調査と比べて大きな違いは見られない。

図 成年後見制度の理解（問31）



#### 【経年比較】



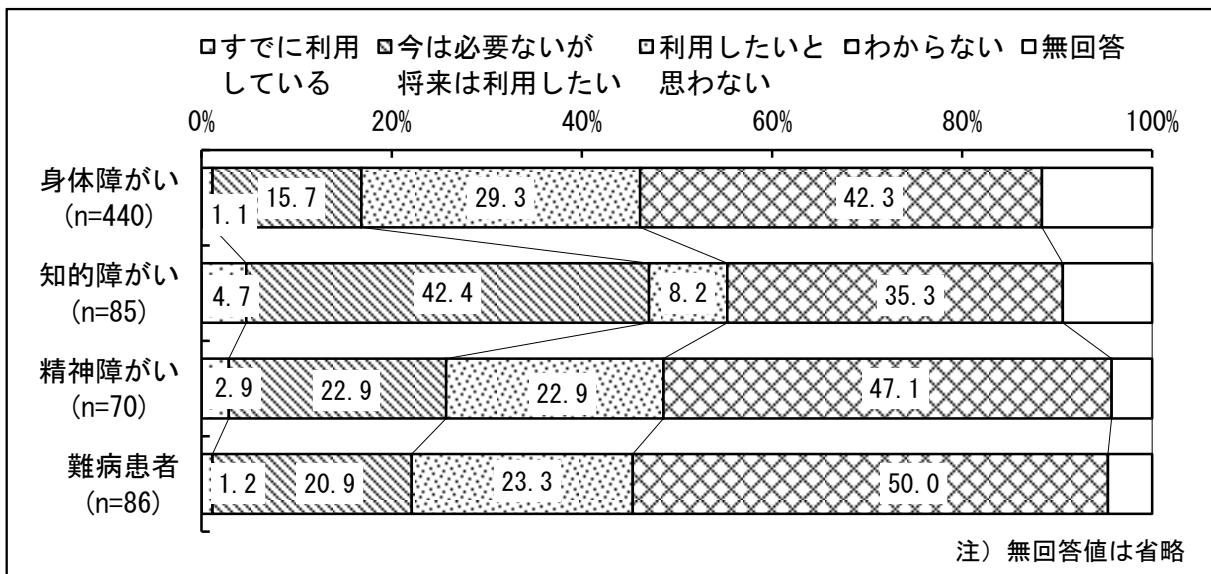
## (利用意向)

“知的障がい”は、家族の回答者も多く「今は必要ないが将来は利用したい」が高い。

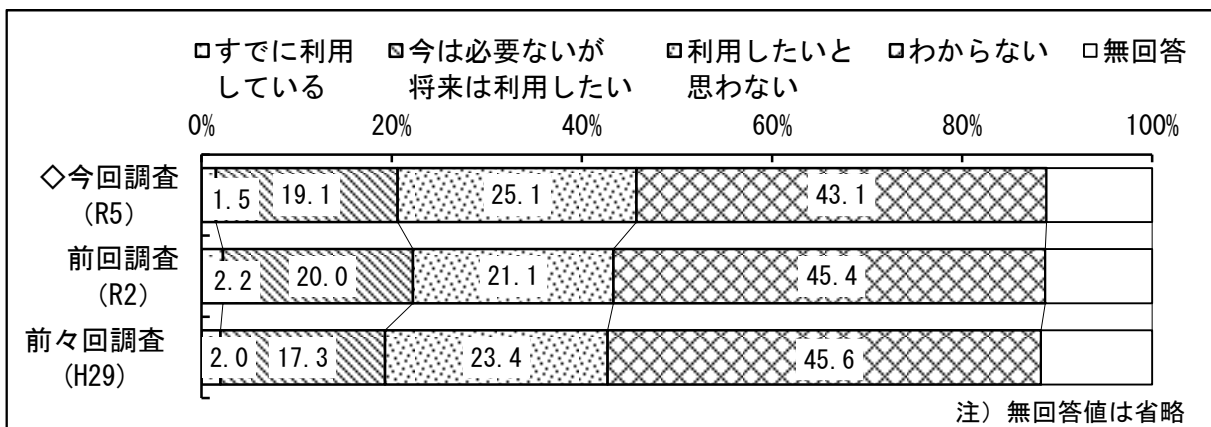
成年後見制度の利用意向については、各障がいとも「すでに利用している」との回答がある。また「利用したいと思わない」との回答が前回よりも若干増加している。

さらに“知的障がい”は家族や家族以外の介助者による回答が6割を占めており、「今は必要ないが将来は利用したい」が42.4%で特に高い。

図 成年後見制度の利用意向（問 32）



## 【経年比較】





第8節 潮来市の障がい福祉の取り組みについて

8-1 障がい福祉の取り組みの満足度

満足度は『ク.健康相談、健康診査』と『シ.相談窓口の使いやすさ』が高い。

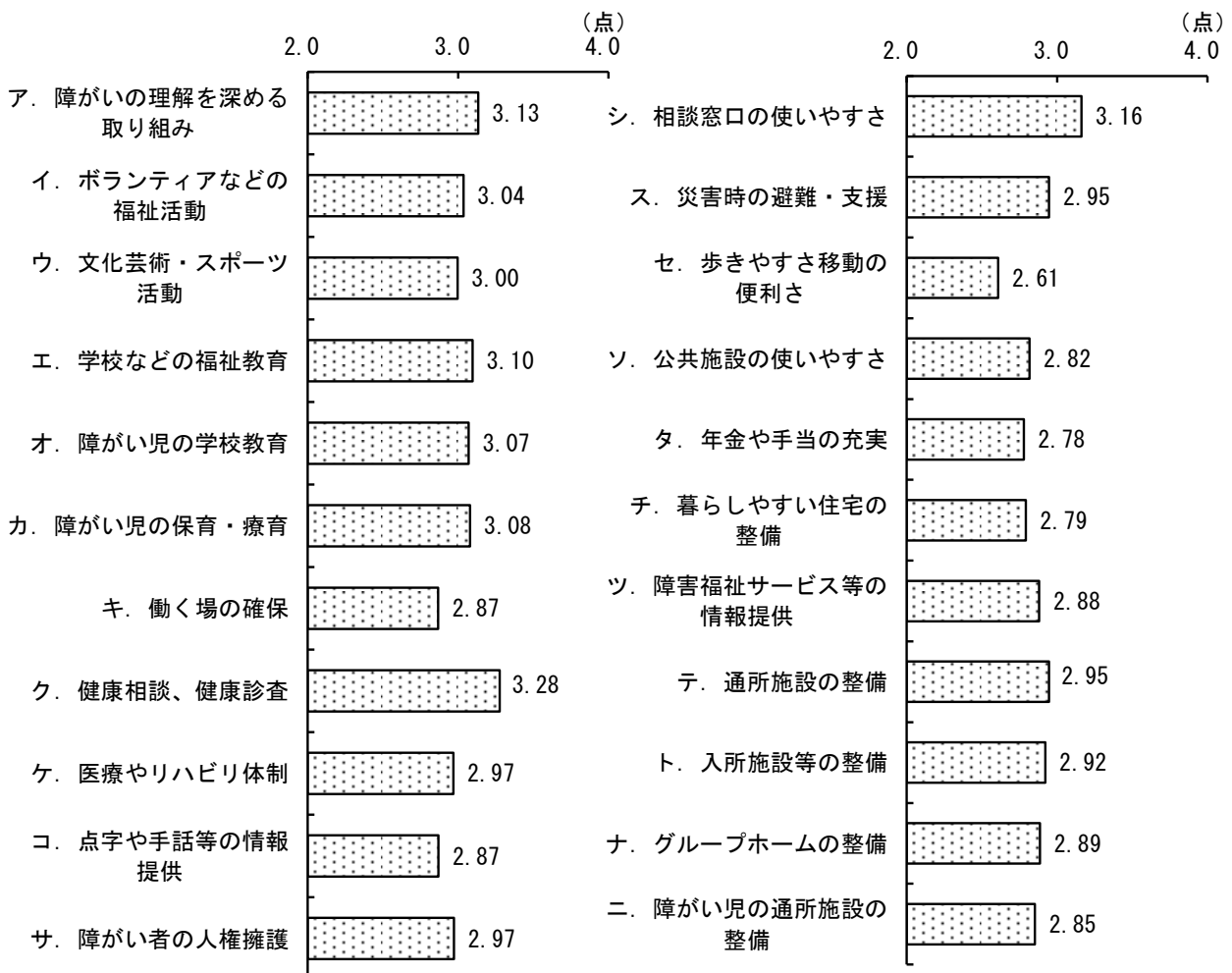
潮来市の障がい福祉への取り組みについて、各項目5点満点で加重平均値を用いて満足度（評価）を点数化した。

その結果、満足度は『ク.健康相談、健康診査』が3.28点、『シ.相談窓口の使いやすさ』3.16点で高い。

図 福祉施策の満足度（問33）

(1) ア～サの項目について

(2) シ～ニの項目について



＜今回（R5）：加重平均値の算出方法＞5段階評価

各設問に対し「評価する（重要）」から「評価しない（重要でない）」までの回答を加重平均値によって算出し点数化した。選択肢で「評価する」に+5点、「どちらかといえば評価する」に+4点、「どちらともいえない」に+3点、「どちらかといえば評価しない」に+2点、「評価しない」に+1点を便宜的に与え、回答構成から数値を求めるものである。

$$\text{点} = \frac{\text{「評価」} \times 5 + \text{「どちらかといえば評価する」} \times 4 + \text{「どちらとも」} \times 3 + \text{「どちらかといえば評価しない」} \times 2 + \text{「評価しない」} \times 1}{\text{回答者総数} - \text{「無回答」}}$$

(参考) 前回との比較「満足度」

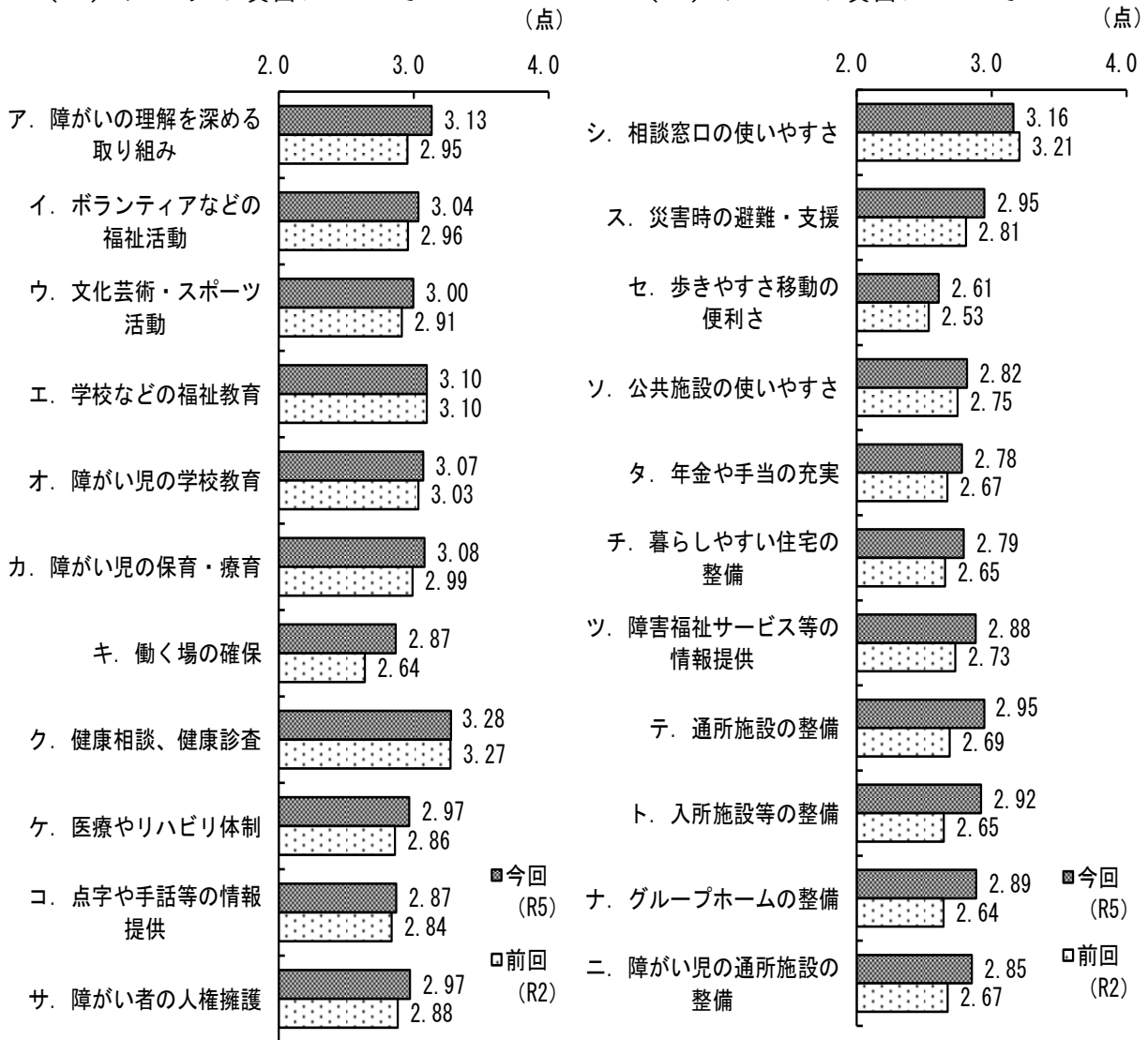
前回 (R2) の調査では、潮来市の障がい福祉への取り組みについて、満足度 (評価) を 4 段階で評価している。

今回 (R5) と同様の算出方法を用いて点数化して比較したところ、満足度は『キ. 働く場の確保』や『テ. 通所施設の整備』『ト. 入所施設等の整備』『ナ. グループホームの整備』といった項目で満足度が高くなった。

図 福祉施策の満足度 (問 33)

(1) ア～サの項目について

(2) シ～ニの項目について



<前回 (R2) : 加重平均値の算出方法> 4 段階評価

各設問に対し「満足している」から「不満である」までの回答を加重平均値によって算出し点数化した。選択肢で「満足している」に+5点、「まあ満足している」に+4点、「やや不満である」に+2点、「不満である」に+1点を便宜的に与え、回答構成から数値を求めた。

$$\text{点} = \frac{\text{「満足である」} \times 5 + \text{「まあ満足」} \times 4 + \text{「やや不満」} \times 2 + \text{「不満である」} \times 1}{\text{回答者総数} - \text{「無回答」}}$$

## 8-2 障がい福祉の取り組みの重要度

重要な取り組みは『タ. 年金や手当の充実』と『ス. 災害時の避難・支援』が高い。

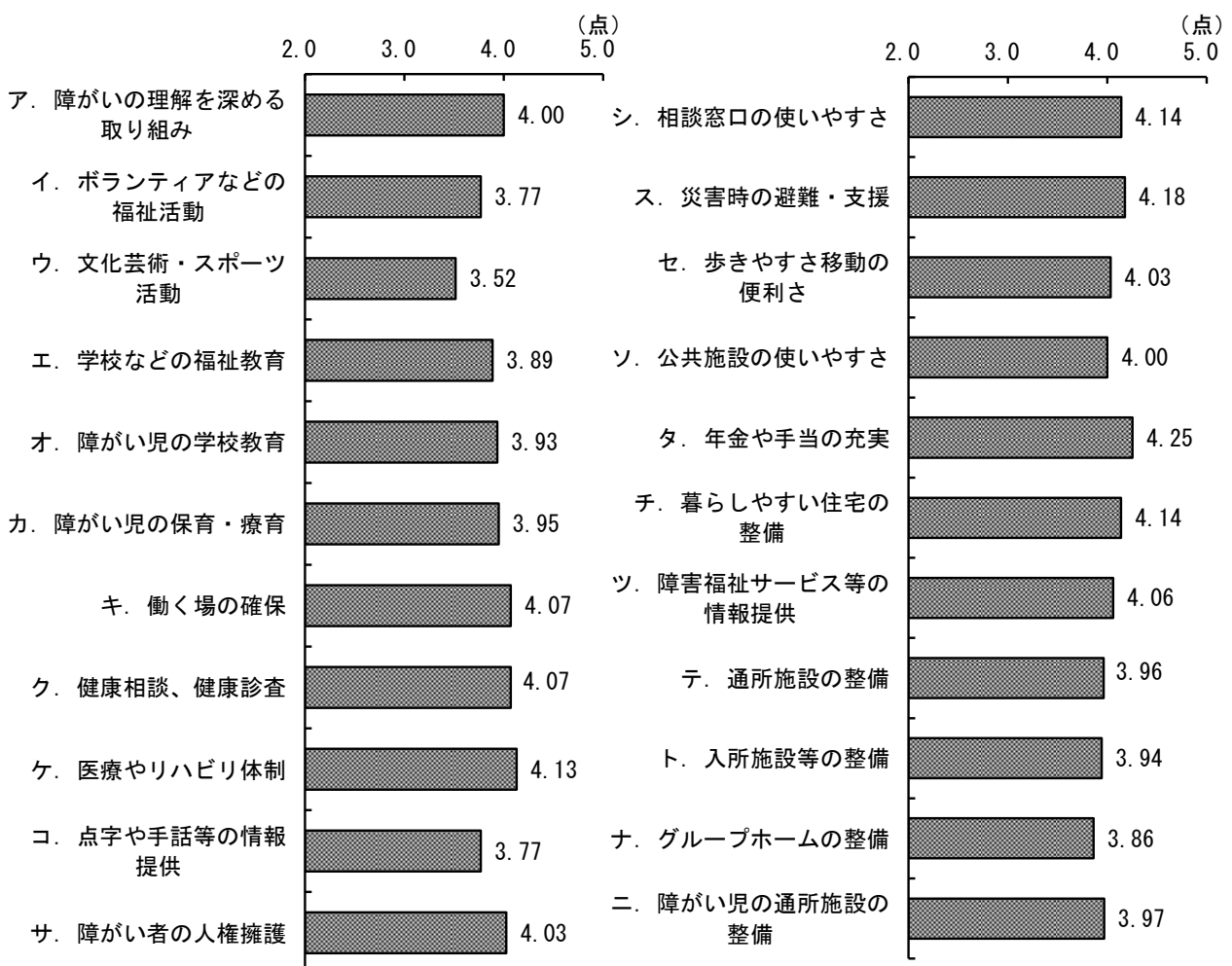
潮来市の障がい福祉への取り組みの重要度も満足度と同じく、各項目5点満点で加重平均値を用いて点数化した。

その結果、重要度は『タ. 年金や手当の充実』が4.25点、『ス. 災害時の避難・支援』が4.18点で比較的高いことから、日常生活の経済的支援や災害時の避難・支援が重要とわかる。

図 福祉施策の重要度（問34）

(1) ア～サの項目について

(2) シ～ニの項目について



(裏白)

---

# 資料編

---



# 1 アンケート集計表

## I あなたのことについて（封筒の宛名の方について）

問1 この調査の記入者はどなたですか。[1つに○] 回答者総数=737人

1. 本人（または、本人が答え 代筆者が記入）	520 ( 64.9)	3. 施設・病院職員（本人の 意向を考えて）	38 ( 4.7)
2. 家族（本人の意向を考えて）	204 ( 25.5)	4. その他の方（本人の意向を 考えて）	4 ( 0.5)
無回答			35 ( 4.4)

問2 あなたの性別は。[1つに○] 回答者総数=737人

1. 男性	374 ( 50.7)	3. その他	0 ( 0.0)
2. 女性	353 ( 47.9)	4. 無回答（調査票に選択肢有）	0 ( 0.0)
無回答			10 ( 1.4)

問3 あなたの年齢は。（令和5年7月1日現在） [1つに○] 回答者総数=737人

1. 0～6歳	11 ( 1.5)	5. 40～49歳	54 ( 7.3)
2. 7～18歳	20 ( 2.7)	6. 50～64歳	117 ( 15.9)
3. 19～29歳	39 ( 5.3)	7. 65～74歳	177 ( 24.0)
4. 30～39歳	45 ( 6.1)	8. 75歳以上	263 ( 35.7)
無回答			11 ( 1.5)

問4 現在、どのように（どこで）暮らしていますか。[1つに○] 回答者総数=737人

1. ひとり暮らし	112 ( 15.2)	4. 仲間と一緒に（グループホーム）	2 ( 0.3)
2. 家族と一緒に	543 ( 73.7)	5. 病院に入院中	14 ( 1.9)
3. 福祉施設（高齢者や障がい者施設）	44 ( 6.0)	6. その他（ ）	14 ( 1.9)
無回答			8 ( 1.1)

問5 主な障がいや難病（特定疾患）の治療に関して、最近6か月の医療機関の受診状況を教えてください。[1つに○] 回答者総数=737人

1. 入院・通院ともししていない	141 ( 19.1)	4. 入院と通院が半分以上	17 ( 2.3)
2. 主に通院している	520 ( 70.6)	5. 主に入院している	15 ( 2.0)
3. 主に往診してもらっている	15 ( 2.0)		
無回答			29 ( 3.9)

問6 あなたは、つぎのような手帳や受給者証をお持ちですか。[あてはまるものすべてに○]

回答者総数=737人

1. 身体障害者手帳	440 ( 59.7)	4. 指定難病特定医療費受給者証等	86 ( 11.7)
2. 療育手帳	85 ( 11.5)	5. 障害福祉サービス(児童)受給者証	26 ( 3.5)
3. 精神障害者保健福祉手帳	70 ( 9.5)		

無回答 104 ( 14.1)

▼身体障害者手帳所持者

◎身体障害者手帳の等級は。[1つに○]

回答者総数=440人

1. 1級	152 ( 34.5)	4. 4級	101 ( 23.0)
2. 2級	69 ( 15.7)	5. 5級	32 ( 7.3)
3. 3級	59 ( 13.4)	6. 6級	8 ( 1.8)

無回答 19 ( 4.3)

◎主な障がいの種類は。[1つに○]

回答者総数=440人

1. 目が不自由(視覚障害)	22 ( 5.0)
2. 耳が不自由(聴覚障害・平衡機能障害)	38 ( 8.6)
3. 言葉が不自由(音声・言語・そしゃく障害)	10 ( 2.3)
4. 手足が不自由(上肢、下肢障害・体幹機能障害・脳原性運動機能障害)	173 ( 39.3)
5. 心臓、腎臓、肝臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能に障がい(内部障害)	188 ( 42.7)

無回答 9 ( 2.0)

▼療育手帳所持者

◎療育手帳の等級は。[1つに○]

回答者総数=85人

1. <u>A</u> (マルA)	19 ( 22.4)	3. B	20 ( 23.5)
2. A	16 ( 18.8)	4. C	21 ( 24.7)

無回答 9 ( 10.6)

▼精神障害者手帳所持者

◎精神障害者保健福祉手帳の等級は。[1つに○]

回答者総数=70人

1. 1級	8 ( 11.4)	3. 3級	22 ( 31.4)
2. 2級	37 ( 52.9)		

無回答 3 ( 4.3)

問7 あなたは『高次脳機能障害』と診断されたことがありますか。[1つに○] 回答者総数=737人

1. ある	34 ( 4.6)	2. ない	673 ( 91.3)
-------	-----------	-------	-------------

無回答 30 ( 4.1)

問8 あなたは『強度行動障害』があると言われたことがありますか。[1つに○] 回答者総数=737人

1. ある	13 ( 1.8)	2. ない	693 ( 94.0)
-------	-----------	-------	-------------

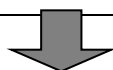
無回答 31 ( 4.2)



## Ⅱ 障害福祉サービスについて

問9 あなたは「障害福祉サービス」を、利用していますか。〔1つに○〕 回答者総数=737人

1. 利用している	152 ( 20.6)	2. 利用していない	528 ( 71.6)
		無回答	57 ( 7.7)



「1. 利用している」と回答いただいた方にうかがいます。

問9-1 利用している「障害福祉サービス」は、どちらですか。〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数=152人

1. 居宅介護（ホームヘルプ）、重度訪問介護、重度障害者等包括支援	21 ( 13.8)
2. 同行援護、行動援護、外出支援	11 ( 7.2)
3. 療養介護、生活介護、施設入所支援	33 ( 21.7)
4. 短期入所	10 ( 6.6)
5. 自立生活援助	9 ( 5.9)
6. 共同生活援助	2 ( 1.3)
7. 自立訓練（生活訓練、機能訓練）	17 ( 11.2)
8. 就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）、就労定着支援	36 ( 23.7)
9. 地域移行支援	0 ( 0.0)
10. 地域定着支援（ひとり暮らし等）	3 ( 2.0)
11. 放課後等デイサービス、日中一時支援	25 ( 16.4)
12. 児童発達支援	7 ( 4.6)
13. 計画相談支援、障害児相談支援	35 ( 23.0)
無回答	7 ( 4.6)

問9-2 現在、利用している「障害福祉サービス」には満足していますか。〔1つに○〕

回答者総数=152人

1. 満足している	103 ( 67.8)	2. 満足していない	27 ( 17.8)
		無回答	22 ( 14.5)

▼問9で「2. 利用していない」と回答いただいた方にうかがいます。

問9-3 サービスを「利用していない」主な理由は。〔1つに○〕

回答者総数=528人

1. サービスを利用する必要がない	337 ( 63.8)	3. 利用する方法がわからない	57 ( 10.8)
2. 自分にあったサービスがない	45 ( 8.5)	4. その他	41 ( 7.8)
		無回答	48 ( 9.1)

すべての方にうかがいます

問10 現在、「障害福祉サービス」を利用している、利用していないに関わらず、今後（今後も）、利用したいサービスはどちらですか。〔あてはまるものすべてに○〕 回答者総数=737人

1. 居宅介護（ホームヘルプ）、重度訪問介護、重度障害者等包括支援	154	( 20.9)
2. 同行援護、行動援護、外出支援	138	( 18.7)
3. 療養介護、生活介護、施設入所支援	157	( 21.3)
4. 短期入所	102	( 13.8)
5. 自立生活援助	116	( 15.7)
6. 共同生活援助	30	( 4.1)
7. 自立訓練（生活訓練、機能訓練）	78	( 10.6)
8. 就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）、就労定着支援	73	( 9.9)
9. 地域移行支援	24	( 3.3)
10. 地域定着支援（ひとり暮らし等）	94	( 12.8)
11. 放課後等デイサービス、日中一時支援	42	( 5.7)
12. 児童発達支援	9	( 1.2)
13. 計画相談支援、障害児相談支援	63	( 8.5)
無回答	231	( 31.3)

### Ⅲ 教育や就労、社会参加について

問11 あなたは、平日の昼間、主にどのように過ごしていますか。〔1つに○〕 回答者総数=737人

＜児童・生徒＞		
1. 認定こども園、障害児通園施設、学校などに通っている	} → 問13へ	34 ( 4.6)
2. どこにも通っていない		4 ( 0.5)
＜働いている人＞		
3. 一般の企業等で働いている（自営も含む）	} → 問14-1、-2へ	125 ( 17.0)
4. 就労の訓練を受けながら働いている		39 ( 5.3)
＜上記に該当しない人＞		
5. 自宅で過ごしている	} → 問12へ	359 ( 48.7)
6. デイケア、リハビリに通っている		37 ( 5.0)
7. 施設に入所している		42 ( 5.7)
8. 病院に入院している		13 ( 1.8)
9. その他		17 ( 2.3)
無回答		67 ( 9.1)

▼問11で<上記に該当しない人>と回答いただいた方にかがいます

問12 平日の昼間、どのように過ごしたいと思えますか。〔1つに○〕

回答者総数=468人

1. 学校などに通いたい	3 ( 0.6)	4. 自宅等で今の生活を続けたい	272 ( 58.1)
2. 一般の企業等で働きたい	10 ( 2.1)	5. とくにない	86 ( 18.4)
3. 就労の訓練を受けながら働きたい	19 ( 4.1)	6. その他	14 ( 3.0)

無回答 64 ( 13.7)

▼問11で<児童・生徒>と回答いただいた方にかがいます

問13 保育や教育について、どのようなことを望みますか。〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数=38人

1. とくにない(だいたい満足)	4 ( 10.5)
2. 通学、通園時の利便性の向上	8 ( 21.1)
3. 園や学校の障がい特性に応じた設備の配慮	14 ( 36.8)
4. 障がいのない児童生徒とふれあう機会の充実	8 ( 21.1)
5. 先生や保護者の障がいや病気に対する理解	22 ( 57.9)
6. 周りの子どもたちの障がいや病気に対する理解	15 ( 39.5)
7. 地域の仲間づくりや居場所の整備	11 ( 28.9)
8. 放課後や長期休暇中に利用できるサービスの充実	11 ( 28.9)
9. 卒業後の情報や進路指導の充実	8 ( 21.1)
10. 保育士や教職員の専門性の向上	7 ( 18.4)
11. その他	0 ( 0.0)

無回答 4 ( 10.5)

▼問11で<働いている人>と回答いただいた方にかがいます

問14-1 今後、収入を得る仕事について、どのように思えますか。〔1つに○〕

回答者総数=164人

1. 仕事はしたい、続けたい	145 ( 88.4)	3. 仕事はできない	3 ( 1.8)
2. 仕事はしたくない、	8 ( 4.9)		

無回答 8 ( 4.9)

問14-2 障がいのある人が働きやすい環境をつくるには、なにが必要と思えますか。

〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数=164人

1. 通勤手段の確保	58 ( 35.4)	7. 就労後のフォローなど職場と	49 ( 29.9)
2. バリアフリー等の職場内の配慮	35 ( 21.3)	支援機関の連携	67 ( 40.9)
3. 短時間勤務や勤務日数など	55 ( 33.5)	8. 障がいの程度にあった職種の増加	48 ( 29.3)
4. 在宅勤務の拡充	23 ( 14.0)	9. 職場内での相談対応や支援	4 ( 2.4)
5. 企業の障がい者雇用に対する理解	82 ( 50.0)	10. その他	18 ( 11.0)
6. 障がいに対する上司や同僚の理解	88 ( 53.7)	11. わからない	49 ( 29.9)

無回答 14 ( 8.5)

## すべての方にうかがいます

### IV 外出や社会参加について

問15 あなたは、日常生活において、ひとりで外出できますか。〔1つに○〕 回答者総数=737人

- |                 |             |                   |           |
|-----------------|-------------|-------------------|-----------|
| 1. ひとりで外出できる    | 421 ( 57.1) | 3. 付添いがあっても外出は難しい | 38 ( 5.2) |
| 2. 付添いがあれば外出できる | 246 ( 33.4) |                   |           |

無回答 32 ( 4.3)

問16 通勤・通学、通所、レジャーなどで、どのくらい外出しますか。〔1つに○〕

回答者総数=737人

- |              |             |                    |             |
|--------------|-------------|--------------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日    | 248 ( 33.6) | 3. 月に数日くらい         | 161 ( 21.8) |
| 2. 週に2～3日くらい | 159 ( 21.6) | 4. ほとんどしない(外出できない) | 115 ( 15.6) |

無回答 54 ( 7.3)

問17 あなたは、今よりも外出する機会を増やしたいと思いますか。〔1つに○〕 回答者総数=737人

- |             |             |             |           |
|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 1. もっと増やしたい | 136 ( 18.5) | 3. もっと減らしたい | 14 ( 1.9) |
| 2. 今のままでよい  | 525 ( 71.2) |             |           |

無回答 62 ( 8.4)

問18 あなたは、楽しみや生きがいを持って生活していると思いますか。〔1つに○〕

回答者総数=737人

- |                 |             |                   |             |
|-----------------|-------------|-------------------|-------------|
| 1. そう思う         | 198 ( 26.9) | 3. どちらかといえばそう思わない | 135 ( 18.3) |
| 2. どちらかといえばそう思う | 245 ( 33.2) | 4. そう思わない         | 103 ( 14.0) |

無回答 56 ( 7.6)

問19 あなたは、文化芸術活動やスポーツ活動などに参加していますか。〔1つに○〕

回答者総数=737人

- |                |            |            |             |
|----------------|------------|------------|-------------|
| 1. 参加している      | 96 ( 13.0) | 3. 参加していない | 506 ( 68.7) |
| 2. 参加したいが、できない | 84 ( 11.4) |            |             |

無回答 51 ( 6.9)

問20 障がいのある方が地域や社会に積極的に参加していくために、どのようなことが大切だと思いますか。〔5つまで○〕

回答者総数=737人

1. 文化芸術・スポーツ活動の充実	120	( 16.3)
2. 利用しやすい施設の改善	338	( 45.9)
3. コミュニケーションの手段（手話や点字など）の確保	71	( 9.6)
4. 移動のためのサポート（福祉車両や介助者）の確保	266	( 36.1)
5. 交通機関の利便性の向上	270	( 36.6)
6. 障がいに対する理解を深める広報や福祉教育の充実	201	( 27.3)
7. 参加を補助するボランティアなどの育成	156	( 21.2)
8. 家族の積極的な参加	68	( 9.2)
9. 障害者自身の積極的な参加	163	( 22.1)
10. その他	14	( 1.9)
11. とくにない	101	( 13.7)
無回答	82	( 11.1)

## V 相談・情報提供について

問21 あなたは、相談ごとがあったとき、まず、どこに相談していますか。

〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数=737人

1. 家族や親せき	546	( 74.1)	8. かかりつけの医師や看護師	232	( 31.5)
2. 友人・知人	210	( 28.5)	9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	61	( 8.3)
3. 近所の人	38	( 5.2)	10. 民生委員・児童委員	25	( 3.4)
4. 職場の上司や同僚	43	( 5.8)	11. 通園施設、認定こども園、学校の先生	15	( 2.0)
5. 施設の指導員など	67	( 9.1)	12. 相談支援事業所などの民間の相談窓口	19	( 2.6)
6. ホームヘルパーなどサービス事業所の人	46	( 6.2)	13. 市役所の相談窓口	98	( 13.3)
7. 障がい者団体や家族会	8	( 1.1)	14. その他	19	( 2.6)
無回答	41	( 5.6)			

問22 福祉サービスや日ごろの生活について、必要な情報を集めたり、相談したりするときに困ることがありますか。〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数=737人

1. どこに相談すればよいかわからない	199	( 27.0)
2. 近所に相談するところがない	54	( 7.3)
3. しっかりと相談にのってもらえるのか不安	166	( 22.5)
4. 障がいや病気に対応した相談体制や情報がない	116	( 15.7)
5. 相談先で、周りの人にまで相談内容が聞こえてしまう	66	( 9.0)
6. とくにない	298	( 40.4)
無回答	96	( 13.0)

## Ⅵ 災害対策について

問23 あなたは、火事や地震などの災害時に一人で避難できますか。〔1つに○〕

回答者総数=737人

1. 一人で避難できる	330 ( 44.8)	3. 一人で避難できず、助けてくれる人もいない	44 ( 6.0)
2. 一人で避難できないが、助けてくれる人がいる	297 ( 40.3)	4. その他	30 ( 4.1)
無回答		36 ( 4.9)	

問24 あなたは、災害時に心配に思うことがありますか。〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数=737人

1. 投薬や治療が受けられない	335 ( 45.5)
2. 水や食料の援助が受けられない	217 ( 29.4)
3. 補装具の使用が困難になる	57 ( 7.7)
4. 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	71 ( 9.6)
5. 救助を求めることができない	85 ( 11.5)
6. 安全なところまで、迅速に避難することができない	223 ( 30.3)
7. 被害状況、避難場所などの情報が入手できない	119 ( 16.1)
8. 周囲とコミュニケーションがとれない	121 ( 16.4)
9. 避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	300 ( 40.7)
10. とくにない	124 ( 16.8)
11. その他	21 ( 2.8)
無回答	57 ( 7.7)

## Ⅶ 障がいのある方が安心して暮らせる地域づくりについて

問25 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。〔1つに○〕

回答者総数=737人

1. ある（あった）	203 （ 27.5）	2. とくにない	467 （ 63.4）
無回答			67 （ 9.1）

問25-1 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数=203人

1. 学校・仕事場	89 （ 43.8）	4. 余暇を楽しむとき	36 （ 17.7）
2. 仕事を探すとき	38 （ 18.7）	5. 病院などの医療機関	44 （ 21.7）
3. 外出先	87 （ 42.9）	6. 住んでいる地域	46 （ 22.7）
無回答			3 （ 1.5）

問26 障害者差別解消法は、障がいのある人への「不当な差別的取扱い」を禁止し、障がいのある人が困らないように役所や会社・お店などに「合理的配慮の提供」を求めています。あなたは、この法律を知っていますか。〔1つに○〕

回答者総数=737人

1. だいたい内容は知っている	84 （ 11.4）	3. 知らなかった	424 （ 57.5）
2. 聞いたことはある	150 （ 20.4）		
無回答			79 （ 10.7）

問27 潮来市民の障がいにある方に対する理解度はどのくらいだと思いますか。〔1つに○〕

回答者総数=737人

1. とても高い	18 （ 2.4）	3. どちらかといえば低い	363 （ 49.3）
2. どちらかといえば高い	154 （ 20.9）	4. とても低い	102 （ 13.8）
無回答			100 （ 13.6）

問28 この数年で、障がいのある方に対する市民の理解や、地域ぐるみで助け合って暮らしていける地域づくりは進んでいると思いますか。〔1つに○〕

回答者総数=737人

1. 進んでいる	16 （ 2.2）	3. あまり進んでいない	205 （ 27.8）
2. ある程度進んでいる	113 （ 15.3）	4. 進んでいない	105 （ 14.2）
		5. わからない	234 （ 31.8）
無回答			64 （ 8.7）

問29 あなたは、将来、どのように（どこで）暮らしたいですか。〔1つに○〕

回答者総数=737人

1. ひとり暮らしをしたい	105 （ 14.2）	4. 仲間と一緒に（グループホーム）に暮らしたい	31 （ 4.2）
2. 家族と一緒に暮らしたい	452 （ 61.3）	5. その他	12 （ 1.6）
3. 福祉施設（高齢者や障がい者施設）で暮らしたい	80 （ 10.9）		
無回答			57 （ 7.7）

問30 あなたの将来を考えたとき、とくに不安に思うことがありますか。

〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数=737人

1. 住まいのこと	147 ( 19.9)	10. 職場での付き合いのこと	29 ( 3.9)
2. 結婚のこと	32 ( 4.3)	11. 親に先立たれること	90 ( 12.2)
3. 健康のこと	342 ( 46.4)	12. この地域で生活を続けていくための 福祉サービスが不十分なこと	93 ( 12.6)
4. 生活費のこと	262 ( 35.5)	13. 身のまわりの援助をしてくれる人が いるかどうかわからないこと	162 ( 22.0)
5. 医療のこと	265 ( 36.0)	14. その他	18 ( 2.4)
6. 仕事のこと	100 ( 13.6)	15. 不安はない	73 ( 9.9)
7. 教育のこと	3 ( 0.4)		
8. 近所との付き合いのこと	76 ( 10.3)		
9. 家族や親せきとの付き合いのこと	83 ( 11.3)		
		無回答	68 ( 9.2)

問31 知的障がいや精神障がいなどの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る「成年後見制度」があります。あなたは、この制度をご存知ですか。〔1つに○〕

回答者総数=737人

1. 名前も内容も知っている	179 ( 24.3)
2. 名前は聞いたことがあるが内容は知らない	263 ( 35.7)
3. 名前も内容も知らない	210 ( 28.5)
無回答	85 ( 11.5)

問32 あなたは、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。〔1つに○〕

回答者総数=737人

1. すでに利用している	11 ( 1.5)
2. 今は必要ないが、将来は利用したい	141 ( 19.1)
3. 利用したいと思わない	185 ( 25.1)
4. わからない	318 ( 43.1)
無回答	82 ( 11.1)



## 潮来市の障がい福祉の取り組みについて

問33 潮来市の障がい福祉への取り組みについて、あなたはどのように評価しますか。

(項目ごと1つずつ○)

回答者総数=737人

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらともいえない	どちらかといえば評価しない	評価しない	無回答
ア. 障がいに対するまち全体の理解を深める取り組み	38 ( 5.2)	150 ( 20.4)	292 ( 39.6)	58 ( 7.9)	45 ( 6.1)	154 ( 20.9)
イ. ボランティアなどの福祉活動	30 ( 4.1)	107 ( 14.5)	331 ( 44.9)	51 ( 6.9)	48 ( 6.5)	170 ( 23.1)
ウ. 文化芸術活動、スポーツ活動	25 ( 3.4)	115 ( 15.6)	302 ( 41.0)	57 ( 7.7)	55 ( 7.5)	183 ( 24.8)
エ. 学校などでの福祉教育	29 ( 3.9)	106 ( 14.4)	315 ( 42.7)	47 ( 6.4)	33 ( 4.5)	207 ( 28.1)
オ. 障がい児への学校教育	23 ( 3.1)	104 ( 14.1)	326 ( 44.2)	41 ( 5.6)	36 ( 4.9)	207 ( 28.1)
カ. 障がい児への保育・療育	24 ( 3.3)	109 ( 14.8)	317 ( 43.0)	43 ( 5.8)	36 ( 4.9)	208 ( 28.2)
キ. 働く場の確保(就業・雇用対策)	18 ( 2.4)	84 ( 11.4)	297 ( 40.3)	79 ( 10.7)	56 ( 7.6)	203 ( 27.5)
ク. 健康相談、健康診査など	49 ( 6.6)	158 ( 21.4)	273 ( 37.0)	43 ( 5.8)	30 ( 4.1)	184 ( 25.0)
ケ. 医療やリハビリの体制	28 ( 3.8)	115 ( 15.6)	287 ( 38.9)	67 ( 9.1)	61 ( 8.3)	179 ( 24.3)
コ. 点字や手話、字幕放送などによる情報提供	16 ( 2.2)	69 ( 9.4)	337 ( 45.7)	61 ( 8.3)	55 ( 7.5)	199 ( 27.0)
サ. 障がい者の人権擁護	23 ( 3.1)	103 ( 14.0)	314 ( 42.6)	60 ( 8.1)	52 ( 7.1)	185 ( 25.1)

(つぎのページに続きます。)

(続き)

	評価する	どちらかといえば 評価する	どちらともいえない	どちらかといえば 評価しない	評価しない	無回答
シ. 相談窓口の使いやすさ	49 ( 6.6)	135 ( 18.3)	280 ( 38.0)	65 ( 8.8)	38 ( 5.2)	170 ( 23.1)
ス. 災害時や緊急時の避難・支援	22 ( 3.0)	99 ( 13.4)	319 ( 43.3)	67 ( 9.1)	53 ( 7.2)	177 ( 24.0)
セ. まちなかの歩きやすさ、移動の便利さ	14 ( 1.9)	72 ( 9.8)	251 ( 34.1)	130 ( 17.6)	95 ( 12.9)	175 ( 23.7)
ソ. 公共施設の使いやすさ	14 ( 1.9)	102 ( 13.8)	282 ( 38.3)	86 ( 11.7)	73 ( 9.9)	180 ( 24.4)
タ. 生活の安定のための年金や手当の充実	27 ( 3.7)	97 ( 13.2)	257 ( 34.9)	105 ( 14.2)	86 ( 11.7)	165 ( 22.4)
チ. 障がいがあっても暮らしやすい住宅の整備	18 ( 2.4)	68 ( 9.2)	314 ( 42.6)	91 ( 12.3)	64 ( 8.7)	182 ( 24.7)
ツ. 障がい者福祉のサービスや制度の情報提供	25 ( 3.4)	84 ( 11.4)	306 ( 41.5)	80 ( 10.9)	60 ( 8.1)	182 ( 24.7)
テ. 通所施設の整備	16 ( 2.2)	104 ( 14.1)	316 ( 42.9)	51 ( 6.9)	57 ( 7.7)	193 ( 26.2)
ト. 入所施設や短期入所施設の整備	15 ( 2.0)	86 ( 11.7)	336 ( 45.6)	46 ( 6.2)	56 ( 7.6)	198 ( 26.9)
ナ. グループホームの整備	12 ( 1.6)	80 ( 10.9)	331 ( 44.9)	63 ( 8.5)	51 ( 6.9)	200 ( 27.1)
ニ. 障がい児の通所（あずかり）施設の整備	14 ( 1.9)	65 ( 8.8)	340 ( 46.1)	53 ( 7.2)	59 ( 8.0)	206 ( 28.0)

問34 潮来市の障がい福祉への取り組みについて、今後、力を入れるべき施策は何ですか。

(項目ごと1つずつ○)

回答者総数=737人

	評価する	評価する どちらかといえば	どちらともいえない	評価しない どちらかといえば	評価しない	無回答
ア. 障がいに対するまち全体の理解を深める取り組み	177 ( 24.0)	230 ( 31.2)	139 ( 18.9)	6 ( 0.8)	9 ( 1.2)	176 ( 23.9)
イ. ボランティアなどの福祉活動	104 ( 14.1)	244 ( 33.1)	188 ( 25.5)	9 ( 1.2)	9 ( 1.2)	183 ( 24.8)
ウ. 文化芸術活動、スポーツ活動	61 ( 8.3)	204 ( 27.7)	245 ( 33.2)	15 ( 2.0)	16 ( 2.2)	196 ( 26.6)
エ. 学校などでの福祉教育	133 ( 18.0)	230 ( 31.2)	163 ( 22.1)	5 ( 0.7)	7 ( 0.9)	199 ( 27.0)
オ. 障がい児への学校教育	152 ( 20.6)	223 ( 30.3)	149 ( 20.2)	6 ( 0.8)	9 ( 1.2)	198 ( 26.9)
カ. 障がい児への保育・療育	159 ( 21.6)	218 ( 29.6)	142 ( 19.3)	9 ( 1.2)	9 ( 1.2)	200 ( 27.1)
キ. 働く場の確保(就業・雇用対策)	202 ( 27.4)	200 ( 27.1)	132 ( 17.9)	4 ( 0.5)	8 ( 1.1)	191 ( 25.9)
ク. 健康相談、健康診査など	182 ( 24.7)	246 ( 33.4)	119 ( 16.1)	5 ( 0.7)	5 ( 0.7)	180 ( 24.4)
ケ. 医療やリハビリの体制	215 ( 29.2)	216 ( 29.3)	115 ( 15.6)	7 ( 0.9)	5 ( 0.7)	179 ( 24.3)
コ. 点字や手話、字幕放送などによる情報提供	111 ( 15.1)	217 ( 29.4)	190 ( 25.8)	12 ( 1.6)	7 ( 0.9)	200 ( 27.1)
サ. 障がい者の人権擁護	191 ( 25.9)	205 ( 27.8)	148 ( 20.1)	4 ( 0.5)	7 ( 0.9)	182 ( 24.7)

(つぎのページに続きます。)

(続き)

	評価する	どちらかといえば 評価する	どちらともいえない	どちらかといえば 評価しない	評価しない	無回答
シ. 相談窓口の使いやすさ	225 ( 30.5)	219 ( 29.7)	113 ( 15.3)	6 ( 0.8)	7 ( 0.9)	167 ( 22.7)
ス. 災害時や緊急時の避難・支援	249 ( 33.8)	189 ( 25.6)	113 ( 15.3)	5 ( 0.7)	9 ( 1.2)	172 ( 23.3)
セ. まちなかの歩きやすさ、移動の便利さ	202 ( 27.4)	201 ( 27.3)	140 ( 19.0)	10 ( 1.4)	8 ( 1.1)	176 ( 23.9)
ソ. 公共施設の使いやすさ	177 ( 24.0)	223 ( 30.3)	134 ( 18.2)	11 ( 1.5)	7 ( 0.9)	185 ( 25.1)
タ. 生活の安定のための年金や手当の充実	274 ( 37.2)	191 ( 25.9)	92 ( 12.5)	7 ( 0.9)	8 ( 1.1)	165 ( 22.4)
チ. 障がいがあっても暮らしやすい住宅の整備	221 ( 30.0)	199 ( 27.0)	117 ( 15.9)	7 ( 0.9)	5 ( 0.7)	188 ( 25.5)
ツ. 障がい者福祉のサービスや制度の情報提供	190 ( 25.8)	222 ( 30.1)	129 ( 17.5)	4 ( 0.5)	7 ( 0.9)	185 ( 25.1)
テ. 通所施設の整備	165 ( 22.4)	221 ( 30.0)	153 ( 20.8)	6 ( 0.8)	7 ( 0.9)	185 ( 25.1)
ト. 入所施設や短期入所施設の整備	161 ( 21.8)	217 ( 29.4)	154 ( 20.9)	7 ( 0.9)	8 ( 1.1)	190 ( 25.8)
ナ. グループホームの整備	145 ( 19.7)	208 ( 28.2)	172 ( 23.3)	11 ( 1.5)	9 ( 1.2)	192 ( 26.1)
ニ. 障がい児の通所（あずかり）施設の整備	169 ( 22.9)	207 ( 28.1)	153 ( 20.8)	5 ( 0.7)	8 ( 1.1)	195 ( 26.5)

▼ 最後に、障がい福祉に関するご意見、ご要望がありましたら、お聞かせください。

## 2 自由記述

アンケート調査では、障がい福祉に関するご意見、ご要望を把握する自由記入欄を設けた。

意見の内容は以下のとおり（意見は原文のままですが、誤字脱字の訂正、個人名の記述など一部抜粋しています）。

### 【身体障害者手帳所持者】

意見	性別	年齢
◇ 施設・市内を移動する為の交通手段の確保、他市には市内を回るデマントタクシーなどあるのでそういうものが潮来にもほしいです。	男性	30～39歳
◇ どうしていいかわからない。お金もない。ひたすら生きている。	女性	30～39歳
◇ 受付する担当者の教育・生活保護のきちんとした説明、来た人に対しての本人の要望・意見を聞き、適切なアドバイスや申請をスムーズに出来る様、本人の力になり申請できる流れを作る。 窓口での要望や意見などを、市から県から国に良い要望は通す、福祉の金額の改正（金額が値上げや現状の物価と金額の差が各給付金である、金額の目減り、制度のややこしさ、地域格差、生活保護では車の使用を許可する（または公共交通機関の拡充）。東京と潮来市の格差はひどい。物価的には家賃は東京が高いし給与も東京が高い。公共交通機関も拡充してるし、物価的にはさほどかわらないのにおかしい。変更する、または見直す。潮来市は車がないと生活できない。国民（障がい者）が安心してお金の面も生活面も全てにおいて手厚い手当で補償される事を考えてほしい。	男性	50～64歳
◇ 家に手すりがほしい。市営住宅の改善（暑い、寒い、害虫が出やすい）。タクシー券の一度に利用できる料金増額。買い物代行、スクールゾーンの見直し、街灯を増やす。ランドセルは支給ではなく、補助金でほしい（好きな色デザインを選びたい）。制服や体操服、自転車などが支給にすべき。神栖市や鹿嶋市のような大きな公園を希望。道路にはみ出てる草や木を切ってほしい。電動車椅子の貸し出し。	女性	50～64歳
◇ 障がい者としての権利としてのサービスとは何があるのか？どのように利用できるのか？災害時の全ての不安（車イス移動なので）。	男性	50～64歳
◇ ・何かと援助が必要ですが、障害者パーキングがある、きちんと優先される、車イスで入れるトイレがある、トイレに手すりがついている、スーパーで手の届かない物をとってもらうなど、ほんの少しのことでとてもありがたく、助けになります。支援が持続可能になるよう、援助する方も無理のない支援をお願いします。 ・障がい者でもできる範囲の仕事をして、社会と関わっていきたいと思います。健常者と持ちつ持たれつの関係の中で生活できたらよいのですが。 ・古い施設は、だいたいトイレが使えません（手すりも水平タイプのみだと、私の場合は使えません）。どこに行ってもトイレが使えると外出も安心できます。	女性	50～64歳
◇ お世話になります。週3日の透析になるべく自力で通院できる様に日頃の健康管理に注意し、ご迷惑をおかけしないように努力したいと考えております。	女性	50～64歳
◇ 障がい年金を上げてください。	男性	50～64歳
◇ 平等に暮らしやすい潮来市であってほしいです。	男性	50～64歳
◇ ヒアリングを開くことを考えてください。長いアンケートは障がい者本人はもとより、代理で記入する方々にも大きな負担です。5年に一度の機会にいろいろ聞いておきたい気持ちも理解できますが、日頃から声を届けられるような仕組みを強化してはいかがでしょうか。	男性	50～64歳
◇ 生活していく中での交通手段。例えば、バスを出して買い物とかに行けるとか等。	女性	50～64歳

(身体障害者手帳所持者)

意見	性別	年齢
◇ 他の町や市と比べて、車いすでの移動や買い物がとても不便です。店に車いすがなかったり、通路が狭かったり、常に「すみません」と言いながら車いすに乗っています。 手を貸して下さる店員さんも声をかけて下さる方もとても少なく、つい潮来以外で買い物をしてしまいます。もっと近くで楽にお買い物をしたり、子供や孫と遊べたらいいのと思っています。私のわがままなのでしょうか？	女性	50～64歳
◇ 関係無いかも知れませんが、スーパーに買い物に行く際、障害者でない人が車を停めるので止められず帰って来るのが悲しいです。	女性	50～64歳
◇ 障がい者手帳の等級に関係なく、ヘルスランドさくらも利用料を無料にしてほしい。	男性	50～64歳
◇ 障害を持っていても、潮来市役所ではなにも教えてくれません。今後の生活が不安です。もっとよくいろいろ教えてほしいです。	男性	50～64歳
◇ 安心して生活出来る様にして下さい。普通の生活が出来る環境を！	男性	50～64歳
◇ 障がい者の為、働く場がないので潮来市の配慮をお願いします。	男性	50～64歳
◇ 役所は仕組みを作り、具体的支援やサービスは民間が受益者負担で行うべき。やるべき事を選択し集中的に実施する。広く浅く対応することは理想だが、中途半端な結果を生むだけ。	男性	50～64歳
◇ 精神的障害のある人が利用する所（相談等）が少ないと思いました。	女性	50～64歳
◇ ・コロナに対する治療、病院の不足（廃業）、かかりつけ医等相談に不安を感じる。 ・ガンに対する相談窓口、健康管理、補助等の情報の入手はどこ？ ・病院入院後の治療、対話等、人と話す機会の減少。寝たきりになる可能性大。リハビリ指導と回復チェック等が必要。	男性	65～74歳
◇ 差別、いじめはいけないこと。法律もある。障がい者差別解消法などを発信してほしい。潮来市に。お願いいたします。	女性	65～74歳
◇ それぞれの障害のある方に寄り添って、その方の求めている支援を充実・実行してあげる事が必要ではないでしょうか？	女性	65～74歳
◇ 障がい者にやさしい自由に外出できる街づくり（介助者なしで）。	男性	65～74歳
◇ 一人暮らしの高齢者がたくさんいます。不幸な事がおこらないようにと思います。お金がなくて生活しづらい人も増えています。車に乗れずタクシーも使えずどうしているのでしょうか。気になります。	女性	65～74歳
◇ ・旅行に出かけて他の土地の特産や名産などを感じたりしたい。 ・時間数が足りないのどうにかしてほしい。生活するにあたってのサービスは足りているのかと思うのですが、余暇的な事をしたいと思います。日帰りや1泊の旅行に行ける様お願いしたいです。	男性	65～74歳
◇ 障がい者手帳でなくカードにできませんか？電車に乗る時、確認の為に手帳の中身をピロオンと引き出して確認している。	女性	65～74歳
◇ 潮来市に住んで60年になるが、他の市町村の状況が判らないので、意見が特にありません。	男性	65～74歳
◇ 本当に心のある活動にして下さい。小さな事にも大切に作る対応を。	男性	65～74歳
◇ 目が悪く、最後のアンケートはできていない。	女性	65～74歳
◇ 私は潮来市に電話でわからない所を聞いているのに障がい者というだけで話もしてくれませんでした。今も2年経っても悔しくて夜も眠れません。	女性	65～74歳
◇ 私は軽い障がいなので、多少の不便は仕方ないが、本当に困っている障がい者への対応、支援が出来ているのか。また、公立の立場として十分に行っているのか？市は行動して下さい。あまやかしは駄目ですが困っている人は助けて下さい。	男性	65～74歳

## (身体障害者手帳所持者)

意見	性別	年齢
◇ 思いがけず障がい者となり、市役所の各所の対応に感謝しています。	女性	65～74 歳
◇ 障害者も普通も関係なく暮らせて、障害は個性の一部だと思う。私も年老いて自分の家で一生を送りたいと思っている。いまの所、障害があっても就労している（福祉関係）。いろいろな面で勉強になっている。一番重要なのは障害に対し理解を個々に深める事だと思う。それが第一歩となって、施設やレクリエーションその他、もろもろな事がうまく回るようになるのではないのでしょうか？そして障害に対する個々に違いを理解し、本人の事を思う思いやりを教育してほしい！	女性	65～74 歳
◇ 潮来市に総合病院があればいいのですが。	男性	65～74 歳
◇ まだ1人でできるので（家族もいるので）困ってはいないので、体が動けなくなったらリハビリが出来る所がほしいです。	女性	65～74 歳
◇ 潮来市の取り組みを良く理解していないので回答できない項目がありました。	男性	65～74 歳
◇ 現在は普通に生活が出来ているので、深く考えた事はありません。	女性	65～74 歳
◇ 問 33 は障がいのある人にはとても難しいと思います。	男性	65～74 歳
◇ 脳性麻痺あり、現在、経鼻経管栄養となっています。簡単な会話はうなづきで可能です。	男性	65～74 歳
◇ 私は右足が不自由な為、補装具としてブーツを作っていただきました。そのブーツは、四季を通して利用し私の体の一部となっていますので大変ありがたいのですが、料金も高くなることはよくわかりますが、茨城県としての多少の金額の援助があったならばと願っています。	女性	65～74 歳
◇ 差別はいけないことということを発信してほしい。	男性	75 歳以上
◇ 障害者であっても後期高齢者等の医療費（保険）が余りに高額すぎる。	男性	75 歳以上
◇ 80代に入り免許の返納を考えています。交通機関のアクセスが心配です。病院までのルート、上手く継がってくれる事が願いです。よろしくお願い致します。	女性	75 歳以上
◇ 福祉事業は大変です。ご苦労様です。よろしくお願いします。	男性	75 歳以上
◇ 私はスポーツ少年団の指導者として永年活動していましたが、交通事故で障害者となり、指導者として続けることは不可能と考え身を引く努力をしましたが、後継者が中々現れず実技以外の部分で暫くの間、指導に関わっておりました。そのような時に、ある手続相談に福祉窓口を訪れた際、担当職員の方から「貴方はスポーツ（柔道）の指導をされているんですよね」と障害者として認定を受けていることに対し、疑いの言葉を掛けられたことがあり、非常に不快に感じた経験があります。指導者としての責任を感じて苦しんでいた最中のことだった為、心にも大変な傷を負いました。障害者にも個々の事情があることにもう少し配慮して欲しいです。	男性	75 歳以上
◇ 市内には緊急時に入院できる病院等が無く不安を感じる時がありますので、整をお願いします。	男性	75 歳以上
◇ 住民票はおいたまま、1人では暮らせないので他県で介護サービスを利用しています。オムツ購入サービスが受けることができないのが残念です。地元で購入が条件でしたから。ここをなんとか考えてくださると助かります。	女性	75 歳以上
◇ 助かっています。恵まれた土地ですが心が大きくない人が多い様で、悲しくなります。障がいの人には、どれだけ助けて頂いてもこれで良いというのが無い様ですね。私自身思います。残念、申し訳ございません。	女性	75 歳以上
◇ アンケートに答えていて、潮来市の障害福祉の現状がわからないので答えようがない部分が多くありました。例えば学校や家庭への理解・説明はどうなっているのか、市内にはどのような施設があるのか、支援してくれる所はそもそもあるのか等です。当事者になってはじめて知るのではなく、前もって市の様子がある程度わかるしくみや広報をしていただければと思います。	女性	75 歳以上
◇ アンケートの回答を書いている気が付く事が多々あります。	女性	75 歳以上

(身体障害者手帳所持者)

意見	性別	年齢
◇ 障がいがあってもひとつの個性と見るべきです。健常者との垣根の無い、互いに助け合えるような社会になって欲しいと思います。	女性	75歳以上
◇ 1人でも多くの障がい者が自立できる施策作りが必要と思われま。	男性	75歳以上
◇ 少しでも前進することを願う。	男性	75歳以上
◇ 手帳はあまり役にたたなかった。	女性	75歳以上
◇ 個人の症状に合わない。障害者手帳の内容が。	男性	75歳以上
◇ 私は重度障がい者です。○難聴向けの福祉サービス提供のPRを。 1 補装具?・固定電話の受信機(音声拡大)・固定電話の着信機能装置(着信時点灯) 2 公共機関の対応で会話不可(病院含む)・筆談での対応、理解と協力が必要 3 ヘルプマーク着装・健常者の理解不足? ○現在、公共機関の手続きは電話対応が主体になっている。 1 難聴者是对应できない。こちらから出向き対応が必要。 2 文書での対応をお願いしたい(難聴者)。	男性	75歳以上
◇ 福祉への取り組みがこんなにたくさんあって、考えて下さっている市が心強く、ありがたく思います。自分で参加出来そうなのが、年をとり少なくなりました。車も返し、足がないのが参加を鈍らせます。あっという間に82才です。あの時思った。70才に10才若かったらなと。交通の足、車で5分走るところを歩くと1時間かかるのです。まだまだ元気でいたい。歩いていたい。参加できるように力を貸して下さい。何事もチームワークが大切だなあと。思います。いろんな事ありがとうございました。	女性	75歳以上
◇ 今は二人ですが、一人になると年金5~6万では生活できない。 ※生活保護の人は年金も病院も住まいもあり、中には毎日ゲームなど年金の人より良い生活をしている。	男性	75歳以上
◇ なにをするにもお金がかかる。ホームヘルパーも頼めない。64歳までは無料でサービスが受けられるのに65歳以上は有料になる。65歳以上の方が自分でできない事が多くなると思う。年金なんてぜんぜん足りないし、わずかな蓄えも手伝いに来た人に持っていかれてしまったし、年金では足りないと言ってもわずかな年金で暮らしていかなければならない。生活保護しかないのではないのでしょうか。	女性	75歳以上
◇ ・心臓にペースメーカーの植込みを行っています。作動しているかぎり生活するのに不便はありません。 ・今はなにも不満はありません。現時点での支援をよろしくをお願いします。	男性	75歳以上
◇ アンケートをもう少し簡単にしてください。後になると見る事が大変です。人生100年と聞くことがありますので、1回1回がんばって前進します。	男性	75歳以上
◇ 通院する手段。バスなどもう少し使える様にしてほしい。とても困っています。お願いします。	女性	75歳以上
◇ 問33、34、潮来市でどういう事をしているのかわからないので評価できません。	男性	75歳以上
◇ バス・タクシーの利用券を貰っています。バスは不便です。 ①北浦回りと牛堀方面がありますが牛堀に行くには潮来駅で乗り換えなければならない。これを内廻りと外廻りの様な方法にしたらどうかと思います。すると1本で行けると思う。年をとると乗り換えは大変です。 ②市役所よりの放送のスピーカーがありますが、ほとんどわからない。これはどうにかならないのでしょうか?例えば火災、重要なものはわからない。	男性	75歳以上
◇ 引越してきたばかりで潮来の事は良く分かりません。でも色々と親切にしています。手が震えて字が書けないのですみません。でも潮来に来てよかったと思っています。ありがとうございます。	女性	75歳以上



(身体障害者手帳所持者)

意見	性別	年齢
◇ 障害者や高齢者本人への理解、説明、介助等々も非常に大切ですが、同居していない家族への理解を深める為に（本人に対して）連携をとれるようなシステムがあると助かります。 防犯システムや介護システムを個人で設置すると高額になるので心配です。	女性	75 歳以上
◇ 目の不自由な人は信号機の音が鳴ると便利。	男性	75 歳以上
◇ かつては医療費に対する支援が行われておりましたが、だいぶ前に打ち切られてしまいました。医療費に対する支援が復活できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。	不明	不明

## 【療育手帳所持者】

意見	性別	年齢
◇ 専門の病院が近くにないので、もし必要な時に行く手段だったり、自分で管理ができないので心配です。	女性	0～6歳
◇ 障がい児童福祉の所得制限の撤廃をお願いします。	女性	0～6歳
◇ 障がいの重度や種類にかかわらず、障がいのある人たちで運動ができるようなイベントが欲しい（子供が活発で、何か運動の習い事を、もしくは定期的なイベントに参加させたいが、知的障がいがあるので一般の方とは参加しづらい）。在宅心身障害児福祉手当が少ない。 小学校（もしくは支援学校）入学時の放課後デイサービス利用など、1ヶ所だと平日毎日を通えず新しいところを探しているが情報が無い。それに関わらず情報提供が少ないと思う。発達の通院圏内だとか、県からもらえる障害児手当の振込日、金額など通知がないので、市を通して通知がほしい。	男性	0～6歳
◇ もっと私のような馬鹿でもわかりやすい説明をください。	男性	7～18歳
◇ 何においても遅れていると思います。自立をさせたくとも入居、訓練施設。事業所、病院等がなく（嫌でもそこにしかいけない。選べない。）だから…他県に行くか隣の市にすがるしかない。又、移動手段が不便。いくらアンケートに答えても進歩のない市だと思います。	男性	19～29歳
◇ ・短期入所施設を増やして欲しい。・週末利用できる通所施設が欲しい。 ・早朝利用できる通所施設が欲しい。	女性	19～29歳
◇ 最後の質問が多くて回答に悩みました。	男性	19～29歳
◇ 親なきあとへの不安。	男性	19～29歳
◇ 本人が入所施設に入所中の為、意志疎通が困難な部分は不明とさせて頂きました。	女性	30～39歳
◇ 私は自閉症の娘を育てて30年の母親です。娘がよそのお子さんと比べて様子がおかしいと気づいた頃から療育は始まっておりました。その頃は私もなんとかして治してやりたい、治らないにしても何とか現状から抜け出したいと色々なところへ行って相談をしました。でも、これといった解決策もなく、何をどうやってこの子を育てていったら良いやら途方に暮れる毎日でした。 それから30年経った今は、状況も変わっていることと思いますが、学校に通っていた頃に関わった人たちは娘のことを知っていますが、関わりの薄い方達はやはり理解が低かったのではないかと思います。どんな障がいがあっても、親亡き後もこの人たちが暮らしやすい潮来であってほしいと願っています。	女性	30～39歳
◇ 私は今働いています。体力的にも十分に働いていける状況ではありますが、8時間以上の残業が日常的にあり、いつ終わるかかわからないので（だいたい+1時間～2時間）いつも心が不安定になります。 私は12年勤務していますが、給与は初め14万で、今は16万弱です。仕事は障がいに理解がないのか、理解したくないのか同僚、直の上司に同等の仕事内容を要求され（きつい言い方で）つらい時があります。会社は仕事が忙しいので仕方ないですが、感情的な言い方にいつも心が痛みます。親に店長に相談して何度か改善を求めましたが変わりません。障がい者雇用の低賃金であるのなら、一般雇用の人と同等の仕事内容を要求されるのは理不尽だと感じています。（代筆親） ・コロナになる前は鹿島育成園から活動の誘いがありましたが、今はまったくありません。私は家族以外の親交が他にないので、仕事以外の活動がほしいと思っています。上記の会社の件も間に入ってほしいと思う。	女性	30～39歳
◇ 将来、1人暮らしを望んでいます。ご配慮、よろしくお願いします。	女性	40～49歳
◇ 知的障害者で判断能力0です。（介護5、現在寝たきり状態です）。地域共生社会の実現を目指しての大事なアンケートですが、すべて介護者回答でいいものでしょうか？	男性	75歳以上

【精神障害者保健福祉手帳所持者】

意見	性別	年齢
◇ もっと本気を出してほしい。全てにおいて遅すぎる。	男性	19～29歳
◇ 手帳取得による交通費の補助がある交通機関であまり移動できない分、通院にかかる交通費(ガソリン代)の補助があると助かります。	女性	19～29歳
◇ 障害者の住民税軽減など。	男性	30～39歳
◇ ある市内の施設で、障がい者手帳で、同伴者と二人で利用しようと思ひ、職員のかたに聞いたときに、「目を離せない状態でない人が、同伴者を無料で入れるのは、ちょっと。。しかも市外の方は。。。」と言われました。一同伴者と二人で利用できるのは、手帳を持っている人の決まりです。と弁明しなければならず、これからは、一人で行くしかないのか、。と思ひ、とても嫌な思ひをしました。一潮来市民プールです。	女性	40～49歳
◇ ・公共交通がすごく不便！私は足には障害はありませんが…道路の歩道の幅が狭く、歩くのにすごく不便さを感じ、片側にしか歩道がない場合もあり、遠回りをして道路を横断しなくてはならない不便さ！歩道が広くても逆にそこに車がとめてある場合が多く、なんのための歩道なのか…。よく理解できない場合も多々ある。 市になっても一向に便利なことはなく、買い物に行くにも不便になった。 ・この潮来市は体調が悪くなくても出前やウーバーイーツが使えない！これは話的には違うが、いっそのこと行政自体を町や村に戻してはいかがですか？車社会が当たり前、免許を持っていても車が無ければ公共交通機関を使用しなくては生活ができない！	女性	50～64歳
◇ 介護保険で担当者がわからない人がいるようなので、勉強してほしいです。利用できると思ったら出来なかったです。そのせいで体調が悪化しました。	女性	50～64歳
◇ 障がい者（児）に対する理解がもっともっと深まって行って、生活（仕事も）しやすくなって行って欲しいです。	女性	50～64歳
◇ 健常者の方が、福祉サービスでお仕事するのは、とても有難い事ですが、勤めてから余りにも、障害に対して理解が無く、高圧的に物事を言われて、精神的に不眠症になる程苦しんだ事もありました。 お陰様で、今は落ち着いて居ますが、これからは、そう言う時にでも、相談や苦情が出来る場所を教えて欲しいです。	女性	50～64歳
◇ 自分の通院している病院の先生に自己負担上限額管理票や障害等級3級の障害者手帳をしていただき、とても助かっています。どうもありがとうございます。	男性	50～64歳
◇ 1人暮らしができるように生活費があればいいです。もう少しヘルパーさんが増やせるようなお金があればいいです。病院へ通院できるような車に乗せてもらって行けるといいと思います。今少しお金が足りないので、十分な生活ができるようにしてほしいです。75才になるまでまだ遠いので、いろいろなサービスが受けられません。ヘルパーさんが増やされるといいと思います。 食事も掃除が出来るようなヘルパーさんを頼みたいです。それにはお金が足りません。爪が変形しているので爪を切ってほしいです。お風呂に入るのが難しいので助けてくれるサービスがほしいです。全部お金が足りないのでできません。	女性	65～74歳
◇ 無記名ですので、私は40代の頃から重度のうつ病と診断されてから、毎年のように最初は鹿島病院に入院しました。何度目かの入院中、看護師さんに（死にたい…）と言ったらすぐに閉鎖病棟に入れられました。半年、いや1年間いました。その後、鹿嶋をやめて牛堀の病院に入院・通院。ここも閉鎖病棟でした。小見川の病院にも入院（閉鎖）、やっと退院して最後は成田市の病院を見つけ、先生が良い先生で現在入院させてもらって良くなり、通院中です。	男性	75歳以上

## 【指定難病特定医療費受給者証等所持者】

意見	性別	年齢
◇ 障害福祉についてほとんど知りません。以前に比べれば自分も病気になり、障害についての興味は深まったようにも思います。障がいの程度にも関係すると思いますが、生活面、金銭面、いろいろな面で不安の方は多いことでしょう。私も今は一人でなんでもできますが将来は不安です。将来を担う子ども達にはいくつかの援助もありますが、年寄り等にはあまり無いように思うのですが…。だんだんと働けなくなるし、年金だけでは生活が大変な方も少なくないと思います。不安が解消し、安心感を持ち、心豊かに過ごすことが望みます。	女性	65～74 歳
◇ いつもお世話になります。利用していない項目が多いため、回答できなくてすみません。今後もよろしくお願いします。	女性	65～74 歳
◇ 今後の市の活動に期待しています。	女性	65～74 歳
◇ 特定疾患は生活に支障ないが、脳梗塞が左手の麻痺が支障有り歯がゆい。リハビリに専念するしかない日々継続する事に徹する。	男性	65～74 歳
◇ 私の場合は特定疾患で投薬と3か月毎の診察による経過観察であるため、今回のアンケートに対し回答できる点が少なく申し訳ありません。障害者が自然体で受け入れられる社会が構築されますように。市政の取り組みにご期待致します。	男性	65～74 歳
◇ 情報が少ないと思う（介護に関して）。何かあった時に頼れる人が身近にいないと、どうしてよいかわからないと思う。	女性	75 歳以上
◇ 弱者の支援、自立支援。	男性	75 歳以上
◇ 計画相談支援、障害児福祉サービス、相談調整サービス。自立生活援助ありがとうございます。今後もよろしく。	女性	75 歳以上
◇ 障害施設に対する現在の実態を全く把握しておりません。〇の扱いが雑で申し訳ありません。今後（老後）の生活が不安なく暮らせる充実した施設が出来ることを願っています。	女性	75 歳以上

## 【重複障がい者】

意見	性別	年齢
◇ ・相談支援員の方は、こちらから連絡しない限り何もしてくれません。連絡があるとすれば書類で押印がほしいくらいですかね。話は聞いてくれますが、受け身で他人任せで雑です。担当者を変えてほしいくらいですが、また同じような方だと面倒ですし、軽くあきらめています。 ・今後の事を見据えて、鹿島育成園へ見学の間合せをしたら、コロナの3回接種が必要と言われ、していない旨伝えたと、責任者不在のため折返し連絡する…と言われ早2ヶ月たちました。現場が忙しいのはわかりますが、対応が雑で悲しく、あきれました。このまま潮来に住もうか悩むところです。	男性	0～6 歳 (知的・受給者証)
◇ (代:母) 息子の障害が13才で判明しました。定時制の高校に通い、その先が全く分からず、息子を障害福祉に力を入れている八王子に送り出し、結果、食事が摂れない程のストレスを与えてしまいました。 市内に息子を受け入れてくれる施設(事務所)があり、こんな遠回りをして二次障害を起こして…私は何をしていたんだろうと思いました。子供に対して「あれ?何か変?」と親が思ったら、気軽に出向ける場所を、広報だけではなく公共の場に(スーパーなど)掲示するだけでも早い対応が可能ではないでしょうか?もっと「あれ?何か変?」のレベルから救える支援を求めます。	男性	19～29 歳 (知的・精神)
◇ ・公共施設、バスなどの本数を増やした方が良いと思う(免許を取っていない人) ・障がい者に対する対応をきちんと丁寧に接した方が良い。 ・障がい者に対するサービスを増やした方が良い。 ・大きな病院を増やした方が良い。	女性	19～29 歳 (身体・難病)

(重複障がい者)

意見	性別	年齢
◇ 障がい者が孤独を感じにくい地域になればいいと思います。よろしくお願ひします。	女性	19～29 歳 (精神・受給者証)
◇ 公共交通機関が乏しいので必然的に自家用車での移動をすることになりますが、とにかく障害者用の駐車場が不足しています。障害者ではない利用者が停めていることも多く、市民の意識の低さが際立っていると思います。一般の駐車スペースは幅が充分ではなく、本当に利用しづらいです。啓発活動に力を入れて頂きたいと思います。福祉事務所の障害者用駐車スペースを増やして頂くことはできないでしょうか。正面横に複数ありますが、出来るだけ最寄りに停められると有難く思います。付き添いである親も足が不自由になってしまい、短い距離でも利用をしたいというのが本音です。	女性	30～39 歳 (身体・知的)
◇ 地域生活をしている障がい者児が、市の行事に参加できるものがなく、残念に思います。 市内の障がいのある方のための楽しい催しがあり、障がい者児の縦横の関係や地域との関係が築けることができたらと思います。	女性	30～39 歳 (身体・知的)
◇ 交通機関などを増やしてほしい。(バス・電車) できるかぎり。	男性	30～39 歳 (身体・知的)
◇ 就労支援 A 型施設に通っていた者ですが、困った事はお金の支払い(給料)。自分の口座は持っていますが父が管理している為、決められた金でやってくるとなると趣味やタバコ、ガソリンまでやって手元に残る金は 4000～5000+病院代・車代・家賃まで父が求めて来るので、障害者年金・給料は口座振込もありだと思いますが、あえて家族に理解・協力・食事も何にも助けてもらえない人たちの為にも手渡しする方法や福祉事業所も弁当の手配や人を増やして金が入るのであれば作業中の人、作業をやっている時、障害者同志で助けるのも良いですが、雑談を何処までもしない事、大切だと思いました。	男性	30～39 歳 (精神・難病)
◇ アンケートをとっているが、その結果データの情報開示があるのか? やっていたらごめんなさいね。開示だけでなく、そのデータによる実践、総括、結果を知りたい。アンケートの反映を知りたい。	男性	30～39 歳 (知的・受給者証)
◇ 障がい者を「事故物件」や「死目」など殴ることや、水分補給の禁止など 10 年あった。どこも相手にされず自殺未遂もしたので、今よりよくなってほしい。	女性	30～39 歳 (身体・受給者証)
◇ もう少し障害者たちの働く場所と理解をしてください。あと、温かい目で見て下さい。	女性	40～49 歳 (身体・知的)
◇ 病院に行くための交通手段が不便。家の前で乗り降りできる支援、コミュニティバスを出してほしい。	女性	50～64 歳 (身体・難病)
◇ 障害のある方の身になってほしい。親身になってほしい。	女性	50～64 歳 (身体・難病)
◇ 私が治療を受けている難病は近くの医療機関に専門医がいなく、50km も車を走らせ行っています。今現在、自分で運転が出来るから良いものの先々不安が募ります。又、市内に総合病院も無く、診療所も閉じる所も多く、市長の公約の市内への総合病院を、の話も消えたのでしょうか。	男性	65～74 歳 (身体・難病)
◇ 本人の望みを 5 年前に協議会、施設に話したが実現していない。囲碁ボランティア。今では頭が回転しないかと思う。	男性	75 歳以上 (身体・難病)

## 【障がい不明】

意見	性別	年齢
◇ (家族より) 支援に関する情報を、こちら側が調べないと何もわからず支援も受けられないと感じます。実際、子供が障害者でも相談出来る場所もなく、臨床心理士のカウンセリングも平日の限られた時間なのでフルタイム勤務している身では難しい。計画支援とは名ばかりで、書類上での契約だけで担当の方は全く何も支援はない。具体的にどうしたら良いかわからず悩んでいます。土・日・祝日でも支援を受けられるような体制になると助かります。	女性	7～18歳
◇ 私自身、就労支援を利用させていただき、社会復帰をすることができました。親身なご対応に感謝致します。ありがとうございました。	女性	30～39歳
◇ 本人が重度 ASD で意志をくみ取る事が難しい為、問 33、34 は不明です。申し訳ありません。	女性	30～39歳
◇ ・社会福祉課の建物の中に入りづらい雰囲気がある。 ・相談できる場所(窓口)を増やしてほしい。	女性	40～49歳
◇ メニエール病がひどくて歩くのも大変なのに、潮来市は援助がない。他の県では援助の対象にもなっている所もある(横浜、他もあった)。潮来市も対象にして欲しい。メニエールは個人差があるが、重い人は歩けず、やっとの思いでトイレに行ける状態。家事もできず、進行していく人もいる。私は進行している。	女性	40～49歳
◇ 公共施設やスーパー等の障がい者用駐車スペースが不足しているので増やしてほしい。時々健康な人が停めている場合を見かける。障がい者への配慮が必要と思う。	男性	65～74歳
◇ 市に在住の方にはいろいろな障害を持っていらっしゃる方がおられますが、私などは手足は動くし話せる、目視できる、考えることも仕事をするのも、何でもできますので、日常生活のできない方を本当にお気の毒に思う次第です。私は自分のことを障害者とは思っておりませんし、障害者手帳を手にしていても、他の障害者の方を心配してしまいます。どうぞ、他の障害者の方が毎日を楽しく過ごせるような生活を送れるような援助をお願いしたいと思えます。	女性	65～74歳
◇ <道の駅のバス中止について>障がい者のみならず、高齢者も外出の機会が少なくなったと聞きました。運賃を払っても運行してほしいと言っています。広域路線バスでは利便性がありません。福祉の後退だと思っています。	女性	75歳以上
◇ 非常に情報が分からない。入ってこない。	男性	75歳以上
◇ 今のところ、自分で好きなように生きているので関係者のみなさんに感謝します。近年障害者になったので。	男性	75歳以上
◇ 障害者にとって快適で住みやすい市になってほしいです。子供だけでなく老人に対しても福利厚生も充実した市を希望します。	女性	75歳以上
◇ 年金だけでは生活ができず、給付金等の援助が必要だと思う。	男性	75歳以上
◇ 家族より障害手帳等お預かり頂いておりません。認知機能低下により、日常の意志決定が困難。	女性	75歳以上
◇ 駐車場に若い一般人に使用されて、障がい者が入ろうとしても入れない時があり、障がい者のスペースを使えます様お願いします。	不明	不明
◇ <経済的問題>平日フルタイムで仕事していますが、月6～7万円の給与のため、生活していくのに厳しい状況がずっと続いています。兄弟に頼らず自立したいと思うのですが、何か支援はありますか。自立するための支援について何かがあるのか教えて欲しいです。	女性	不明



---

潮来市  
障がい福祉に関するアンケート  
結果報告書  
令和5年10月発行

〔発行〕 潮来市  
〔編集〕 潮来市 市民福祉部 社会福祉課  
Tel 0299 (63) 1111 (代) / Fax 0299 (80) 1410  
〔調査・分析〕 (株)まち研

---